

土木工事施工管理基準

平成 26 年 10 月

兵 庫 県 県 土 整 備 部

— 総 目 次 —

1. 土木工事施工管理基準	1 - 1	1
2. 出来形管理基準及び規格値	2 - 1	2
3. 品質管理基準及び規格値	3 - 1	3
4. 写真管理基準	4 - 1	4
付録1 工程管理（ネットワーク方式）	付1 - 1	付録1
付録2 品質管理	付2 - 1	付録2

1. 土木工事施工管理基準

目 次

1. 目 的	1-1
2. 適 用	1-1
3. 構 成	1-1
4. 管理の実施	1-1
5. 管理項目及び方法	1-1
6. 規格値	1-2
7. その他	1-3

土木工事施工管理基準

この土木工事施工管理基準（以下、「管理基準」とする。）は、土木工事共通仕様書（案）第1編1-1-23「施工管理」に規定する土木工事の施工管理及び規格値の基準を定めたものである。

1. 目的

この管理基準は、土木工事の施工について、契約図書に定められた工期、工事目的物の出来形及び品質規格の確保を図ることを目的とする。

2. 適用

この管理基準は、兵庫県県土整備部が発注する土木工事について適用する。ただし、設計図書に明示されていない仮設構造物等は除くものとする。また、工事の種類、規模、施工条件等により、この管理基準によりがたい場合、または、基準、規格値が定められていない工種については、監督員と協議の上、施工管理を行うものとする。

3. 構成



4. 管理の実施

- (1) 受注者は、工事施工前に、施工管理計画及び施工管理担当者を定めなければならない。
- (2) 施工管理担当者は、当該工事の施工内容を把握し、適切な施工管理を行わなければならない。
- (3) 受注者は、測定（試験）等を工事の施工と並行して、管理の目的が達せられるよう速やかに実施しなければならない。
- (4) 受注者は、測定（試験）等の結果をその都度管理図表等に記録し、適切な管理のもとに保管し、監督員の請求に対したただちに提示するとともに、工事完成時に提出しなければならない。

5. 管理項目及び方法

(1) 工程管理

受注者は、工程管理を工事内容に応じた方式（ネットワーク（PERT）又はバーチ

ャート方式など)により作成した実施工程表により行うものとする。ただし、応急処理又は維持工事等の当初工事計画が困難な工事内容については、省略できるものとする。

(2) 出来形管理

受注者は、出来形を出来形管理基準に定める測定項目及び測定基準により実測し、設計値と実測値を対比して記録した出来形成果表又は出来形図を作成し管理するものとする。ただし、測定数が10点未満の場合は出来形成果表のみとし、出来形図の作成は不要とする。

なお、測定基準において測定箇所数「〇〇につき1箇所」となっている項目については、小数点以下を切り上げた箇所数測定するものとする。

(3) 品質管理

1. 受注者は、品質を品質管理基準に定める試験項目、試験方法及び試験基準により管理し、その管理内容に応じて、工程能力図又は、品質管理図表(ヒストグラム、 $\bar{x}-R$ 、 $\bar{x}-R_s-R_m$ など)を作成するものとする。ただし、測定数が10点未満の場合は品質管理表のみとし、管理図の作成は不要とする。

この品質管理基準の適用は、下記に掲げる工種(イ)、(ロ)、の条件に該当する工事および低入札価格調査の対象となった工事を除き、試験区分で「必須」となっている試験項目は、全面的に実施するものとする。また、試験区分で「その他」となっている試験項目は、特記仕様書で指定するものを実施するものとする。

(イ) 路 盤

維持工事等の小規模なもの(施工面積が1,000 m²以下のもの)

(ロ) アスファルト舗装

維持工事等の小規模なもの(同一配合の合材が100 t未満のもの)

2. 受注者は、セメントコンクリートの適用に当たり、無筋コンクリート構造物のうち重力式橋台、橋脚及び重力式擁壁(高さ2.5mを超えるもの)については、鉄筋コンクリートに準ずるものとする。

(4) 低入札価格調査の対象となった工事の品質管理

1. 低入札価格調査対象となった工事の場合は、品質管理基準の適用について、試験区分の「その他」を「必須」に読み替えるものとする。ただし、「必須」に読み替える項目のうち省略する項目については監督員の指示を受けるものとする。
2. 試験に際しては原則として監督員が立会するものとするが、「土木工事施工管理基準」に定めるものについては試験成績表等による確認とする。

6. 規格値

受注者は、出来形管理基準及び品質管理基準により測定した各実測(試験・検査・

計測) 値は、すべて規格値を満足しなければならない。

7. その他

受注者は、工事写真を施工管理の手段として、各工事の施工段階及び工事完成後明視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況、工事中の災害写真等を写真管理基準(案)により撮影し、適切な管理のもとに保管し、監督員の請求に対したち提示するとともに、工事完成時に提出しなければならない。

2. 出来形管理基準及び規格値

【第1編 共通編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第2章 土工						
第3節 河川土工・海岸土工・砂防土工	1-2-3-2	掘削工				2-2
	1-2-3-3	盛土工				〃
	1-2-3-4	盛土補強工		補強土 (テールアルメ)壁工法		〃
				多数アンカー式 補強土工法		〃
				ジオテキスタイルを 用いた補強土工法		〃
	1-2-3-5	法面整形工		盛土部		2-4
	1-2-3-6	堤防天端工				〃
第4節 道路土工	1-2-4-2	掘削工				〃
	1-2-4-3	路体盛土工				2-6
	1-2-4-4	路床盛土工				〃
	1-2-4-5	法面整形工		盛土部		〃
第3章 無筋、鉄筋コンクリート						
第7節 鉄筋工	1-3-7-4	組立て				〃

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第2章 一般施工						
第3節 共通の工種	3-2-3-4	矢板工		鋼矢板		2-8
				軽量鋼矢板		〃
				コンクリート矢板		〃
				広幅鋼矢板		〃
				可とう鋼矢板		〃
	3-2-3-5	縁石工		縁石・アスカーブ		〃
	3-2-3-6	小型標識工				〃
	3-2-3-7	防止柵工		立入防止柵		〃
				転落（横断）防止柵		〃
				車止めポスト		〃
	3-2-3-8	路側防護柵工	1	ガードレール		2-10
			2	ガードパイプ		〃
			3	ガードケーブル		〃
	3-2-3-9	区画線工				〃
	3-2-3-10	道路付属物工		視線誘導標		〃
				距離標		〃
	3-2-3-11	コンクリート面塗装工				2-12
	3-2-3-13	プレテンション 桁製作工（購入工）	1	けた橋		〃
			2	スラブ桁		〃
	3-2-3-14	ポストテンション 桁製作工	1			2-14
			2	（購入工）		〃
	3-2-3-15	プレキャストセグメント 主桁組立工				〃
	3-2-3-16	P Cホロースラブ 製作工				2-16
	3-2-3-17	P C箱桁製作工	1			〃
			2	P C押し箱桁 製作工		2-18
	3-2-3-18	根固めブロック工				2-20
	3-2-3-19	沈床工				〃
	3-2-3-20	捨石工				〃
	3-2-3-23	階段工				〃
	3-2-3-26	伸縮装置工	1	ゴムジョイント		2-22
			2	鋼製フィンガー ジョイント		〃
3-2-3-28	多自然型護岸工	1	巨石張り、巨石積み		〃	
		2	かごマット		2-24	
3-2-3-29	羽口工	1	じゃかご		〃	
		2	ふとんかご、かご枠		〃	
3-2-3-30	プレキャスト カルバート工		プレキャストボックス工		〃	
			プレキャストパイプ工		〃	
3-2-3-31	側溝工	1	プレキャストU型側溝		2-26	
			L型側溝工		〃	

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁		
第3節 共通の工種	3-2-3-31	側溝工		自由勾配側溝		2-26		
				管渠		〃		
			2	場所打水路工		〃		
	3	暗渠工		〃				
	3-2-3-32	集水桝工			〃			
3-2-3-33	現場塗装工			2-28				
第4節 基礎工	3-2-4-1	一般事項		切込砂利		〃		
				砕石基礎工		〃		
				割ぐり石基礎工		〃		
				均しコンクリート		〃		
	3-2-4-3	基礎工（護岸）		1	現場打		〃	
				2	プレキャスト		2-30	
	3-2-4-4	既製杭工		1	既製コンクリート杭		〃	
					鋼管杭		〃	
				H鋼杭		〃		
	2	鋼管ソイルセメント杭		〃				
	3-2-4-5	場所打杭工			〃			
	3-2-4-6	深礎工			〃			
	3-2-4-7	オープンケーソン基礎工			2-32			
3-2-4-8	ニューマチックケーソン基礎工			〃				
3-2-4-9	鋼管矢板基礎工			〃				
第5節 石・ブロック積（張）工	3-2-5-3	コンクリートブロック工	1	コンクリートブロック積		2-34		
				コンクリートブロック張り		〃		
			2	連節ブロック張り		〃		
			3	天端保護ブロック		〃		
	3-2-5-4	緑化ブロック工			2-36			
3-2-5-5	石積（張）工			〃				
第6節 一般舗装工	3-2-6-7	アスファルト舗装工		1	下層路盤工		2-38	
				2	上層路盤工（粒度調整路盤工）		〃	
				3	上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		2-40	
				4	加熱アスファルト安定処理工		〃	
				5	基層工		2-42	
				6	表層工		〃	
	3-2-6-8	半たわみ性舗装工			1	下層路盤工		2-44
					2	上層路盤工（粒度調整路盤工）		〃
					3	上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		2-46
					4	加熱アスファルト安定処理工		〃

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第6節 一般舗装工	3-2-6-8	半たわみ性舗装工	5	基層工		〃
			6	表層工		〃
	3-2-6-9	排水性舗装工	1	下層路盤工		2-48
			2	上層路盤工 (粒度調整路盤工)		〃
			3	上層路盤工 (セメント(石灰)安定処理工)		2-48
			4	加熱アスファルト安定処理工		2-50
			5	基層工		〃
			6	表層工		〃
	3-2-6-10	透水性舗装工	1	路盤工		2-52
			2	表層工		〃
	3-2-6-11	グースアスファルト舗装工	1	加熱アスファルト安定処理工		2-54
			2	基層工		〃
			3	表層工		〃
	3-2-6-12	コンクリート舗装工	1	下層路盤工		2-56
			2	粒度調整路盤工		〃
			3	セメント(石灰・瀝青)安定処理工		2-58
			4	アスファルト中間層		〃
			5	コンクリート舗装版工		2-60
			6	転圧コンクリート版工(下層路盤工)		〃
			7	転圧コンクリート版工(粒度調整路盤工)		〃
			8	転圧コンクリート版工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)		2-62
			9	転圧コンクリート版工(アスファルト中間層)		〃
			10	転圧コンクリート版工		〃
	3-2-6-13	薄層カラー舗装工	1	下層路盤工		2-64
			2	上層路盤工 (粒度調整路盤工)		〃
			3	上層路盤工 (セメント(石灰)安定処理工)		2-66
			4	加熱アスファルト安定処理工		〃
			5	基層工		〃
	3-2-6-14	ブロック舗装工	1	下層路盤工		2-68
			2	上層路盤工 (粒度調整路盤工)		〃
			3	上層路盤工 (セメント(石灰)安定処理工)		2-70

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第6節 一般舗装工	3-2-6-14	ブロック舗装工	4	加熱アスファルト安定処理工		〃
			5	基層工		〃
	3-2-6-15	路面切削工				2-72
	3-2-6-16	舗装打換え工				〃
	3-2-6-17	オーバーレイ工				〃
第7節 地盤改良工	3-2-7-2	路床安定処理工				2-74
	3-2-7-3	置換工				〃
	3-2-7-4	表層安定処理工		サンドマット海上		2-76
	3-2-7-5	パイルネット工				〃
	3-2-7-6	サンドマット工				〃
	3-2-7-7	バーチカルドレーン工		サンドドレーン工		2-78
				ペーパードレーン工		〃
				袋詰式サンドドレーン工		〃
	3-2-7-8	締固め改良工		サンドコンパクションパイル工		〃
	3-2-7-9	固結工		粉体噴射攪拌工		〃
				高圧噴射攪拌工		〃
			スラリー攪拌工		〃	
			生石灰パイル工		〃	
第10節 仮設工	3-2-10-5	土留・仮締切工	1	H鋼杭		2-80
				鋼矢板		〃
			2	アンカー工		〃
			3	連節ブロック張り工		〃
			4	締切盛土		〃
	5	中詰盛土		2-82		
	3-2-10-9	地中連続壁工(壁式)				〃
	3-2-10-10	地中連続壁工(柱列式)				〃
3-2-10-22	法面吹付工			3-2-14-3吹付工	2-106	
第11節 軽量盛土工	3-2-11-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6
第12節 工場製作工(共通)	3-2-12-1	一般事項	1	鋳造費(金属支承工)		2-84
			2	鋳造費(大型ゴム支承工)		〃
			3	刃口金物製作工		2-86
			4	仮設材製作工		〃
	3-2-12-3	桁製作工	1	仮組検査を実施する場合		2-88
				シミュレーション仮組検査を実施する場合		〃
			2	仮組検査を実施しない場合		2-92
	3	鋼製堰堤製作工(仮組立時)		2-94		
	3-2-12-4	検査路製作工				〃
	3-2-12-5	鋼製伸縮継手製作工				〃

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第12節 工場製作工（共通）	3-2-12-6	落橋防止装置製作工				2-96
	3-2-12-7	橋梁用防護柵製作工				〃
	3-2-12-8	アンカーフレーム製作工				〃
	3-2-12-9	プレビーム用桁製作工				2-98
	3-2-12-10	鋼製排水管製作工				〃
	3-2-12-11	工場塗装工				2-100
第13節 橋梁架設工	3-2-13	架設工（鋼橋）		クレーン架設		2-102
				ケーブルクレーン架設		〃
				ケーブルエレクション架設		〃
				架設桁架設		〃
				送出し架設		〃
				トラベルクレーン架設		〃
	3-2-13	架設工（コンクリート橋）		クレーン架設		2-104
				架設桁架設		〃
	3-2-13	架設工支保工		固定		〃
				移動		〃
	3-2-13	架設桁架設		片持架設		〃
				押出し架設		〃
第14節 法面工（共通）	3-2-14-2	植生工	1	種子散布工		〃
				張芝工		〃
				筋芝工		〃
				市松芝工		〃
				植生シート工		〃
				植生マット工		〃
				植生筋工		〃
				人工張芝工		〃
				植生穴工		〃
			2	植生基材吹付工		〃
	客土吹付工			〃		
	3-2-14-3	吹付工		コンクリート		2-106
				モルタル		〃
	3-2-14-4	法枠工	1	現場打法枠工		〃
				現場吹付法枠工		〃
			2	プレキャスト法枠工		〃
3-2-14-6	アンカー工				〃	
第15節 擁壁工（共通）	3-2-15-1	一般事項		場所打擁壁工		2-108
	3-2-15-2	プレキャスト擁壁工				〃
	3-2-15-3	補強土壁工		補強土（テールアルメ）壁工法		2-110
				多数アンカー式補強土工法		〃
			ジオテキスタイルを用いた補強土工法		〃	

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第15節 擁壁工（共通）	3-2-15-4	井桁ブロック工				〃
第16節 浚渫工（共通）	3-2-16-3	浚渫船運転工	1	ポンプ浚渫船		2-112
			2	グラブ浚渫船		〃
				バックホウ浚渫船		〃
第18設 床版工	3-2-18-2	床版工				〃

【第4編 港湾工事共通編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第3章 一般施工						
第3節 共通の工種	4-3-3-6	圧密・排水工	1	サンドドレーン		2-114
			3	敷砂均し		〃
			4	載荷土砂		〃
			5	ペーパードレーン		〃
			6	グラベルマット		〃
			7	グラベルドレーン		2-116
			4-3-3-7	締固工	1	ロッドコンパクション
	2	サンドコンパクションパイル				〃
	3	盛上土砂撤去				〃
	5	敷砂均し			4-3-3-6敷砂均し	〃
	4-3-3-8	固化工	1	深層混合処理杭		〃
			4	敷砂均し	4-3-3-6敷砂均し	2-118
			5	事前混合処理		〃
			6	表層固化処理		〃
	4-3-3-9	洗掘防止工	1	洗掘防止工		〃
	4-3-3-10	中詰工	1	砂・石材中詰		〃
			2	コンクリート中詰		〃
			3	プレパックドコンクリート中詰		〃
	4-3-3-11	蓋コンクリート工	1	蓋コンクリート		〃
	4-3-3-12	蓋ブロック工	1	蓋ブロック製作		2-120
			2	蓋ブロック据付		〃
	4-3-3-13	鋼矢板工	1	先行掘削		〃
			2	鋼矢板		〃
				鋼管矢板		2-122
	4-3-3-14	控工	2	控鋼矢板		2-124
				控鋼杭		〃
				プレキャストコンクリート控壁		〃
				場所打コンクリート控壁		〃
			4	腹起		2-126
				タイロッド取付		〃
				タイワイヤー取付		〃
	4-3-3-15	鋼杭工	1	先行掘削	4-3-3-13先行掘削	2-120
			2	鋼杭		2-126
4-3-3-16	コンクリート杭工	1	コンクリート杭工		2-128	
4-3-3-17	防食工	1	電気防食		〃	
		2	FRPモルタル被覆		〃	
		3	ペトロラタム被覆		〃	
		4	コンクリート被覆		〃	
		5	防食塗装		〃	

【第4編 港湾工事共通編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第3節 共通の工種	4-3-3-19	コンクリート舗装工	1	下層路盤		2-130
			2	上層路盤		〃
			3	コンクリート舗装版		2-132
	4-3-3-20	アスファルト舗装工	1	下層路盤		〃
			2	上層路盤		〃
			3	基 層		〃
			4	表 層		〃
	4-3-3-21	植生工	1	張 芝		2-134
			2	筋 芝		〃
			3	播 種		〃
			4	種子吹付		〃
			5	植 栽		〃
第5節 海上地盤改良工	4-3-5-2	床掘工	1	ポンプ床掘		〃
			2	グラブ床掘		〃
			3	硬土盤堀		〃
			4	砕岩床掘		〃
			5	バックホウ床掘		〃
	4-3-5-6	置換工	2	置換材均し		〃
	4-3-5-7	圧密・排水工			4-3-3-6圧密・排水工	2-114
	4-3-5-8	締固工			4-3-3-7締固工	2-116
4-3-5-9	固化工		固化工	4-3-3-8固化工	〃	
第6節 基礎工	4-3-6-2	基礎盛砂工	2	盛砂均し		2-136
	4-3-6-3	洗掘防止工	3	洗掘防止工	4-3-3-9洗掘防止工	2-118
	4-3-6-4	基礎捨石工	1	基礎捨石 (均しを行わない面)		2-136
			2	捨石本均し		〃
			3	捨石荒均し		〃
	4-3-6-6	基礎ブロック工	1	基礎ブロック製作		〃
			2	基礎ブロック据付		2-138
第7節 本體工 (ケーソン式)	4-3-7-2	ケーソン製作工		ケーソン製作		〃
	4-3-7-3	ケーソン進水据付工		ケーソン進水据付		〃
	4-3-7-4	中詰工		中詰工	4-3-3-10中詰工	2-118
	4-3-7-5	蓋コンクリート工		蓋コンクリート工	4-3-3-11蓋コンクリート工	〃
	4-3-7-6	蓋ブロック工		蓋ブロック工	4-3-3-12蓋ブロック工	2-120
第8節 本體工 (ブロック式)	4-3-8-2	本體ブロック製作工		本體ブロック製作		2-140
	4-3-8-3	本體ブロック据付工	1	本體ブロック据付		〃
	4-3-8-4	中詰工		中詰工	4-3-3-10中詰工	2-118
	4-3-8-5	蓋コンクリート工		蓋コンクリート工	4-3-3-11蓋コンクリート工	〃
	4-3-8-6	蓋ブロック工		蓋ブロック工	4-3-3-12蓋ブロック工	2-120
第9節 本體工 (場所打式)	4-3-9-2	場所打コンクリート工		防波堤		2-140
				岸 壁		〃
	4-3-9-3	水中コンクリート工		水中コンクリート工	4-3-9-2場所打コンクリート工	〃
	4-3-9-4	プレパックドコンクリート工		プレパックドコンクリート工	4-3-9-2場所打コンクリート工	〃

【第4編 港湾工事共通編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第9節 本体工 (場所打式)	4-3-9-5	水中不分離性コンクリート工		水中不分離性コンクリート工	4-3-9-2場所打コンクリート工	2-140
第10節 本体工 (捨石・捨ブロック式)	4-3-10-2	洗掘防止工		洗掘防止工	4-3-3-9洗掘防止工	2-118
	4-3-10-3	本体捨石工		本体捨石工	4-3-6-4基礎捨石工	2-136
	4-3-10-4	捨ブロック工	1	捨ブロック製作		2-142
			2	捨ブロック据付		〃
4-3-10-5	場所打コンクリート工		場所打コンクリート工		〃	
第11節 本体工 (鋼矢板式)	4-3-11-2	鋼矢板工		鋼矢板工	4-3-3-13鋼矢板工	2-120
	4-3-11-3	控工		控工	4-3-3-14控工	2-124
第12節 本体工 (コンクリート矢板式)	4-3-12-2	コンクリート矢板工	1	コンクリート矢板		2-144
	4-3-12-3	控工		控工	4-3-3-14控工	2-124
第13節 本体工 (鋼杭式)	4-3-13-2	鋼杭工			4-3-3-15鋼杭工	2-120
第14節 本体工 (コンクリート杭式)	4-3-14-2	コンクリート杭工			4-3-3-16コンクリート杭工	2-128
第15節 被覆・根固工	4-3-15-2	被覆石工	1	被覆石 (均しを行わない面)		2-144
			2	被覆石均し		〃
	4-3-15-4	被覆ブロック工	1	被覆ブロック製作		〃
			2	被覆ブロック据付		〃
	4-3-15-5	根固ブロック工	1	根固ブロック製作		2-146
			2	根固ブロック据付	4-3-15-4被覆ブロック据付	2-144
第16節 上部工	4-3-16-2	上部コンクリート工	1	上部コンクリート工 防波堤		2-146
				上部コンクリート工 岸壁		〃
				上部コンクリート工 栈橋	4-3-16-2上部コンクリート工 岸壁	〃
	4-3-16-3	上部ブロック工	1	上部ブロック製作		〃
			2	上部ブロック据付 防波堤	4-3-16-2上部コンクリート工 防波堤	〃
				上部ブロック据付 岸壁	4-3-16-2上部コンクリート工 岸壁	〃
				上部ブロック据付 栈橋上部コンクリート	4-3-16-2上部コンクリート工 栈橋	〃
	第17節 付属工	4-3-17-2	係船柱工		係船柱	
4-3-17-3		防舷材工	1	防舷材		〃
4-3-17-4		車止・縁金物工	1	車止・縁金物工		〃
4-3-17-5		防食工		防食工	4-3-3-17防食工	2-128
4-3-17-6		付属設備工	1	係船環		2-148
第18節 消波工	4-3-18-2	洗掘防止工		洗掘防止工	4-3-3-9洗掘防止工	2-118
	4-3-18-3	消波ブロック工	1	消波ブロック製作		2-148
			2	消波ブロック据付		〃
第19節 裏込・裏埋工	4-3-19-2	裏込工	1	裏込材 (均しを行わない面)		2-150
			3	裏込均し		〃
			4	吸出し防止材		〃

【第4編 港湾工事共通編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第19節 裏込・裏埋工	4-3-19-3	裏埋工	1	裏埋材		2-150
	4-3-19-4	裏埋土工	1	土砂掘削		〃
			2	土砂盛土		〃
第20節 陸上地盤改良工	4-3-20-2	圧密・排水工		圧密・排水工	4-3-3-6圧密・排水工	2-114
	4-3-20-3	締固工		締固工	4-3-3-7締固工	2-116
	4-3-20-4	固化工		固化工	4-3-3-8固化工	〃
第21節 土工	4-3-21-2	掘削工		土砂掘削	4-3-19-4土砂掘削	2-150
	4-3-21-3	盛土工		土砂盛土	4-3-19-4土砂盛土	〃
	4-3-21-4	路床盛土工		路床盛土		〃
	4-3-21-7	法面工		法面	4-3-19-4土砂掘削 4-3-19-4土砂盛土 4-3-3-21植生工	〃 〃 2-134
第22節 舗装工	4-3-22-3	コンクリート舗装工		コンクリート舗装工	4-3-3-19コンクリート舗装工	2-130
	4-3-22-4	アスファルト舗装工		アスファルト舗装工	4-3-3-20アスファルト舗装工	2-132
第23節 維持補修工	4-3-23-2	維持塗装工	1	係船柱塗装		2-152
			2	車止塗装(鋼製)		〃
				車止塗装(その他)		〃
	3	縁金物塗装	4-3-23-2車止塗装	〃		
4-3-23-3	防食工		防食工	4-3-3-17防食工	2-128	
第24節 構造物撤去工	4-3-24-2	取壊し工	1	コンクリート取壊し		2-152
	4-3-24-3	撤去工	1	水中コンクリート撤去		〃
			2	鋼矢板等切断撤去		〃
			3	腹起・タイ材撤去		〃
			4	舗装版撤去		〃
			5	石材撤去		〃
			6	ケーソン撤去		〃
			7	ブロック撤去		〃
8	鋼矢板・H形鋼杭引抜き撤去		〃			
第25節 仮設工	4-3-25-2	仮設鋼矢板工	1	仮設鋼矢板・H形鋼杭		〃
	4-3-25-3	仮設鋼管杭・鋼管矢板工	1	先行掘削	4-3-3-13先行掘削	2-120
			2	仮設鋼管杭・鋼管矢板工	4-3-3-13鋼矢板 4-3-3-15鋼杭	〃 2-126
4-3-25-4	仮設道路工	1	仮設道路工	4-3-3-19コンクリート舗装工 4-3-3-20アスファルト舗装工	2-130 2-132	
第26節 雑工	4-3-26-2	現場鋼材溶接工	1	現場鋼材溶接		2-154
			2	被覆溶接(水中)		〃
				スタッド溶接(水中)	4-3-26-2被覆溶接(水中)	〃
	4-3-26-3	現場鋼材切断工	1	陸上現場切断		〃
				水中切断		〃
	4-3-26-4	その他雑工	1	清掃		〃
2				削孔		〃

【第6編 河川編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第1章 築堤・護岸							
第3節 軽量盛土工	6-1-3-1	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6	
第4節 地盤改良工	6-1-4-2	表層安定処理工			3-2-7-4表層安定処理工	2-76	
	6-1-4-3	パイルネット工			3-2-7-5パイルネット工	〃	
	6-1-4-4	パーチカルドレーン工			3-2-7-7パーチカルドレーン工	2-78	
	6-1-4-5	締固め改良工			3-2-7-8締固め改良工	〃	
	6-1-4-6	固結工			3-2-7-9固結工	〃	
第5節 護岸基礎工	6-1-5-3	基礎工			3-2-4-3基礎工（護岸）	2-28	
	6-1-5-4	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8	
第6節 矢板護岸工	6-1-6-3	笠コンクリート工			3-2-4-3基礎工（護岸）	2-28	
	6-1-6-4	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8	
第7節 法覆護岸工	6-1-7-3	コンクリートブロック工			3-2-5-3コンクリートブロック工	2-34	
	6-1-7-4	護岸付属物工				2-156	
	6-1-7-5	緑化ブロック工			3-2-5-4緑化ブロック工	2-36	
	6-1-7-6	環境護岸ブロック工			3-2-5-3コンクリートブロック工	2-34	
	6-1-7-7	石積（張）工			3-2-5-5石積（張）工	2-36	
	6-1-7-8	法枠工			3-2-14-4法枠工	2-106	
	6-1-7-9	多自然型護岸工	巨石張り		巨石張り	3-2-3-28多自然型護岸工	2-22
			巨石積み		巨石積み	3-2-3-28多自然型護岸工	〃
			かごマット		かごマット	3-2-3-28多自然型護岸工	〃
	6-1-7-10	吹付工			3-2-14-3吹付工	2-106	
	6-1-7-11	植生工			3-2-14-2植生工	2-104	
	6-1-7-12	覆土工			1-2-3-5法面整形工	2-4	
	6-1-7-13	羽口工	じゃかご		じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24
			ふとんかご		ふとんかご	3-2-3-29羽口工	〃
かご枠				かご枠	3-2-3-29羽口工	〃	
連節ブロック張り				連節ブロック張り	3-2-5-3連節ブロック張り	2-34	
第8節 擁壁護岸工	6-1-8-3	場所打擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108	
	6-1-8-4	プレキャスト擁壁工			3-2-15-2プレキャスト擁壁工	〃	
第9節 根固め工	6-1-9-3	根固めブロック工			3-2-3-18根固めブロック工	2-20	
	6-1-9-5	沈床工			3-2-3-19沈床工	〃	
	6-1-9-6	捨石工			3-2-3-20捨石工	〃	
	6-1-9-7	かご工	じゃかご		じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24
			ふとんかご		ふとんかご	3-2-3-29羽口工	〃
第10節 水制工	6-1-10-3	沈床工			3-2-3-19沈床工	2-20	
	6-1-10-4	捨石工			3-2-3-20捨石工	〃	
	6-1-10-5	かご工	じゃかご		じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24
			ふとんかご		ふとんかご	3-2-3-29羽口工	〃
	6-1-10-8	杭出し水制工				2-156	
第11節 付帯道路工	6-1-11-3	路側防護柵工			3-2-3-8路側防護柵工	2-10	
	6-1-11-5	アスファルト舗装工			3-2-6-7アスファルト舗装工	2-38	
	6-1-11-6	コンクリート舗装工			3-2-6-12コンクリート舗装工	2-56	
	6-1-11-7	薄層カラー舗装工			3-2-6-13薄層カラー舗装工	2-64	
	6-1-11-8	ブロック舗装工			3-2-6-14ブロック舗装工	2-68	
	6-1-11-9	側溝工			3-2-3-31側溝工	2-26	

【第6編 河川編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁		
第11節 付帯道路工	6-1-11-10	集水柵工			3-2-3-32集水柵工	2-26		
	6-1-11-11	縁石工			3-2-3-5縁石工	2-8		
	6-1-11-12	区画線工			3-2-3-9区画線工	2-10		
第12節 付帯道路施設工	6-1-12-3	道路付属物工			3-2-3-10道路付属物工	〃		
	6-1-12-4	標識工			3-2-3-6小型標識工	2-8		
第13節 光ケーブル配管工	6-1-13-3	配管工				2-156		
	6-1-13-4	ハンドホール工				〃		
第2章 浚渫（河川）								
第2節 浚渫工（ポンプ浚渫船）	6-2-2-2	浚渫船運転工 （民船・官船）			3-2-16-3浚渫船運転工	2-112		
第3節 浚渫工（グラブ浚渫船）	6-2-3-2	浚渫船運転工			3-2-16-3浚渫船運転工	〃		
第4節 浚渫工（バックホウ浚渫船）	6-2-4-2	浚渫船運転工			3-2-16-3浚渫船運転工	〃		
第3章 樋門・樋管								
第3節 軽量盛土工	6-3-3-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6		
第4節 地盤改良工	6-3-4-2	固結工			3-2-7-9固結工	2-78		
第5節 樋門・樋管本體工	6-3-5-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30		
	6-3-5-4	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃		
	6-3-5-5	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8		
	6-3-5-6	函渠工	1	本體工			2-158	
				2	ヒューム管			〃
				PC管			〃	
				コルゲートパイプ			〃	
				ダクタイル鋳鉄管			〃	
				PC函渠	3-2-3-30プレキャストカルバート工	2-24		
6-3-5-7	翼壁工				2-160			
6-3-5-8	水叩工				〃			
第6節 護床工	6-3-6-3	根固めブロック工			3-2-3-18根固めブロック工	2-20		
	6-3-6-5	沈床工			3-2-3-19沈床工	〃		
	6-3-6-6	捨石工			3-2-3-20捨石工	〃		
	6-3-6-7	かご工		じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24		
			ふとんかご	3-2-3-29羽口工	〃			
第7節 水路工	6-3-7-3	側溝工			3-2-3-31側溝工	2-26		
	6-3-7-4	集水柵工			3-2-3-32集水柵工	〃		
	6-3-7-5	暗渠工			3-2-3-31暗渠工	〃		
	6-3-7-6	樋門接続暗渠工			3-2-3-30プレキャストカルバート工	2-24		
第8節 付属物設置工	6-3-8-3	防止柵工			3-2-3-7防止柵工	2-8		
	6-3-8-7	階段工			3-2-3-23階段工	2-20		
第4章 水門								
第3節 工場製作工	6-4-3-3	桁製作工			3-2-12-3桁製作工	2-88		
	6-4-3-4	鋼製伸縮継手製作工			3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	2-94		
	6-4-3-5	落橋防止装置製作工			3-2-12-6落橋防止装置製作工	2-96		

【第6編 河川編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第3節 工場製作工	6-4-3-6	鋼製排水管製作工			3-2-12-10鋼製排水管製作工	2-98
	6-4-3-7	橋梁用防護柵製作工			3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	2-96
	6-4-3-9	仮設材製作工			3-2-12-1仮設材製作工	2-86
	6-4-3-10	工場塗装工			3-2-12-11工場塗装工	2-100
第5節 軽量盛土工	6-4-5-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6
第6節 水門本体工	6-4-6-4	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30
	6-4-6-5	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃
	6-4-6-6	矢板工 (遮水矢板)			3-2-3-4矢板工	2-8
	6-4-6-7	床版工				2-160
	6-4-6-8	堰柱工				〃
	6-4-6-9	門柱工				〃
	6-4-6-10	ゲート操作台工				〃
	6-4-6-11	胸壁工				〃
	6-4-6-12	翼壁工			6-3-5-7翼壁工	〃
6-4-6-13	水叩工			6-3-5-8水叩工	〃	
第7節 護床工	6-4-7-3	根固めブロック工			3-2-3-18根固めブロック工	2-18
	6-4-7-5	沈床工			3-2-3-19沈床工	〃
	6-4-7-6	捨石工			3-2-3-20捨石工	〃
	6-4-7-7	かご工		じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24
				ふとんかご	3-2-3-29羽口工	〃
第8節 付属物設置工	6-4-8-3	防止柵工			3-2-3-7防止柵工	2-8
	6-4-8-8	階段工			3-2-3-23階段工	2-20
第9節 鋼管理橋上部工	6-4-9-4	架設工(クレーン架設)			3-2-13架設工(鋼橋)	2-102
	6-4-9-5	架設工(ケーブルクレーン架設)			3-2-13架設工(鋼橋)	〃
	6-4-9-6	架設工(ケーブルエレクション架設)			3-2-13架設工(鋼橋)	〃
	6-4-9-7	架設工(架設桁架設)			3-2-13架設工(鋼橋)	〃
	6-4-9-8	架設工(送出し架設)			3-2-13架設工(鋼橋)	〃
	6-4-9-9	架設工(トラベラー クレーン架設)			3-2-13架設工(鋼橋)	〃
	6-4-9-10	支承工			10-4-5-10支承工	2-220
第10節 橋梁現場塗装工	6-4-10-2	現場塗装工			3-2-3-33現場塗装工	2-28
第11節 床版工	6-4-11-2	床版工			3-2-18-2床版工	2-112
第12節 橋梁付属物工 (鋼管理橋)	6-4-12-2	伸縮装置工			3-2-3-26伸縮装置工	2-22
	6-4-12-4	地覆工			10-4-8-5地覆工	2-222
	6-4-12-5	橋梁用防護柵工			10-4-8-6橋梁用防護柵工	〃
	6-4-12-6	橋梁用高欄工			10-4-8-7橋梁用高欄工	〃
	6-4-12-7	検査路工			10-4-8-8検査路工	〃
第14節 コンクリート管理橋 上部工(PC橋)	6-4-14-2	プレテンション桁製作工(購入工)			3-2-3-13プレテンション桁製作工(購入工)	2-12
	6-4-14-3	ポストテンション桁製作工			3-2-3-14ポストテンション桁製作工	2-14
	6-4-14-4	プレキャストセグメント桁製作工(購入工)			3-2-3-14プレキャストセグメント桁製作工(購入工)	〃

【第6編 河川編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第14節 コンクリート管理橋 上部工(PC橋)	6-4-14-5	プレキャストセグメント主桁組立工			3-2-3-15プレキャストセグメント主桁組立工	2-14	
	6-4-14-6	支承工			10-4-5-10支承工	2-220	
	6-4-14-7	架設工 (クレーン架設)			3-2-13架設工 (コンクリート橋)	2-102	
	6-4-14-8	架設工(架設桁架設)			3-2-13架設工 (コンクリート橋)	〃	
	6-4-14-9	床版・横組工			3-2-18-2床版工	2-112	
	6-4-14-10	落橋防止装置工			10-4-8-3落橋防止装置工	2-222	
第15節 コンクリート管理橋 上部工(PCホロースラブ橋)	6-4-15-3	支承工			10-4-5-10支承工	2-220	
	6-4-15-4	落橋防止装置工			10-4-8-3落橋防止装置工	2-222	
	6-4-15-5	PCホロースラブ製作工			3-2-3-16PCホロースラブ製作工	2-16	
第16節 橋梁付属物工(コンクリート管理橋)	6-4-16-2	伸縮装置工			3-2-3-26伸縮装置工	2-22	
	6-4-16-4	地覆工			10-4-8-5地覆工	2-222	
	6-4-16-5	橋梁用防護柵工			10-4-8-6橋梁用防護柵工	〃	
	6-4-16-6	橋梁用高欄工			10-4-8-7橋梁用高欄工	〃	
	6-4-16-7	検査路工			10-4-8-8検査路工	〃	
第18節 舗装工	6-4-18-5	アスファルト舗装工			3-2-6-7アスファルト舗装工	2-38	
	6-4-18-6	半たわみ性舗装工			3-2-6-8半たわみ性舗装工	2-44	
	6-4-18-7	排水性舗装工			3-2-6-9排水性舗装工	2-48	
	6-4-18-8	透水性舗装工			3-2-6-10透水性舗装工	2-52	
	6-4-18-9	グースアスファルト舗装工			3-2-6-11グースアスファルト舗装工	2-54	
	6-4-18-10	コンクリート舗装工			3-2-6-12コンクリート舗装工	2-56	
	6-4-18-11	薄層カラー舗装工			3-2-6-13薄層カラー舗装工	2-64	
	6-4-18-12	ブロック舗装工			3-2-6-14ブロック舗装工	2-68	
第5章 堰							
第3節 工場製作工	6-5-3-3	刃口金物製作工			3-2-12-1刃口金物製作工	2-86	
	6-5-3-4	桁製作工			3-2-12-3桁製作工	2-88	
	6-5-3-5	検査路製作工			3-2-12-4検査路製作工	2-94	
	6-5-3-6	鋼製伸縮継手製作工			3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	〃	
	6-5-3-7	落橋防止装置製作工			3-2-12-6落橋防止装置製作工	2-96	
	6-5-3-8	鋼製排水管製作工			3-2-12-10鋼製排水管製作工	2-98	
	6-5-3-9	プレビーム用桁製作工			3-2-12-9プレビーム用桁製作工	〃	
	6-5-3-10	橋梁用防護柵製作工			3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	2-96	
	6-5-3-12	アンカーフレーム製作工			3-2-12-8アンカーフレーム製作工	〃	
	6-5-3-13	仮設材製作工			3-2-12-1仮設材製作工	2-86	
	6-5-3-14	工場塗装工			3-2-12-11工場塗装工	2-100	
	第5節 軽量盛土工	6-5-5-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6
	第6節 可動堰本体工	6-5-6-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30
		6-5-6-4	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	2-30
6-5-6-5		オープンケーソン基礎工			3-2-4-7オープンケーソン基礎工	2-32	

【第6編 河川編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第6節 可動堰本体工	6-5-6-6	ニューマチックケーソン基礎工			3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	2-32
	6-5-6-7	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8
	6-5-6-8	床版工			6-4-6-7床版工	2-160
	6-5-6-9	堰柱工			6-4-6-8堰柱工	〃
	6-5-6-10	門柱工			6-4-6-9門柱工	〃
	6-5-6-11	ゲート操作台工			6-4-6-10ゲート操作台工	〃
	6-5-6-12	水叩工			6-3-5-8水叩工	〃
	6-5-6-13	閘門工				〃
	6-5-6-14	土砂吐工				〃
	6-5-6-15	取付擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108
第7節 固定堰本体工	6-5-7-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30
	6-5-7-4	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃
	6-5-7-5	オープンケーソン基礎工			3-2-4-7オープンケーソン基礎工	2-32
	6-5-7-6	ニューマチックケーソン基礎工			3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	〃
	6-5-7-7	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8
	6-5-7-8	堰本体工				2-160
	6-5-7-9	水叩工				〃
	6-5-7-10	土砂吐工				〃
	6-5-7-11	取付擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108
	第8節 魚道工	6-5-8-3	魚道本体工			
第9節 管理橋下部工	6-5-9-2	管理橋橋台工				〃
第10節 鋼管理橋上部工	6-5-10-4	架設工 (クレーン架設)			3-2-13架設工(鋼橋)	2-102
	6-5-10-5	架設工(ケーブルクレーン架設)			3-2-13架設工(鋼橋)	〃
	6-5-10-6	架設工(ケーブルエレクション架設)			3-2-13架設工(鋼橋)	〃
	6-5-10-7	架設工 (架設桁架設)			3-2-13架設工(鋼橋)	〃
	6-5-10-8	架設工 (送出し架設)			3-2-13架設工(鋼橋)	〃
	6-5-10-9	架設工(トラベラー クレーン架設)			3-2-13架設工(鋼橋)	〃
	6-5-10-10	支承工			10-4-5-10支承工	2-220
	第11節 橋梁現場塗装工	6-5-11-2	現場塗装工			3-2-3-33現場塗装工
第12節 床版工	6-5-12-2	床版工			3-2-18-2床版工	2-112
第13節 橋梁付属物工(鋼管理橋)	6-5-13-2	伸縮装置工			3-2-3-26伸縮装置工	2-22
	6-5-13-4	地覆工			10-4-8-5地覆工	2-222
	6-5-13-5	橋梁用防護柵工			10-4-8-6橋梁用防護柵工	〃
	6-5-13-6	橋梁用高欄工			10-4-8-7橋梁用高欄工	〃
	6-5-13-7	検査路工			10-4-8-8検査路工	〃
第15節 コンクリート管理橋 上部工(PC橋)	6-5-15-2	プレテンション桁 製作工(購入工)			3-2-3-13プレテンション桁 製作工(購入工)	2-12
	6-5-15-3	ポストテンション桁 製作工			3-2-3-14ポストテンション 桁製作工	2-14

【第6編 河川編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第15節 コンクリート管理橋 上部工（PC橋）	6-5-15-4	プレキャストセグメント桁製作工（購入工）			3-2-3-14プレキャストセグメント桁製作工（購入工）	2-14	
	6-5-15-5	プレキャストセグメント主桁組立工			3-2-3-15プレキャストセグメント主桁組立工	〃	
	6-5-15-6	支承工			10-4-5-10支承工	2-220	
	6-5-15-7	架設工（クレーン架設）			3-2-13架設工（コンクリート橋）	2-104	
	6-5-15-8	架設工（架設桁架設）			3-2-13架設工（コンクリート橋）	〃	
	6-5-15-9	床版・横組工			3-2-18-2床版工	2-112	
	6-5-15-10	落橋防止装置工			10-4-8-3落橋防止装置工	2-222	
第16節 コンクリート管理橋 上部工（PCホロースラブ橋）	6-5-16-3	支承工			10-4-5-10支承工	2-220	
	6-5-16-4	落橋防止装置工			10-4-8-3落橋防止装置工	2-222	
	6-5-16-5	PCホロースラブ製作工			3-2-3-16PCホロースラブ製作工	2-16	
第17節 コンクリート管理橋 上部工（PC箱桁橋）	6-5-17-3	支承工			10-4-5-10支承工	2-220	
	6-5-17-4	PC箱桁製作工			3-2-3-17PC箱桁製作工	2-16	
	6-5-17-5	落橋防止装置工			10-4-8-3落橋防止装置工	2-222	
第20節 付属物設置工	6-5-20-3	防止柵工			3-2-3-7防止柵工	2-8	
	6-5-20-7	階段工			3-2-3-23階段工	2-20	
第6章 排水機場							
第3節 軽量盛土工	6-6-3-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6	
第4節 機場本体工	6-6-4-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30	
	6-6-4-4	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃	
	6-6-4-5	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8	
	6-6-4-6	本体工				2-164	
	6-6-4-7	燃料貯油槽工				〃	
第5節 沈砂池工	6-6-5-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30	
	6-6-5-4	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃	
	6-6-5-5	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8	
	6-6-5-6	場所打擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108	
	6-6-5-7	コンクリート床版工				2-164	
	6-6-5-8	ブロック床版工			3-2-3-18根固めブロック工	2-20	
	6-6-5-9	場所打水路工			3-2-3-31場所打水路工	2-26	
第6節 吐出水槽工	6-6-6-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30	
	6-6-6-4	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃	
	6-6-6-5	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8	
	6-6-6-6	本体工			6-6-4-6本体工	2-164	
第7章 床止め・床固め							
第3節 軽量盛土工	6-7-3-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6	
第4節 床止め工	6-7-4-4	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30	
	6-7-4-5	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8	
	6-7-4-6	本体工	床固め本体工				2-166
			植石張り			3-2-5-5石積（張）工	2-36
			根固めブロック			3-2-3-18根固めブロック工	2-20
6-7-4-7	取付擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108		

【第6編 河川編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第4節 床止め工	6-7-4-8	水叩工		水叩工		2-166
				巨石張り	3-2-3-28多自然型護岸工	2-22
				根固めブロック	3-2-3-18根固めブロック工	2-20
第5節 床固め工	6-7-5-4	本堤工			6-7-4-6本体工	2-166
	6-7-5-5	垂直壁工			6-7-4-6本体工	〃
	6-7-5-6	側壁工				〃
	6-7-5-7	水叩工			6-7-4-8水叩工	〃
第6節 山留擁壁工	6-7-6-3	コンクリート擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108
	6-7-6-4	ブロック積擁壁工			3-2-5-3コンクリートブロック工	2-34
	6-7-6-5	石積擁壁工			3-2-5-5石積(張)工	2-36
	6-7-6-6	山留擁壁基礎工			3-2-4-3基礎工(護岸)	2-28
第8章 河川維持						
第7節 路面補修工	6-8-7-3	不陸整正工			1-2-3-6堤防天端工	2-4
	6-8-7-4	コンクリート舗装補修工			3-2-6-12コンクリート舗装工	2-56
	6-8-7-5	アスファルト舗装補修工			3-2-6-7アスファルト舗装工	2-38
第8節 付属物復旧工	6-8-8-2	付属物復旧工			3-2-3-8路側防護柵工	2-10
第9節 付属物設置工	6-8-9-3	防護柵工			3-2-3-7防止柵工	2-8
	6-8-9-5	付属物設置工			3-2-3-10道路付属物工	2-10
第10節 光ケーブル配管工	6-8-10-3	配管工			6-1-13-3配管工	2-156
	6-8-10-4	ハンドホール工			6-1-13-4ハンドホール工	〃
第12節 植栽維持工	6-8-12-3	樹木・芝生管理工			3-2-14-2植生工	2-104
第9章 河川修繕						
第3節 軽量盛土工	6-9-3-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6
第4節 腹付工	6-9-4-2	覆土工			1-2-3-5法面整形工	2-4
	6-9-4-3	植生工			3-2-14-2植生工	2-104
第5節 側帯工	6-9-5-2	縁切工		じゃかご工	3-2-3-29羽口工	2-24
				連節ブロック張り	3-2-5-3コンクリートブロック工(連節ブロック張り)	2-34
				コンクリートブロック張り	3-2-5-3コンクリートブロック工	〃
	石張工	3-2-5-5石積(張)工	2-36			
6-9-5-3	植生工			3-2-14-2植生工	2-104	
第6節 堤脚保護工	6-9-6-3	石積工			3-2-5-5石積(張)工	2-36
	6-9-6-4	コンクリートブロック工			3-2-5-3コンクリートブロック工	2-34
第7節 管理用通路工	6-9-7-2	防護柵工			3-2-3-7防止柵工	2-8
	6-9-7-4	路面切削工			3-2-6-15路面切削工	2-72
	6-9-7-5	舗装打換え工			3-2-6-16舗装打換え工	〃
	6-9-7-6	オーバーレイ工			3-2-6-17オーバーレイ工	〃
第7節 管理用通路工	6-9-7-7	排水構造物工		プレキャストU型側溝・管(函)渠	3-2-3-31側溝工	2-26
				集水柵工	3-2-3-32集水柵工	〃
	6-9-7-8	道路付属物工		歩車道境界ブロック	3-2-3-5縁石工	2-8
第8節 現場塗装工	6-9-8-3	付属物塗装工			3-2-3-33現場塗装工	2-28
	6-9-8-4	コンクリート面塗装工			3-2-3-11コンクリート面塗装工	2-12

【第7編 河川海岸編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 堤防・護岸						
第3節 軽量盛土工	7-1-3-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6
第4節 地盤改良工	7-1-4-2	表層安定処理工			3-2-7-4表層安定処理工	2-76
	7-1-4-3	パイルネット工			3-2-7-5パイルネット工	〃
	7-1-4-4	バーチカルドレーン工			3-2-7-7バーチカルドレーン工	2-78
	7-1-4-5	締固め改良工			3-2-7-8締固め改良工	〃
	7-1-4-6	固結工			3-2-7-9固結工	〃
第5節 護岸基礎工	7-1-5-4	捨石工			3-2-3-20捨石工	2-20
	7-1-5-5	場所打コンクリート工				2-168
	7-1-5-6	海岸コンクリートブロック工				〃
	7-1-5-7	笠コンクリート工			3-2-4-3基礎工（護岸）	2-28
	7-1-5-8	基礎工			3-2-4-3基礎工（護岸）	〃
	7-1-5-9	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8
第6節 護岸工	7-1-6-3	石積（張）工			3-2-5-5石積（張）工	2-36
	7-1-6-4	海岸コンクリートブロック工				2-168
	7-1-6-5	コンクリート被覆工				2-170
第7節 擁壁工	7-1-7-3	場所打擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108
第8節 天端被覆工	7-1-8-2	コンクリート被覆工				2-170
第9節 波返工	7-1-9-3	波返工				〃
第10節 裏法被覆工	7-1-10-2	石積（張）工			3-2-5-5石積（張）工	2-36
	7-1-10-3	コンクリートブロック工			3-2-5-3コンクリートブロック工	2-34
	7-1-10-4	コンクリート被覆工			7-1-6-5コンクリート被覆工	2-170
	7-1-10-5	法枠工			3-2-14-4法枠工	2-106
	第11節 カルバート工	7-1-11-3	プレキャストカルバート工			3-2-3-30プレキャストカルバート工
第12節 排水構造物工	7-1-12-3	側溝工			3-2-3-31側溝工	2-26
	7-1-12-4	集水柵工			3-2-3-32集水柵工	〃
	7-1-12-5	管渠工		プレキャストパイプ	3-2-3-31暗渠工	〃
				プレキャストボックス	3-2-3-31暗渠工	〃
				コルゲートパイプ	3-2-3-31暗渠工	〃
				タグタイル铸铁管	3-2-3-31暗渠工	〃
7-1-12-6	場所打水路工			3-2-3-31場所打水路工	〃	
第13節 付属物設置工	7-1-13-3	防止柵工			3-2-3-7防止柵工	2-8
	7-1-13-6	階段工			3-2-3-23階段工	2-20
第14節 付帯道路工	7-1-14-3	路側防護柵工			3-2-3-8路側防護柵工	2-10
	7-1-14-5	アスファルト舗装工			3-2-6-7アスファルト舗装工	2-38
	7-1-14-6	コンクリート舗装工			3-2-6-12コンクリート舗装工	2-56
	7-1-14-7	薄層カラー舗装工			3-2-6-13薄層カラー舗装工	2-64
	7-1-14-8	側溝工			3-2-3-31側溝工	2-26
	7-1-14-9	集水柵工			3-2-3-32集水柵工	〃
	7-1-14-10	縁石工			3-2-3-5縁石工	2-8
	7-1-14-11	区画線工			3-2-3-9区画線工	2-10
第15節 付帯道路施設工	7-1-15-3	道路付属物工			3-2-3-10道路付属物工	〃

【第7編 河川海岸編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第15節 付帯道路施設工	7-1-15-4	小型標識工			3-2-3-6小型標識工	2-8
第2章 突堤・人工岬						
第3節 軽量盛土工	7-2-3-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6
第4節 突堤基礎工	7-2-4-4	捨石工				2-172
	7-2-4-5	吸出し防止工				〃
第5節 突堤本体工	7-2-5-2	捨石工				〃
	7-2-5-5	海岸コンクリートブロック工				2-174
	7-2-5-6	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30
第5節 突堤本体工	7-2-5-7	詰杭工			3-2-4-4既製杭工	〃
	7-2-5-8	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8
	7-2-5-9	石枠工				2-174
	7-2-5-10	場所打コンクリート工				〃
	7-2-5-11	ケーソン工		ケーソン工製作		2-176
				ケーソン工据付		〃
	7-2-5-12	セルラー工		突堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロック)		〃
				セルラー工製作		2-178
			セルラー工据付		〃	
			突堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロック)		〃	
第6節 根固め工	7-2-6-2	捨石工				〃
	7-2-6-3	根固めブロック工				2-180
第7節 消波工	7-2-7-2	捨石工			3-2-3-20捨石工	2-20
	7-2-7-3	消波ブロック工				2-180
第3章 海域堤防（人工リーフ、離岸堤、潜堤）						
第3節 海域堤基礎工	7-3-3-3	捨石工				2-180
	7-3-3-4	吸出し防止工			7-2-4-5吸出し防止工	2-172
第4節 海域堤本体工	7-3-4-2	捨石工			3-2-3-20捨石工	2-20
	7-3-4-3	海岸コンクリートブロック工			7-2-5-5海岸コンクリートブロック工	2-174
	7-3-4-4	ケーソン工			7-2-5-11ケーソン工	2-176
	7-3-4-5	セルラー工			7-2-5-12セルラー工	2-178
	7-3-4-6	場所打コンクリート工			7-2-5-10場所打ちコンクリート工	2-174
第4章 浚渫（海岸）						
第2節 浚渫工 （ポンプ浚渫船）	7-4-2-2	浚渫船運転工			3-2-16-3浚渫船運転工	2-112
第3節 浚渫工（グラブ船）	7-4-3-2	浚渫船運転工			3-2-16-3浚渫船運転工	〃
第5章 養浜						
第2節 軽量盛土工	7-5-2-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6
第3節 砂止工	7-5-3-2	根固めブロック工			7-2-6-3根固めブロック工	2-180

【第8編 砂防編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第1章 砂防堰堤							
第3節 工場製作工	8-1-3-3	鋼製堰堤製作工			3-2-12-3桁製作工(鋼製堰堤製作工(仮組立時))	2-94	
	8-1-3-4	鋼製堰堤仮設材製作工				2-182	
	8-1-3-5	工場塗装工			3-2-12-11工場塗装工	2-100	
第5節 軽量盛土工	8-1-5-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6	
第6節 法面工	8-1-6-2	植生工			3-2-14-2植生工	2-104	
	8-1-6-3	法面吹付工			3-2-14-3吹付工	2-106	
	8-1-6-4	法枠工			3-2-14-4法枠工	〃	
	8-1-6-6	アンカー工			3-2-14-6アンカー工	〃	
	8-1-6-7	かご工			じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24
ふとんかご					3-2-3-29羽口工	〃	
第8節 コンクリート堰堤工	8-1-8-4	コンクリート堰堤本体工				2-182	
	8-1-8-5	コンクリート副堰堤工			8-1-8-4コンクリート堰堤本体工	〃	
	8-1-8-6	コンクリート側壁工				〃	
	8-1-8-8	水叩工				2-184	
第9節 鋼製堰堤工	8-1-9-5	鋼製堰堤本体工			不透過型	〃	
					透過型	〃	
	8-1-9-6	鋼製側壁工				2-186	
	8-1-9-7	コンクリート側壁工			8-1-8-6コンクリート側壁工	2-182	
	8-1-9-9	水叩工			8-1-8-8水叩工	2-184	
	8-1-9-10	現場塗装工			3-2-3-33現場塗装工	2-28	
第10節 護床工・根固め工	8-1-10-4	根固めブロック工			3-2-3-18根固めブロック工	2-20	
	8-1-10-6	沈床工			3-2-3-19沈床工	〃	
	8-1-10-7	かご工			じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24
					ふとんかご	3-2-3-29羽口工	〃
第11節 砂防堰堤付属物設置工	8-1-11-3	防止柵工			3-2-3-7防止柵工	2-8	
第12節 付帯道路工	8-1-12-3	路側防護柵工			3-2-3-8路側防護柵工	2-10	
	8-1-12-5	アスファルト舗装工			3-2-6-7アスファルト舗装工	2-38	
	8-1-12-6	コンクリート舗装工			3-2-6-12コンクリート舗装工	2-56	
	8-1-12-7	薄層カラー舗装工			3-2-6-13薄層カラー舗装工	2-64	
	8-1-12-8	側溝工			3-2-3-31側溝工	2-26	
	8-1-12-9	集水柵工			3-2-3-32集水柵工	〃	
	8-1-12-10	縁石工			3-2-3-5縁石工	2-8	
	8-1-12-11	区画線工			3-2-3-9区画線工	2-10	
第13節 付帯道路施設工	8-1-13-3	道路付属物工			3-2-3-10道路付属物工	〃	
	8-1-13-4	小型標識工			3-2-3-6小型標識工	2-8	
第2章 流路							
第3節 軽量盛土工	8-2-3-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6	
第4節 流路護岸工	8-2-4-4	基礎工(護岸)			3-2-4-3基礎工(護岸)	2-28	
	8-2-4-5	コンクリート擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108	
	8-2-4-6	ブロック積擁壁工			3-2-5-3コンクリートブロック工	2-34	
	8-2-4-7	石積擁壁工			3-2-5-5石積(張)工	2-36	

【第8編 砂防編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第4節 流路護岸工	8-2-4-8	護岸付属物工			6-1-7-4護岸付属物工	2-156
	8-2-4-9	植生工			3-2-14-2植生工	2-104
第5節 床固め工	8-2-5-4	床固め本体工			8-1-8-4コンクリート堰堤本体工	2-182
	8-2-5-5	垂直壁工			8-1-8-4コンクリート堰堤本体工	〃
	8-2-5-6	側壁工			8-1-8-6コンクリート側壁工	〃
	8-2-5-7	水叩工			8-1-8-8水叩工	2-184
	8-2-5-8	魚道工				2-186
第6節 根固め・水制工	8-2-6-4	根固めブロック工			3-2-3-18根固めブロック工	2-20
	8-2-6-6	捨石工			3-2-3-20捨石工	〃
	8-2-6-7	かご工		じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24
				ふとんかご	3-2-3-29羽口工	〃
			かごマット	3-2-3-28多自然型護岸工	2-22	
第7節 流路付属物設置工	8-2-7-2	階段工			3-2-3-23階段工	2-20
	8-2-7-3	防止柵工			3-2-3-7防止柵工	2-8
第3章 斜面对策						
第3節 軽量盛土工	8-3-3-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6
第4節 法面工	8-3-4-2	植生工			3-2-14-2植生工	2-104
	8-3-4-3	吹付工			3-2-14-3吹付工	2-106
	8-3-4-4	法枠工			3-2-14-4法枠工	〃
	8-3-4-5	かご工		じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24
				ふとんかご	3-2-3-29羽口工	〃
	8-3-4-6	アンカー工(プレキャストコンクリート板)			3-2-14-6アンカー工	2-106
8-3-4-7	抑止アンカー工			3-2-14-6アンカー工	〃	
第5節 擁壁工	8-3-5-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30
	8-3-5-4	場所打擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108
	8-3-5-5	プレキャスト擁壁工			3-2-15-2プレキャスト擁壁工	〃
	8-3-5-6	補強土壁工			3-2-15-3補強土壁工	2-110
	8-3-5-7	井桁ブロック工			3-2-15-4井桁ブロック工	〃
	8-3-5-8	落石防護工			10-1-11-5落石防護柵工	2-200
第6節 山腹水路工	8-3-6-3	山腹集水路・排水路工			3-2-3-31場所打水路工	2-26
	8-3-6-4	山腹明暗渠工				2-186
	8-3-6-5	山腹暗渠工			3-2-3-31暗渠工	2-26
	8-3-6-6	現場打水路工			3-2-3-31場所打水路工	〃
	8-3-6-7	集水柵工			3-2-3-32集水柵工	〃
第7節 地下水排除工	8-3-7-4	集排水ボーリング工				2-188
	8-3-7-5	集水井工				〃
第8節 地下水遮断工	8-3-8-3	場所打擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108
	8-3-8-4	固結工			3-2-7-9固結工	2-78
	8-3-8-5	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8
第9節 抑止杭工	8-3-9-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30
	8-3-9-4	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃
	8-3-9-5	シャフト工(深礎工)			3-2-4-6深礎工	〃
	8-3-9-6	合成杭工				2-188

【第9編 ダム編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 コンクリートダム						
第4節 ダムコンクリート工	9-1-4	コンクリートダム工		本体		2-190
	9-1-4	コンクリートダム工		水叩		〃
	9-1-4	コンクリートダム工		副ダム		2-192
	9-1-4	コンクリートダム工		導流壁		2-194
第2章 フィルダム						
第3節 盛立工	9-2-3-5	コアの盛立				2-196
	9-2-3-6	フィルターの盛立				〃
	9-2-3-7	ロックの盛立				〃
	9-2	フィルダム (洪水吐)				2-198
第3章 基礎グラウチング						
第3節 ボーリング工	9-3-3	ボーリング工				2-198

【第10編 道路編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 道路改良						
第3節 工場製作工	10-1-3-2	遮音壁支柱製作工		遮音壁支柱製作工		2-200
				工場塗装工	3-2-12-11工場塗装工	2-100
第4節 地盤改良工	10-1-4-2	路床安定処理工			3-2-7-2路床安定処理工	2-74
	10-1-4-3	置換工			3-2-7-3置換工	〃
	10-1-4-4	サンドマット工			3-2-7-6サンドマット工	2-76
	10-1-4-5	パーチカルドレーン工			3-2-7-7パーチカルドレーン工	2-78
	10-1-4-6	締固め改良工			3-2-7-8締固め改良工	〃
	10-1-4-7	固結工			3-2-7-9固結工	〃
第5節 法面工	10-1-5-2	植生工			3-2-14-2植生工	2-104
	10-1-5-3	法面吹付工			3-2-14-3吹付工	2-106
	10-1-5-4	法枠工			3-2-14-4法枠工	〃
	10-1-5-6	アンカー工			3-2-14-6アンカー工	〃
	10-1-5-7	かご工		じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24
				ふとんかご	3-2-3-29羽口工	〃
第6節 軽量盛土工	10-1-6-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6
第7節 擁壁工	10-1-7-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30
	10-1-7-4	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃
	10-1-7-5	場所打擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108
	10-1-7-6	プレキャスト擁壁工			3-2-15-2プレキャスト擁壁工	〃
	10-1-7-7	補強土壁工		補強土（テールアルメ）壁工法	3-2-15-3補強土壁工	2-110
				多数アンカー式補強土工法	3-2-15-3補強土壁工	〃
				ジオテキスタイルを用いた補強土工法	3-2-15-3補強土壁工	〃
10-1-7-8	井桁ブロック工			3-2-15-4井桁ブロック工	〃	
第8節 石・ブロック積（張）工	10-1-8-3	コンクリートブロック工			3-2-5-3コンクリートブロック工	2-34
	10-1-8-4	石積（張）工			3-2-5-5石積（張）工	2-36
第9節 カルバート工	10-1-9-4	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30
	10-1-9-5	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃
	10-1-9-6	場所打函渠工				2-200
	10-1-9-7	プレキャストカルバート工			3-2-3-30プレキャストカルバート工	2-24
第10節 排水構造物工（小型水路工）	10-1-10-3	側溝工			3-2-3-31側溝工	2-26
	10-1-10-4	管渠工			3-2-3-31側溝工	〃
	10-1-10-5	集水柵・マンホール工			3-2-3-32集水柵工	〃
	10-1-10-6	地下排水工			3-2-3-31暗渠工	〃
	10-1-10-7	場所排水路工			3-2-3-31場所排水路工	〃
	10-1-10-8	排水工（小段排水・縦排水）			3-2-3-31側溝工	〃
第11節 落石雪害防止工	10-1-11-4	落石防止網工				2-200
	10-1-11-5	落石防護柵工				〃
	10-1-11-6	防雪柵工				〃
	10-1-11-7	雪崩予防柵工				2-202

【第10編 道路編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第12節 遮音壁工	10-1-12-4	遮音壁基礎工				2-202
	10-1-12-5	遮音壁本体工				〃
第2章 舗装						
第3節 地盤改良工	10-2-3-2	路床安定処理工			3-2-7-2路床安定処理工	2-74
	10-2-3-3	置換工			3-2-7-3置換工	〃
第4節 舗装工	10-2-4-5	アスファルト舗装工			3-2-6-7アスファルト舗装工	2-38
	10-2-4-6	半たわみ性舗装工			3-2-6-8半たわみ性舗装工	2-44
	10-2-4-7	排水性舗装工			3-2-6-9排水性舗装工	2-48
	10-2-4-8	透水性舗装工			3-2-6-10透水性舗装工	2-52
	10-2-4-9	グースアスファルト舗装工			3-2-6-11グースアスファルト舗装工	2-54
	10-2-4-10	コンクリート舗装工			3-2-6-12コンクリート舗装工	2-56
	10-2-4-11	薄層カラー舗装工			3-2-6-13薄層カラー舗装工	2-64
	10-2-4-12	ブロック舗装工			3-2-6-14ブロック舗装工	2-68
	10-2-4	歩道路盤工				2-204
	10-2-4	取合舗装路盤工				〃
	10-2-4	路肩舗装路盤工				〃
	10-2-4	歩道舗装工				〃
	10-2-4	取合舗装工				〃
	10-2-4	路肩舗装工				〃
10-2-4	表層工				〃	
第5節 排水構造物工 (路面排水工)	10-2-5-3	側溝工			3-2-3-31側溝工	2-26
	10-2-5-4	管渠工			3-2-3-31側溝工	〃
	10-2-5-5	集水柵(街渠柵)・マンホール工			3-2-3-32集水柵工	〃
	10-2-5-6	地下排水工			3-2-3-31暗渠工	〃
	10-2-5-7	場所打水路工			3-2-3-31場所打水路工	〃
	10-2-5-8	排水工(小段排水・縦排水)			3-2-3-31側溝工	〃
	10-2-5-9	排水性舗装用路肩排水工				2-206
第6節 縁石工	10-2-6-3	縁石工			3-2-3-5縁石工	2-8
第7節 踏掛版工	10-2-7-4	踏掛版工		コンクリート工		2-206
				ラバーシュー		〃
				アンカーボルト		〃
第8節 防護柵工	10-2-8-3	路側防護柵工			3-2-3-8路側防護柵工	2-10
	10-2-8-4	防止柵工			3-2-3-7防止柵工	2-8
	10-2-8-5	ボックスビーム工			3-2-3-8路側防護柵工	2-10
	10-2-8-6	車止めポスト工			3-2-3-7防止柵工	2-8
第9節 標識工	10-2-9-3	小型標識工			3-2-3-6小型標識工	〃
	10-2-9-4	大型標識工	1	標識基礎工		2-206
2			標識柱工		〃	
第10節 区画線工	10-2-10-2	区画線工			3-2-3-9区画線工	2-10
第12節 道路付属施設工	10-2-12-4	道路付属物工			3-2-3-10道路付属物工	〃
	10-2-12-5	ケーブル配管工	1			2-208
			2	ハンドホール		〃
10-2-12-6	照明工			照明柱基礎工	〃	

【第10編 道路編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第13節 橋梁付属物工	10-2-13-2	伸縮装置工			3-2-3-26伸縮装置工	2-22
第3章 橋梁下部						
第3節 工場製作工	10-3-3-2	刃口金物製作工			3-2-12-1刃口金物製作工	2-86
	10-3-3-3	鋼製橋脚製作工				2-210
	10-3-3-4	アンカーフレーム製作工			3-2-12-8アンカーフレーム製作工	2-96
	10-3-3-5	工場塗装工			3-2-12-11工場塗装工	2-100
第5節 軽量盛土工	10-3-5-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6
第6節 橋台工	10-3-6-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30
	10-3-6-4	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃
	10-3-6-5	深礎工			3-2-4-6深礎工	〃
	10-3-6-6	オープンケーソン基礎工			3-2-4-7オープンケーソン基礎工	2-32
	10-3-6-7	ニューマチックケーソン基礎工			3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	〃
	10-3-6-8	橋台躯体工				2-212
第7節 RC橋脚工	10-3-7-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30
	10-3-7-4	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃
	10-3-7-5	深礎工			3-2-4-6深礎工	〃
	10-3-7-6	オープンケーソン基礎工			3-2-4-7オープンケーソン基礎工	2-32
	10-3-7-7	ニューマチックケーソン基礎工			3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	〃
	10-3-7-8	鋼管矢板基礎工			3-2-4-9鋼管矢板基礎工	〃
	10-3-7-9	橋脚躯体工	1	張出式		2-214
				重力式	10-3-7-9橋脚躯体工	〃
				半重力式	10-3-7-9橋脚躯体工	〃
2	ラーメン式		2-216			
第8節 鋼製橋脚工	10-3-8-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30
	10-3-8-4	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃
	10-3-8-5	深礎工			3-2-4-6深礎工	〃
	10-3-8-6	オープンケーソン基礎工			3-2-4-7オープンケーソン基礎工	2-32
	10-3-8-7	ニューマチックケーソン基礎工			3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	〃
	10-3-8-8	鋼管矢板基礎工			3-2-4-9鋼管矢板基礎工	〃
	10-3-8-9	橋脚フーチング工	1	I型・T型		2-216
				門型		2-218
	10-3-8-10	橋脚架設工	1	I型・T型		〃
				2	門型	
	10-3-8-11	現場継手工				〃
	10-3-8-12	現場塗装工			3-2-3-33現場塗装工	2-28
第9節 護岸基礎工	10-3-9-3	基礎工			3-2-4-3基礎工(護岸)	〃
	10-3-9-4	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8
第10節 矢板護岸工	10-3-10-3	笠コンクリート工			3-2-4-3基礎工(護岸)	2-28
	10-3-10-4	矢板工			3-2-3-4矢板工	2-8

【第10編 道路編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第11節 法覆護岸工	10-3-11-2	コンクリートブロック工			3-2-5-3コンクリートブロック工	2-34
	10-3-11-3	護岸付属物工			6-1-7-4護岸付属物工	2-156
	10-3-11-4	緑化ブロック工			3-2-5-4緑化ブロック工	2-36
	10-3-11-5	環境護岸ブロック工			3-2-5-3コンクリートブロック工	2-34
	10-3-11-6	石積（張）工			3-2-5-5石積（張）工	2-36
	10-3-11-7	法枠工			3-2-14-4法枠工	2-106
	10-3-11-8	多自然型護岸工		巨石張り	3-2-3-28多自然型護岸工	2-22
				巨石積み	3-2-3-28多自然型護岸工	〃
				かごマット	3-2-3-28多自然型護岸工	〃
	10-3-11-9	吹付工			3-2-14-3吹付工	2-106
	10-3-11-10	植生工			3-2-14-2植生工	2-104
	10-3-11-11	覆土工			1-2-3-5法面整形工	2-4
	10-3-11-12	羽口工		じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24
ふとんかご				3-2-3-29羽口工	〃	
かご枠				3-2-3-29羽口工	〃	
連節ブロック張り				3-2-5-3連節ブロック張り	2-34	
第12節 擁壁護岸工	10-3-12-3	場所打擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108
	10-3-12-4	プレキャスト擁壁工			3-2-15-2プレキャスト擁壁工	〃
第4章 鋼橋上部						
第3節 工場製作工	10-4-3-3	桁製作工			3-2-12-3桁製作工	2-88
	10-4-3-4	検査路製作工			3-2-12-4検査路製作工	2-94
	10-4-3-5	鋼製伸縮継手製作工			3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	〃
	10-4-3-6	落橋防止装置製作工			3-2-12-6落橋防止装置製作工	2-96
	10-4-3-7	鋼製排水管製作工			3-2-12-10鋼製排水管製作工	2-98
	10-4-3-8	橋梁用防護柵製作工			3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	2-96
	10-4-3-9	橋梁用高欄製作工				2-218
	10-4-3-10	横断歩道橋製作工			3-2-12-3桁製作工	2-88
	10-4-3-12	アンカーフレーム製作工			3-2-12-8アンカーフレーム製作工	2-96
	10-4-3-13	工場塗装工			3-2-12-11工場塗装工	2-100
第5節 鋼橋架設工	10-4-5-4	架設工（クレーン架設）			3-2-13架設工（鋼橋）	2-102
	10-4-5-5	架設工（ケーブルクレーン架設）			3-2-13架設工（鋼橋）	〃
	10-4-5-6	架設工（ケーブルエレクション架設）			3-2-13架設工（鋼橋）	〃
	10-4-5-7	架設工（架設桁架設）			3-2-13架設工（鋼橋）	〃
	10-4-5-8	架設工（送出し架設）			3-2-13架設工（鋼橋）	〃
	10-4-5-9	架設工（トラバラークレーン架設）			3-2-13架設工（鋼橋）	〃
	10-4-5-10	支承工	1	鋼製支承		2-220
2			ゴム支承		〃	
第6節 橋梁現場塗装工	10-4-6-3	現場塗装工			3-2-3-33現場塗装工	2-28

【第10編 道路編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第7節 床版工	10-4-7-2	床版工			3-2-18-2床版工	2-112
第8節 橋梁付属物工	10-4-8-2	伸縮装置工			3-2-3-26伸縮装置工	2-22
	10-4-8-3	落橋防止装置工				2-222
	10-4-8-5	地覆工				〃
	10-4-8-6	橋梁用防護柵工				〃
	10-4-8-7	橋梁用高欄工				〃
	10-4-8-8	検査路工				〃
第9節 歩道橋本体工	10-4-9-3	既製杭工			3-2-4-4既製杭工	2-30
	10-4-9-4	場所打杭工			3-2-4-5場所打杭工	〃
	10-4-9-5	橋脚フーチング工		I型	10-3-8-9橋脚フーチング工	2-216
				T型	10-3-8-9橋脚フーチング工	〃
	10-4-9-6	歩道橋（側道橋） 架設工			3-2-13架設工（鋼橋）	2-102
	10-4-9-7	現場塗装工			3-2-3-33現場塗装工	2-28
第5章 コンクリート橋上部						
第3節 工場製作工	10-5-3-2	プレビーム用桁製作工			3-2-12-9プレビーム用桁製作工	2-98
	10-5-3-3	橋梁用防護柵製作工			3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	2-96
	10-5-3-4	鋼製伸縮継手製作工			3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	2-94
	10-5-3-5	検査路製作工			3-2-12-4検査路製作工	〃
	10-5-3-6	工場塗装工			3-2-12-11工場塗装工	2-100
	第5節 PC橋工	10-5-5-2	プレテンション桁製作工（購入工）		けた橋	3-2-3-13プレテンション桁製作工（購入工）
				スラブ橋	3-2-3-13プレテンション桁製作工（購入工）	〃
10-5-5-3		ポストテンション桁製作工			3-2-3-14ポストテンション桁製作工	2-14
10-5-5-4		プレキャストセグメント桁製作工（購入工）			3-2-3-14プレキャストセグメント桁製作工（購入工）	〃
10-5-5-5		プレキャストセグメント主桁組立工			3-2-3-15プレキャストセグメント主桁組立工	〃
10-5-5-6		支承工			10-4-5-10支承工	2-220
10-5-5-7		架設工（クレーン架設）			3-2-13架設工（鋼橋）	2-102
10-5-5-8		架設工（架設桁架設）			3-2-13架設工（鋼橋）	〃
10-5-5-9		床版・横組工			3-2-18-2床版工	2-112
10-5-5-10		落橋防止装置工			10-4-8-3落橋防止装置工	2-222
第6節 プレビーム桁橋工	10-5-6-2	プレビーム桁製作工		現場		2-224
	10-5-6-3	支承工			10-4-5-10支承工	2-220
	10-5-6-4	架設工（クレーン架設）			3-2-13架設工（鋼橋）	2-102
	10-5-6-5	架設工（架設桁架設）			3-2-13架設工（鋼橋）	〃
	10-5-6-6	床版・横組工			3-2-18-2床版工	2-112
	10-5-6-9	落橋防止装置工			10-4-8-3落橋防止装置工	2-222
第7節 PCホロースラブ橋工	10-5-7-3	支承工			10-4-5-10支承工	2-220
	10-5-7-4	PCホロースラブ製作工			3-2-3-16PCホロースラブ製作工	2-16
	10-5-7-5	落橋防止装置工			10-4-8-3落橋防止装置工	2-222

【第10編 道路編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第8節 RCホロースラブ橋工	10-5-8-3	支承工			10-4-5-10支承工	2-220
	10-5-8-4	RC場所打ホロースラブ製作工			3-2-3-16PCホロースラブ製作工	2-16
	10-5-8-5	落橋防止装置工			10-4-8-3落橋防止装置工	2-222
第9節 PC版桁橋工	10-5-9-2	PC版桁製作工			3-2-3-16PCホロースラブ製作工	2-16
第10節 PC箱桁橋工	10-5-10-3	支承工			10-4-5-10支承工	2-220
	10-5-10-4	PC箱桁製作工			3-2-3-17PC箱桁製作工	2-16
	10-5-10-5	落橋防止装置工			10-4-8-3落橋防止装置工	2-222
第11節 PC片持箱桁橋工	10-5-11-2	PC片持箱桁製作工			3-2-3-17PC箱桁製作工	2-16
	10-5-11-3	支承工			10-4-5-10支承工	2-220
	10-5-11-4	架設工(片持架設)			3-2-13架設工(コンクリート橋)	2-104
第12節 PC押し箱桁橋工	10-5-12-2	PC押し箱桁製作工			3-2-3-17PC箱桁製作工	2-16
	10-5-12-3	架設工(押し架設)			3-2-13架設工(コンクリート橋)	2-104
第13節 橋梁付属物工	10-5-13-2	伸縮装置工			3-2-3-26伸縮装置工	2-22
	10-5-13-4	地覆工			10-4-8-5地覆工	2-222
	10-5-13-5	橋梁用防護柵工			10-4-8-6橋梁用防護柵工	〃
	10-5-13-6	橋梁用高欄工			10-4-8-7橋梁用高欄工	〃
	10-5-13-7	検査路工			10-4-8-8検査路工	〃
第6章 トンネル (NATM)						
第4節 支保工	10-6-4-3	吹付工				2-224
	10-6-4-4	ロックボルト工				〃
第5節 覆工	10-6-5-3	覆工コンクリート工				2-226
	10-6-5-4	側壁コンクリート工			10-6-5-3覆工コンクリート工	〃
	10-6-5-5	床版コンクリート工				〃
第6節 インバート工	10-6-6-4	インバート本体工				2-228
第7節 坑内付帯工	10-6-7-5	地下排水工			3-2-3-31暗渠工	2-26
第8節 坑門工	10-6-8-4	坑門本体工				2-228
	10-6-8-5	明り巻工				2-230
第11章 共同溝						
第3節 工場製作工	10-11-3-3	工場塗装工			3-2-12-11工場塗装工	2-100
第6節 現場打構築工	10-11-6-2	現場打躯体工				2-230
	10-11-6-4	カラー継手工				2-232
	10-11-6-5	防水工	1	防水		
2			防水保護工			〃
3			防水壁			2-234
第7節 プレキャスト構築工	10-11-7-2	プレキャスト躯体工				〃
第12章 電線共同溝						
第5節 電線共同溝工	10-12-5-2	管路工		管路部		2-234
	10-12-5-3	プレキャストボックス工		特殊部		2-236
	10-12-5-4	現場打ちボックス工		特殊部	10-11-6-2現場打躯体工	2-230
第6節 付帯設備工	10-12-6-2	ハンドホール工				2-236

【第10編 道路編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第13章 情報ボックス工						
第3節 情報ボックス工	10-13-3-4	管路工		管路部	10-12-5-2管路工 (管路部)	2-234
第4節 付帯設備工	10-13-4-2	ハンドホール工			10-12-6-2ハンドホール工	2-236
第14章 道路維持						
第4節 舗装工	10-14-4-3	路面切削工			3-2-6-15路面切削工	2-72
	10-14-4-4	舗装打換え工			3-2-6-16舗装打換え工	〃
	10-14-4-5	切削オーバーレイ工				2-238
	10-14-4-6	オーバーレイ工			3-2-6-17オーバーレイ工	2-72
	10-14-4-7	路上再生工				2-238
	10-14-4-8	薄層カラー舗装工			3-2-6-13薄層カラー舗装工	2-64
第5節 排水構造物工	10-14-5-3	側溝工			3-2-3-31側溝工	2-26
	10-14-5-4	管渠工			3-2-3-31側溝工	〃
	10-14-5-5	集水柵・マンホール工			3-2-3-32集水柵工	〃
	10-14-5-6	地下排水工			3-2-3-31暗渠工	〃
	10-14-5-7	場所打水路工			3-2-3-31場所打水路工	〃
	10-14-5-8	排水工			3-2-3-31側溝工	〃
第6節 防護柵工	10-14-6-3	路側防護柵工			3-2-3-8路側防護柵工	2-10
	10-14-6-4	防止柵工			3-2-3-7防止柵工	2-8
	10-14-6-5	ボックスビーム工			3-2-3-8路側防護柵工	2-10
	10-14-6-6	車止めポスト工			3-2-3-7防止柵工	2-8
第7節 標識工	10-14-7-3	小型標識工			3-2-3-6小型標識工	〃
	10-14-7-4	大型標識工			10-2-9-4大型標識工	2-206
第8節 道路付属施設工	10-14-8-4	道路付属物工			3-2-3-10道路付属物工	2-10
	10-14-8-5	ケーブル配管工			10-2-12-5ケーブル配管工	2-208
	10-14-8-6	照明工			10-2-12-6照明工	〃
第9節 軽量盛土工	10-14-9-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6
第10節 擁壁工	10-14-10-3	場所打擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108
	10-14-10-4	プレキャスト擁壁工			3-2-15-2プレキャスト擁壁工	〃
第11節 石・ブロック積(張)工	10-14-11-3	コンクリートブロック工			3-2-5-3コンクリートブロック工	2-34
	10-14-11-4	石積(張)工			3-2-5-5石積(張)工	2-36
第12節 カルバート工	10-14-12-4	場所打函渠工			10-1-9-6場所打函渠工	2-200
	10-14-12-5	プレキャストカルバート工			3-2-3-30プレキャストカルバート工	2-24
第13節 法面工	10-14-13-2	植生工			3-2-14-2植生工	2-104
	10-14-13-3	法面吹付工			3-2-14-3吹付工	2-106
	10-14-13-4	法枠工			3-2-14-4法枠工	〃
	10-14-13-6	アンカー工			3-2-14-6アンカー工	〃
	10-14-13-7	かご工		じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24
				ふとんかご	3-2-3-29羽口工	〃
第15節 橋梁付属物工	10-14-15-2	伸縮継手工			3-2-3-26伸縮装置工	2-22
	10-14-15-4	地覆工			10-4-8-5地覆工	2-222
	10-14-15-5	橋梁用防護柵工			10-4-8-6橋梁用防護柵工	〃
	10-14-15-6	橋梁用高欄工			10-4-8-7橋梁用高欄工	〃
	10-14-15-7	検査路工			10-4-8-8検査路工	〃
第17節 現場塗装工	10-14-17-6	コンクリート面塗装工			3-2-3-11コンクリート面塗装工	2-12

【第10編 道路編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第16章 道路修繕						
第3節 工場製作工	10-16-3-4	桁補強材製作工				2-240
	10-16-3-5	落橋防止装置製作工			3-2-12-6落橋防止装置製作工	2-96
第5節 舗装工	10-16-5-3	路面切削工			3-2-6-15路面切削工	2-72
	10-16-5-4	舗装打換え工			3-2-6-16舗装打換え工	〃
	10-16-5-5	切削オーバーレイ工			10-14-4-5切削オーバーレイ工	2-238
	10-16-5-6	オーバーレイ工			3-2-6-17オーバーレイ工	2-72
	10-16-5-7	路上再生工			10-14-4-7路上再生工	2-238
	10-16-5-8	薄層カラー舗装工			3-2-6-13薄層カラー舗装工	2-64
	第6節 排水構造物工	10-16-6-3	側溝工			3-2-3-31側溝工
10-16-6-4		管渠工			3-2-3-31側溝工	〃
10-16-6-5		集水枡・マンホール工			3-2-3-32集水枡工	〃
10-16-6-6		地下排水工			3-2-3-31暗渠工	〃
10-16-6-7		場所打水路工			3-2-3-31場所打水路工	〃
10-16-6-8		排水工			3-2-3-31側溝工	〃
第7節 縁石工	10-17-7-3	縁石工			3-2-3-5縁石工	2-8
第8節 防護柵工	10-16-8-3	路側防護柵工			3-2-3-8路側防護柵工	2-10
	10-16-8-4	防止柵工			3-2-3-7防止柵工	2-8
	10-16-8-5	ボックスビーム工			3-2-3-8路側防護柵工	2-10
	10-16-8-6	車止めポスト工			3-2-3-7防止柵工	2-8
第9節 標識工	10-16-9-3	小型標識工			3-2-3-6小型標識工	〃
	10-16-9-4	大型標識工			10-2-9-4大型標識工	2-206
第10節 区画線工	10-16-10-2	区画線工			3-2-3-9区画線工	2-10
第12節 道路付属施設工	10-16-12-4	道路付属物工			3-2-3-10道路付属物工	〃
	10-16-12-5	ケーブル配管工			10-2-12-5ケーブル配管工	2-208
	10-16-12-6	照明工			10-2-12-6照明工	〃
第13節 軽量盛土工	10-16-5-2	軽量盛土工			1-2-4-3路体盛土工	2-6
第14節 擁壁工	10-16-14-3	場所打擁壁工			3-2-15-1場所打擁壁工	2-108
	10-16-14-4	プレキャスト擁壁工			3-2-15-2プレキャスト擁壁工	〃
第15節 石・ブロック積(張)工	10-16-15-3	コンクリートブロック工			3-2-5-3コンクリートブロック工	2-34
	10-16-15-4	石積(張)工			3-2-5-5石積(張)工	2-36
第16節 カルバート工	10-16-16-4	場所打函渠工			10-1-9-6場所打函渠工	2-200
	10-16-16-5	プレキャストカルバート工			3-2-3-30プレキャストカルバート工	2-24
第17節 法面工	10-16-17-2	植生工			3-2-14-2植生工	2-104
	10-16-17-3	法面吹付工			3-2-14-3吹付工	2-106
	10-16-17-4	法枠工			3-2-14-4法枠工	〃
	10-16-17-6	アンカー工			3-2-14-6アンカー工	〃
	10-16-17-7	かご工		じゃかご	3-2-3-29羽口工	2-24
				ふとんかご	3-2-3-29羽口工	〃
	第18節 落石雪害防止工	10-16-18-4	落石防止網工			10-1-11-4落石防止網工
10-16-18-5		落石防護柵工			10-1-11-5落石防護柵工	〃
10-16-18-6		防雪柵工			10-1-11-6防雪柵工	〃
10-16-18-7		雪崩予防柵工			10-1-11-7雪崩予防柵工	2-202

【第10編 道路編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第20節 鋼桁工	10-16-20-3	鋼桁補強工			10-16-3-4桁補強材製作工	2-240
第21節 橋梁支承工	10-16-21-3	鋼橋支承工			10-4-5-10支承工	2-220
	10-16-21-4	P C 橋支承工			10-4-5-10支承工	〃
第22節 橋梁付属物工	10-16-22-3	伸縮継手工			3-2-3-26伸縮装置工	2-22
	10-16-22-4	落橋防止装置工			10-4-8-3落橋防止装置工	2-222
	10-16-22-6	地覆工			10-4-8-5地覆工	〃
	10-16-22-7	橋梁用防護柵工			10-4-8-6橋梁用防護柵工	〃
	10-16-22-8	橋梁用高欄工			10-4-8-7橋梁用高欄工	〃
	10-16-22-9	検査路工			10-4-8-8検査路工	〃
第25節 現場塗装工	10-16-25-3	橋梁塗装工			3-2-3-33現場塗装工	2-28
	10-16-25-6	コンクリート面塗装工			3-2-3-11コンクリート面塗装工	2-12

【第11編 港湾編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 航路・泊地・船溜だまり						
第3節 浚渫工	11-1-3-2	ポンプ浚渫工	1	ポンプ浚渫		2-242
	11-1-3-3	グラブ浚渫工		グラブ浚渫	11-1-3-2ポンプ浚渫工	〃
	11-1-3-4	硬土盤浚渫工		硬土盤浚渫	11-1-3-2ポンプ浚渫工	〃
	11-1-3-5	岩盤浚渫工		岩盤浚渫	11-1-3-2ポンプ浚渫工	〃
	11-1-3-6	バックホウ浚渫工		バックホウ浚渫	11-1-3-2ポンプ浚渫工	〃
第5節 埋立工	11-1-5-3	固化工		固化工	4-3-3-8固化工	2-116
	11-1-5-8	埋立土工		土砂掘削	4-3-19-4-1土砂掘削	2-150
				土砂盛土	4-3-19-4-2土砂盛土	〃
第6章 臨港道路						
第4節 道路舗装工	11-6-4-3	コンクリート舗装工			3-2-6-12コンクリート舗装工	2-56
	11-6-4-4	アスファルト舗装工			3-2-6-7アスファルト舗装工	2-38
	11-6-4-5	道路付属工	1	縁石		2-242
			5	区画線及び道路標示		〃
			6	道路標識		〃
7			防護柵		〃	
第5節	11-6-5-2	植生工			4-3-3-21植生工	2-134

【第13編 下水道編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第2章 管路							
第1節 管きょ工（開削）	13-2-1-2	管路土工	2	管路掘削		2-244	
	13-2-1-3	管布設（自然流下管）	2			〃	
		矩形渠 （プレキャスト）	6			〃	
		圧送管				〃	
	13-2-1-4	管基礎工			砂基礎等		2-246
					砕石基礎	3-2-4-1一般事項 ただし測定基準は、13-2-1-4管基礎工、砂基礎等による。	2-28 2-246
					コンクリート基礎	3-2-4-1一般事項 ただし測定基準は、13-2-1-4管基礎工、砂基礎等による。	〃
					まくら土台基礎	3-2-4-1一般事項 ただし測定基準は、13-2-1-4管基礎工、砂基礎等による。	〃
					はしご胴木基礎	3-2-4-1一般事項 ただし測定基準は、13-2-1-4管基礎工、砂基礎等による。	〃
	13-2-1-5	水路築造工		場所打水路	3-2-3-31場所打水路工	2-26	
				13-2-1-3管布設	2-244		
13-2-1-6	管路土留工		土留工	3-2-3-31側溝工	2-26		
第2節 管きょ工 （小口径推進）	13-2-2-2	小口径推進工		推進工		2-246	
	13-2-2-3	立坑内管布設工		空伏工		〃	
第3節 管きょ工 （推進）	13-2-3-2	推進工		推進工	13-2-2-2小口径推進工	〃	
	13-2-3-3	立坑内管布設工		空伏工	13-2-2-3立坑内管布設工	〃	
第4節 管きょ工 （シールド）	13-2-4-2	一次覆工		掘進工		〃	
	13-2-4-3	二次覆工		二次覆工		2-248	
第5節 マンホール工	13-2-5-2	標準マンホール工		標準マンホール工		〃	
				マンホール基礎工		〃	
	13-2-5-3	組立マンホール		組立マンホール工		〃	
	13-2-5-4	小型マンホール		小型マンホール工		2-250	
第6節 特殊マンホール工	13-2-6-3	躯体工		現場打ち特殊人孔		〃	
				伏せ越し室	13-2-6-3躯体工	〃	
				伏せ越し室・雨水吐室工	雨水吐室	13-2-6-3躯体工	〃
				伏せ越し管工	伏せ越し管		〃
				越流堰（雨水吐室）	越流堰（雨水吐室）		〃
			中継ポンプ施設	13-2-6-3躯体工	〃		
第7節 取付管及びます工	13-2-7-3	ます設置工		公共ます		2-252	
	13-2-7-4	取付管布設工		取付管		〃	
第10節 立坑工	13-2-10	立坑工		立坑工		〃	
				立坑土工	3-2-4-1一般事項	2-28	
第3章 処理場・ポンプ場							
第1節 敷地造成工	13-3-1-4	法面整形工		盛土・切土	1-2-3-2掘削工 1-2-3-3盛土工	2-2 〃	

【第13編 下水道編】

章、節	条	工種	枝番	種別	準用する出来形管理基準	頁
第4節 本体作業土工	13-3-4-2	掘削工		土工（掘削）	1-2-4-2掘削工	2-4
第5節 本体仮設工	13-3-5-2	土留・仮締切工		土留・仮締切工 （H鋼杭、鋼矢板）		2-252
	13-3-5-3	地中連続壁工		コンクリート壁	3-2-10-9地中連続壁工 （壁式）	2-82
	13-3-5-4	地中連続壁工		ソイル壁	3-2-10-10地中連続壁工 （柱列式）	〃
第6節 本体築造工	13-3-6-3	直接基礎工		構造物基礎	3-2-4-1一般事項	2-28
					3-2-10-5土留・仮締切工	2-80
	13-3-6-4	既製杭工		既製杭	3-2-4-4既製杭工	2-30
	13-3-6-5	場所打ち杭工		場所打ち杭	3-2-4-5場所打ち杭工	〃
	13-3-6-6	オープンケーソン基礎工		ケーソン基礎	3-2-4-7オープンケーソン基礎工	2-32
	13-3-6-7	ニューマチックケーソン基礎工		ケーソン基礎	3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	〃
	13-3-6-8	躯体工		池・槽の主要構造物		2-254
				池・槽の付属構造物		〃
				開口部		〃
				ゲート用開口部		〃
				可動せき用開口部		2-256
	燃料貯留槽工		〃			
13-3-6-10	越流樋工		流出トラフ		〃	
13-3-6-11	越流堰板工		越流堰		2-258	
			燃料貯留槽工	13-3-6-8躯体工	2-256	
第7節 場内管路工	13-3-7-9	管布設工		流入渠・流出渠		2-258

【第14編 公園緑地編】

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	
第1章 基盤整備						
第3節 敷地造成工	14-1-3-2	表土保全工		表土掘削		2-260
	14-1-3-4	掘削工	1	掘削(土砂)	1-2-3-2掘削工	2-2
			2	掘削(軟岩)	1-2-3-2掘削工	〃
			3	掘削(硬岩)	1-2-3-2掘削工	〃
	14-1-3-5	盛土工	1	盛土(流用土)	1-2-3-3盛土工	〃
			2	盛土(発生土)	1-2-3-3盛土工	〃
			3	盛土(採取土)	1-2-3-3盛土工	〃
			4	盛土(購入土)	1-2-3-3盛土工	〃
	14-1-3-6	路床盛土工	1	路床(流用土)	1-2-4-3路床盛土工	2-6
			2	路床(発生土)	1-2-4-3路床盛土工	〃
			3	路床(採取土)	1-2-4-3路床盛土工	〃
			4	路床(購入土)	1-2-4-3路床盛土工	〃
	14-1-3-7	法面整形工	2	法面整形(盛土部)	1-2-4-5法面整形工(盛土部)	〃
	14-1-3-8	路床安定処理工	1	安定処理	3-2-7-2路床安定処理工	2-74
14-1-3-9	置換工	1	置換	3-2-7-3置換工	〃	
14-1-3-10	サンドマット工	1	サンドマット	3-2-7-6サンドマット工	2-76	
14-1-3-11	パーチカルドレーン工	1	サンドドレーン	3-2-7-7パーチカルドレーン工	2-78	
		2	袋詰め式サンドドレーン	3-2-7-7パーチカルドレーン工	〃	
		3	ペーパードレーン	3-2-7-7パーチカルドレーン工	〃	
第4節 公園土工	14-1-4-2	小規模造成工		小規模掘削	1-2-3-2掘削工	2-2
				小規模敷均し・締固	1-2-3-3盛土工	〃
第5節 植栽基盤工	14-1-5-3	透水層工	1	開渠排水		2-260
			2	暗渠排水		〃
	14-1-5-4	土層改良工	1	普通耕		〃
			2	深耕		〃
			3	混層耕		〃
			4	心土破碎		〃
	14-1-5-5	土性改良工	1	土性改良		2-262
			2	中和剤施用		〃
			3	除塩		〃
			4	施肥		〃
	14-1-5-6	表土盛土工	1	盛土(流用土)表土		〃
			2	盛土(発生土)表土		〃
			3	盛土(採取土)表土		〃
			4	盛土(購入土)表土		〃
	14-1-5-7	人工地盤工	2	押さえコンクリート		〃
			4	人工地盤排水層		〃
			5	フィルター		〃
6			防根シート		〃	
8			立排水浸透樹		〃	
第6節 法面工	14-1-6-3	法面ネット工		法面ネット	3-2-14-4-2法枠工(プレキャスト法枠工)	2-106
	14-1-6-4	植生工	1	種子散布	3-2-14-2植生工(種子散布工)	2-104
2			客土吹付	3-2-14-2植生工(客土吹付工)	〃	

【第14編 公園緑地編】

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	
第6節 法面工	14-1-6-4 植生工	3	植生基材吹付	3-2-14-2植生工 (植生基材吹付工)	2-104	
		4	植生シート	3-2-14-2植生工 (植生シート工)	〃	
		5	植生マット	3-2-14-2植生工 (植生マット工)	〃	
		6	公園種子帯	3-2-14-2植生工(植生筋工)	〃	
		7	公園張芝	3-2-14-2植生工(張芝工)	〃	
		8	公園筋芝	3-2-14-2植生工(筋芝工)	〃	
		9	公園市松芝	3-2-14-2植生工(市松芝工)	〃	
		10	人工張芝	3-2-14-2植生工(人工張芝工)	〃	
		11	植生穴	3-2-14-2植生工(植生穴工)	〃	
		14-1-6-5 法枠工	1	現場打法枠	3-2-14-4-1法枠工 (現場打法枠工)	2-106
			2	プレキャスト法枠	3-2-14-4-2法枠工 (プレキャスト法枠工)	〃
	3		金属製法枠	3-2-14-4-2法枠工 (プレキャスト法枠工)	〃	
	4		吹付枠	3-2-14-4-1法枠工 (現場吹付法枠工)	〃	
	14-1-6-6 編柵工	1	編柵		2-264	
	14-1-6-7 かご工	1	じゃかご	3-2-3-29じゃかご	2-24	
2		ふとんかご	3-2-3-29ふとんかご	〃		
第7節 軽量盛土工	14-1-7-2 軽量盛土工	1	軽量盛土	1-2-4-3路体盛土工	2-6	
		2	コンクリート床版	1-2-4-3路体盛土工	〃	
		3	基礎コンクリート	1-2-4-3路体盛土工	〃	
		4	壁体	1-2-4-3路体盛土工	〃	
		5	裏込砕石	1-2-4-3路体盛土工	〃	
第8節 擁壁工	14-1-8-4 場所打擁壁工	1	小型擁壁	3-2-15-1現場打擁壁工	2-108	
		2	重力式擁壁	3-2-15-1現場打擁壁工	〃	
		3	もたれ式擁壁	3-2-15-1現場打擁壁工	〃	
		4	逆T型擁壁	3-2-15-1現場打擁壁工	〃	
		5	L型擁壁	3-2-15-1現場打擁壁工	〃	
		6	鉄筋	3-2-15-1現場打擁壁工	〃	
		7	裏込砕石	3-2-15-1現場打擁壁工	〃	
		8	止水板	3-2-15-1現場打擁壁工	〃	
		9	基礎材	3-2-4-1 一般事項(砕石基礎工)	2-28	
		10	公園基礎材		2-264	
		11	公園均しコンクリート	3-2-4-1一般事項 (均しコンクリート)	2-28	
		12	公園均しコンクリート		2-264	
		13	コンクリート	3-2-15-1現場打擁壁工	2-108	
		14	型枠	3-2-15-1現場打擁壁工	〃	
		15	足場	3-2-15-1現場打擁壁工	〃	
		16	目地板	3-2-15-1現場打擁壁工	〃	
		17	水抜パイプ	3-2-15-1現場打擁壁工	〃	

【第14編 公園緑地編】

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	
第8節 擁壁工	14-1-8-4 場所打擁壁工	18	吸出し防止材	3-2-15-1現場打擁壁工	2-108	
		19	擁壁高さ調整		2-264	
	14-1-8-5 プレキャスト擁壁工	1	プレキャストL型擁壁	3-2-15-2プレキャスト擁壁工	2-108	
		2	プレキャスト逆T型擁壁	3-2-15-2プレキャスト擁壁工	〃	
		3	側溝付プレキャスト擁壁	3-2-15-2プレキャスト擁壁工	〃	
	14-1-8-6 補強土壁工	1	補強土壁基礎	3-2-15-3補強土壁工	2-110	
		2	帯鋼補強土壁 アンカー補強土壁	3-2-15-3補強土壁工	〃	
		3	ジオテキスタイル補強土壁	3-2-15-3補強土壁工	〃	
	14-1-8-7 コンクリートブロック工	1	コンクリートブロック基礎	3-2-5-3 コンクリートブロック工	2-34	
		2	コンクリートブロック積	3-2-5-3 コンクリートブロック工	〃	
		3	間知ブロック張	3-2-5-3 コンクリートブロック工	〃	
		4	平ブロック張	3-2-5-3 コンクリートブロック工	〃	
		5	連節ブロック張	3-2-5-3 コンクリートブロック工	〃	
		7	緑化ブロック積	3-2-5-4緑化ブロック工	2-36	
		8	ブロック植栽	3-2-5-4緑化ブロック工	〃	
		9	天端コンクリート	3-2-5-3 コンクリートブロック工	2-34	
		10	小口止コンクリート	3-2-5-3 コンクリートブロック工	〃	
		14-1-8-8 石積工	1	崩れ積		2-266
	2		面積	3-2-5-5石積(張)工	2-36	
	3		玉石積	3-2-5-5石積(張)工	〃	
	4		小端積	3-2-5-5石積(張)工	〃	
	5		こぶだし石積	3-2-5-5石積(張)工	〃	
	6		切石積	3-2-5-5石積(張)工	〃	
	7		間知石積	3-2-5-5石積(張)工	〃	
	8		雑割石積	3-2-5-5石積(張)工	〃	
	9		雑石積	3-2-5-5石積(張)工	〃	
	10		割石積	3-2-5-5石積(張)工	〃	
	11		雑割石張	3-2-5-5石積(張)工	〃	
	12		雑石張	3-2-5-5石積(張)工	〃	
	13		石積高さ調整		2-266	
	14-1-8-9 土留め工	1	土留め		〃	
	第9節 公園カルバート工	14-1-9-4 場所打函渠工	1	函渠	10-1-9-6場所打函渠工	2-200
			2	鉄筋	10-1-9-6場所打函渠工	〃
7			コンクリート床版	10-1-9-6場所打函渠工	〃	
8			型枠	10-1-9-6場所打函渠工	〃	
9			足場	10-1-9-6場所打函渠工	〃	
10			支保	10-1-9-6場所打函渠工	〃	

【第14編 公園緑地編】

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁
第9節 公園カルバート工	14-1-9-4 場所打函渠工	11	目地板	10-1-9-6場所打函渠工	2-200
		12	止水板	10-1-9-6場所打函渠工	〃
		13	水抜パイプ	10-1-9-6場所打函渠工	〃
	14-1-9-5 プレキャストカルバート工	1	プレキャストボックス	3-2-3-30プレキャストカルバート工	2-24
第10節 公園施設等撤去・移設工	14-1-10-3 移設工	1	遊具移設	14-3-9-3遊具組立設置工	2-294
		2	小工作物移設		2-266
第2章 植栽					
第3節 植栽工	14-2-3-10 樹木養生工	1	防風ネット		2-268
			防根シート	14-1-5-7人工地盤工(防根シート)	2-262
		7	養生柵		2-268
	14-2-3-11 樹名板工	1	埋込型樹名板		〃
	14-2-3-12 根囲い保護工	1	根囲い保護		〃
第3章 施設整備					
第3節 給水設備工	14-3-3-6 散水施設工	2	ミスト		2-268
		3	ドリップパイプ		〃
		6	散水栓高さ調整		〃
	14-3-3-10 給水管路工	1	給水管		〃
		3	埋設シート		〃
第4節 雨水排水設備工	14-3-4-6 側溝工	1	L型側溝	3-2-3-32集水柵工	2-26
		2	現場打L型側溝		2-270
		3	管(函)渠型側溝	3-2-3-32集水柵工	2-26
		4	プレキャストU型側溝	3-2-3-32集水柵工	〃
		5	現場打側溝		2-270
		6	プレキャスト皿型側溝	3-2-3-32集水柵工	2-26
		7	コルゲートフリューム	3-2-3-32集水柵工	〃
		8	自由勾配側溝	3-2-3-32集水柵工	〃
		9	特殊円形側溝	3-2-3-32集水柵工	〃
		10	公園素掘側溝		2-270
		12	側溝高さ調整		〃
		14-3-4-7 管渠工	1	公園管渠	3-2-3-31側溝工(管渠)
	2		コルゲートパイプ	3-2-3-31側溝工(暗渠工)	〃
	14-3-4-8 集水柵・マンホール工	1	街渠柵	3-2-3-32集水柵工	〃
		2	集水柵	3-2-3-32集水柵工	〃
		3	浸透柵	3-2-3-32集水柵工	〃
		4	プレキャスト街渠柵	3-2-3-32集水柵工	〃
		5	プレキャスト集水柵	3-2-3-32集水柵工	〃
		6	塩化ビニル製柵	3-2-3-32集水柵工	〃
		7	マンホール	3-2-3-32集水柵工	〃
8		プレキャストマンホール	3-2-3-32集水柵工	〃	
9		公園マンホール	3-2-3-32集水柵工	〃	
10		浸透マンホール	3-2-3-32集水柵工	〃	
11	柵高さ調整		2-270		
12	マンホール高さ調整		〃		

【第14編 公園緑地編】

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	
第4節 雨水排水設備工	14-3-4-9 地下排水工	1	透水コンクリート管		2-272	
		2	化学繊維管		〃	
		3	地下排水	3-2-3-31側溝工(暗渠工)	2-26	
	14-3-4-10 公園水路	1	場所打水路	3-2-3-31側溝工(場所打水路工)	〃	
		2	プレキャスト水路	3-2-3-31側溝工(場所打水路工)	〃	
	第6節 電気設備工	14-3-6-3 照明設備工	1	ハンドホール	10-2-12-5-2ケーブル配管工(ハンドホール)	2-208
2			ハンドホール高さ調整		2-272	
3			引込柱		〃	
4			分電盤		〃	
5			分電盤高さ調整		〃	
6			照明灯基礎		〃	
14-3-6-4 放送設備工		4	スピーカー柱基礎		2-274	
14-3-6-5 監視カメラ設置工		3	監視カメラ基礎		〃	
14-3-6-8 電線管路工		1	電線管		〃	
		2	電線		〃	
		4	埋設シート		〃	
第7節 園路広場整備工		14-3-7-5 アスファルト舗装工	1	下層路盤工		2-276
			2	上層路盤工		〃
	4		基層工		2-278	
	6		表層工		〃	
	14-3-7-6 排水性舗装工	1	下層路盤工		2-280	
		2	上層路盤工		〃	
		3	基層工		2-282	
		5	表層工		〃	
	14-3-7-7 透水性舗装工	2	路盤		2-284	
		3	表層		〃	
	14-3-7-8 アスファルト系舗装工	1	公園アスファルト舗装		2-286	
		2	公園アルファルト薄層カラー舗装		〃	
		3	透水性アルファルト舗装		〃	
		4	脱色アスファルト舗装		〃	
	14-3-7-16 園路縁石工	1	コンクリート縁石	3-2-3-5縁石工(縁石・アスカーブ)	2-8	
		2	現場打縁石	3-2-3-5縁石工(縁石・アスカーブ)	〃	
		3	駒止めブロック	3-2-3-5縁石工(縁石・アスカーブ)	〃	
		4	舗装止め	3-2-3-5縁石工(縁石・アスカーブ)	〃	
		5	擬石縁石	3-2-3-5縁石工(縁石・アスカーブ)	〃	
		6	レンガ縁石	3-2-3-5縁石工(縁石・アスカーブ)	〃	
		7	木縁石	3-2-3-5縁石工(縁石・アスカーブ)	〃	

【第14編 公園緑地編】

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁
第7節 園路広場整備工	14-3-7-16 園路縁石工	8	見切材(仕切材)	3-2-3-5 縁石工(縁石・アスカープ)	2-8
		9	石材縁石	3-2-3-5 縁石工(縁石・アスカープ)	〃
		10	縁石高さ調整	3-2-3-5 縁石工(縁石・アスカープ)	〃
	14-3-7-17 区画線工	1	溶融式区画線	3-2-3-9区画線工	2-10
		2	ペイント式区画線	3-2-3-9区画線工	〃
		3	区画線消去	3-2-3-9区画線工	〃
	14-3-7-18 階段工	1	コンクリート階段	3-2-3-23階段工	2-20
		2	コンクリートブロック階段	3-2-3-23階段工	〃
		3	丸太階段	3-2-3-23階段工	〃
		4	擬木階段	3-2-3-23階段工	〃
		5	石材階段	3-2-3-23階段工	〃
		6	階段高さ調整	3-2-3-23階段工	〃
	14-3-7-19 公園橋工	1	公園橋橋台		2-288
		2	公園橋設置		〃
		3	八ッ橋		〃
		4	石橋橋台		〃
		5	石橋設置		〃
		6	木橋橋台		〃
		7	木橋設置		〃
		8	浮き栈橋		〃
	14-3-7-20 デッキ工	1	デッキ基礎		2-290
		2	デッキ設置		〃
	14-3-7-23 植樹ブロック工	1	植樹ブロック	3-2-3-5 縁石工(縁石・アスカープ)	2-8
第8節 修景施設整備工	14-3-8-5 袖垣・垣根工	1	袖垣		2-290
		2	垣根		〃
	14-3-8-7 トレリス工	1	トレリス		〃
		2	緑化フェンス		〃
	14-3-8-8 モニュメント工	1	モニュメント		〃
		2	記念碑		〃
	14-3-8-9 小規模水景施設工	1	流れ		2-292
		2	滝		〃
		3	池		〃
		4	州浜		〃
		5	壁泉		2-294
		6	カスケード		〃
		7	カナル		〃
	第9節 遊戯施設整備工	14-3-9-3 遊具組立設置工	1	ブランコ	
2			ジャングルジム		2-296
3			滑台		〃
4			シーソー		〃
5			鉄棒		〃
6			ラダー		2-298

【第14編 公園緑地編】

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁
第9節 遊戯施設整備工	14-3-9-3 遊具組立設置工	7	はん登棒		2-298
		8	スプリング遊具		〃
		9	複合遊具		〃
		10	アスレチック遊具		2-300
		11	健康遊具施設		〃
	14-3-9-4 小規模現場打遊具工	1	砂場		〃
		2	現場打遊具		〃
3		徒歩池		2-302	
第10節 サービス施設整備工	14-3-10-3 時計台工	1	時計台		〃
	14-3-10-4 水飲み場工	1	水飲み場		〃
	14-3-10-6 ベンチ・テーブル工	1	ベンチ		〃
		2	縁台		〃
		3	テーブル		〃
		4	スツール		〃
	5	野外卓		〃	
14-3-10-8 炊事場工	1	炊事場		2-304	
第11節 管理施設整備工	14-3-11-3 リサイクル施設工	1	リサイクル施設基礎		〃
	14-3-11-5 ごみ施設工	1	くず入れ		〃
		2	吸殻入れ		〃
	14-3-11-6 井戸工	2	手押ポンプ		〃
	14-3-11-7 門扉工	1	門壁		2-306
		2	門柱		〃
		3	門扉		〃
	14-3-11-8 柵工	1	フェンス		〃
		2	柵		〃
		3	手すり		〃
		4	転落(横断)防止柵	3-2-3-7転落(横断)防止柵	2-8
		5	ガードレール	3-2-3-8路側防護柵工	2-10
		6	ガートケーブル	3-2-3-8路側防護柵工	〃
		7	ガードパイプ	3-2-3-8路側防護柵工	〃
14-3-11-9 車止め工	1	車止め		2-306	
	2	車椅子ゲート		〃	
第12節 建築施設組立設置工	14-3-12-3 四阿工	1	四阿基礎		〃
第4章 グラウンド・コート整備					
第3節 グラウンド・コート舗装工	14-4-3-4 グラウンド・コート用舗装工	1	下層路盤		2-308
		2	上層路盤		〃
		3	中層		〃
		4	基層		2-310
		5	クレー舗装		2-312
		6	アンツーカー舗装		〃
		7	天然芝舗装		2-314
		8	人工芝舗装		2-316
		9	全天候型舗装(樹脂系)		2-318

【第14編 公園緑地編】

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁	
第3節 グラウンド・コート 舗装工	14-4-3-4 グラウンド・コート 用舗装工	10	全天候型舗装 (アスファルト系)		2-318	
		11	グラウンド・コート 砂舗装		2-320	
		12	グラウンド・ コートダスト舗装		〃	
第4節 スタンド整備工	14-4-4-3 スタンド擁壁工	1	スタンド擁壁		2-322	
		14-4-4-4 ベンチ工	1	スタンドベンチ	〃	
			2	現場打ベンチ	〃	
第5節 グラウンド・コート 施設設備工	14-4-5-3 ダッグアウト工	1	ダッグアウト基礎		〃	
		14-4-5-6 競技施設工	1	ファールボール		〃
			2	ポスト		〃
			3	ゴールポスト		〃
			4	支柱台		〃
			5	スポーツサークル		〃
			6	跳躍箱		〃
			7	踏切板		〃
	13	塁ベース基礎		〃		
	14-4-5-11 グラウンド・コート 柵工	1	高尺ネットフェンス		2-324	
		2	フェンス		〃	
		3	防球ネット		〃	
	第5章 自然育成					
第2節 自然育成施設工	14-5-2-3 自然育成盛土工	1	蒔き出し		2-324	
		14-5-2-4 自然水路工	1	遮水・止水シート		〃
	3		ごろた石積		〃	
	4		崩れ積		〃	
	5		砂・礫敷		2-326	
	14-5-2-5 水田工		1	遮水・止水シート		〃
	14-5-2-10 しがらみ柵工	1	しがらみ柵		〃	
	14-5-2-11 自然育成型護岸工	3	階段ブロック積	3-2-5-3コンクリートブロッ ク工	2-34	
		4	魚巢ブロック積	3-2-5-3コンクリートブロッ ク工	〃	
		5	石積	3-2-5-5石積(張)工	2-36	
		6	石張	3-2-5-5石積(張)工	〃	
		8	雑割石張	3-2-5-5石積(張)工	〃	
		9	かごマット	3-2-3-28(多自然護岸工) かごマット	2-24	
		17	種子散布	3-2-14-2植生工(種子散布 工)	2-104	
		18	公園張芝	3-2-14-2植生工(張芝工)	〃	
		19	公園筋芝	3-2-14-2植生工(筋芝工)	〃	
		20	公園市松芝	3-2-14-2植生工(市松芝工)	〃	

【第14編 公園緑地編】

章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁
第2節 自然育成施設工	14-5-2-12 保護柵工	1	保護柵工		2-326
	14-5-2-13 解説板工	1	解説板		〃
	14-5-2-16 自然育成型 護岸基礎工	1	現場打基礎	3-2-4-3-1基礎工(護岸) (現場打)	2-28
		2	プレキャスト基礎	3-2-4-3-1基礎工(護岸) (プレキャスト)	〃
	14-5-2-17 沈床工	1	木工沈床	3-2-3-19沈床工	2-20
		2	改良沈床	3-2-3-19沈床工	〃
		3	粗朶沈床	3-2-3-19沈床工	〃
		4	袋詰玉石	3-2-3-19沈床工	〃
		5	吸出し防止材	3-2-3-19沈床工	〃
		6	粗朶単床	3-2-3-19沈床工	〃
		7	粗朶柵	3-2-3-19沈床工	〃
	14-5-2-18 捨石工	1	捨石	3-2-3-20捨石工	〃
		2	表面均し	3-2-3-20捨石工	〃
		3	吸出し防止材	3-2-3-20捨石工	〃
	14-5-2-22 杭出し水制工	1	杭出し水制	6-1-10-8杭出し水制工	2-156

【第15編 水道編】


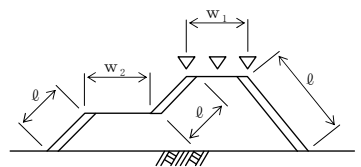
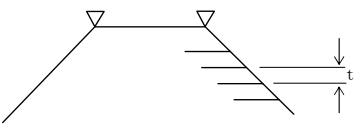
章、節	条	枝番	工種	準用する出来形管理基準	頁
第2章 管路					
第3節 管布設工事一般	15-2-3-2	管据え付け工		管の据付	2-328
	15-2-3-3	弁類据え付け		弁栓類・鉄蓋の据付	〃
第4節 ダクタイトイル鑄鉄管 布設工	15-2-4-2	ダクタイトイル鑄鉄管の 接合		管の接合	〃
				弁室その他の構造物	〃
				異形管防護工	〃

[港湾工事様式 (参考)]

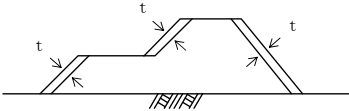
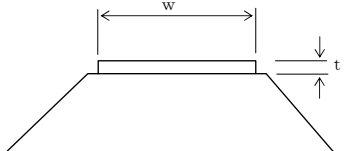
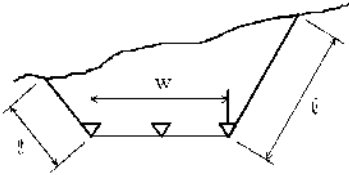
様式・出来形4-1(1)	敷砂出来形管理表	2-330
様式・出来形4-2(1)	敷砂出来形管理図	2-331
様式・出来形4-2(1)	サンドコンパクションパイル出来形管理表	2-332
様式・出来形4-2(2)	砂投入管理表	2-333
様式・出来形4-2(3)	締固工深淺図	2-334
様式・出来形4-3(1)	深層混合処理杭出来形管理表	2-335
様式・出来形4-3(2)	深層混合処理杭鉛直度管理表	2-336
様式・出来形4-4(1)	洗掘防止マット出来形管理表	2-337
様式・出来形4-4(2)	洗掘防止マット出来形管理図	2-338
様式・出来形4-5	砂・石材中詰出来形管理表	2-339
様式・出来形4-6	蓋コンクリート出来形管理表	2-340
様式・出来形4-7	鋼矢板出来形管理表	2-341
様式・出来形4-8	腹起出来形管理表	2-342
様式・出来形4-9	タイ材出来形管理表	2-343
様式・出来形4-10(1)	鋼杭打込記録	2-344
様式・出来形4-10(2)	鋼杭出来形管理表	2-345
様式・出来形4-11(1)	電気防食出来形管理表	2-346
様式・出来形4-11(2)	電気防食電位測定管理表	2-347
様式・出来形4-12(1)	路盤出来形管理表	2-348
様式・出来形4-12(2)	路盤出来形管理図	2-349
様式・出来形4-13(1)	舗装出来形管理表	2-350
様式・出来形4-13(2)	舗装出来形管理図	2-351
様式・出来形4-14	置換材出来形管理表	2-352
様式・出来形4-15(1)	基礎石均し出来形管理図 (1)	2-353
様式・出来形4-15(2)	基礎石均し出来形管理図 (2)	2-354
様式・出来形4-16	ケーソン製作出来形管理表	2-355
様式・出来形4-17	ケーソン据付出来形管理表	2-356
様式・出来形4-18(1)	ブロック (方塊) 製作出来形管理表	2-357
様式・出来形4-18(2)	L型ブロック製作出来形管理表	2-358
様式・出来形4-18(3)	セルラーブロック製作出来形管理表	2-359
様式・出来形4-18(4)	ブロック製作等外見チェックリスト	2-360
様式・出来形4-19(1)	被覆石均し出来形管理図 (1)	2-361
様式・出来形4-19(2)	被覆石均し出来形管理図 (2)	2-362
様式・出来形4-20	根固ブロック製作出来形管理表	2-363
様式・出来形4-21(1)	上部コンクリート (防波堤) 出来形管理表	2-364
様式・出来形4-21(2)	上部コンクリート (岸壁) 出来形管理表	2-365
様式・出来形4-22	係船柱出来形管理表	2-366
様式・出来形4-23	防舷材出来形管理表	2-367
様式・出来形4-24	車止出来形管理表	2-368
様式・出来形4-25	土砂掘削出来形管理表	2-369
様式・出来形4-26(1)	すみ肉溶接出来形管理表	2-370
様式・出来形4-26(2)	突合わせ溶接出来形管理表	2-371
様式・出来形4-26(3)	鉄筋フレア溶接出来形管理表	2-372
様式・出来形4-27(1)	浚渫出来形管理表	2-373
様式・出来形4-27(2)	浚渫出来形管理図	2-374

出来形管理基準及び規格値

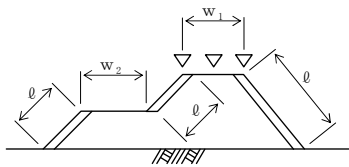
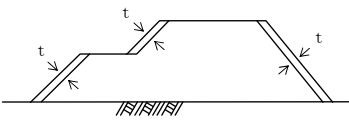
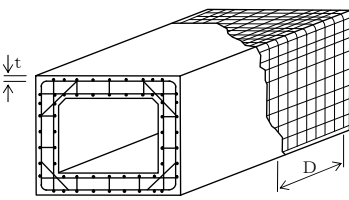
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
1 共通編	2 土 工	3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	基 準 高 ∇	± 50		
						法長 ℓ	$\ell < 5\text{ m}$	-200	
							$\ell \geq 5\text{ m}$	法長-4%	
			3		盛土工	基 準 高 ∇	-50		
						法長 ℓ	$\ell < 5\text{ m}$	-100	
							$\ell \geq 5\text{ m}$	法長-2%	
						幅 w_1, w_2		-100	
4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基 準 高 ∇	-50					
			厚 さ t	-50					
			控 え 長 さ	設計値以上					

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は掘削部の両端で測定。 ただし、「TSを用いた出来形管理要領(土工編)」(平成 24 年 3 月 29 日付け国官技第 347 号、国総公第 85 号) の規定による場合は、設計図書の測点毎。基準高は掘削部の両端で測定。</p>	 <p>ドライ掘削</p>	
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は各法肩で測定。 ただし、「TSを用いた出来形管理要領(土工編)」(平成 24 年 3 月 29 日付け国官技第 347 号、国総公第 85 号) の規定による場合は、設計図書の測点毎。基準高は各法肩で測定。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		

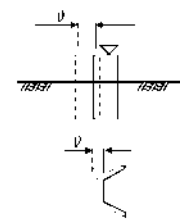
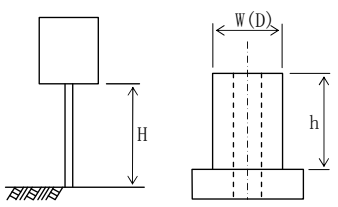
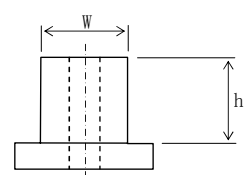
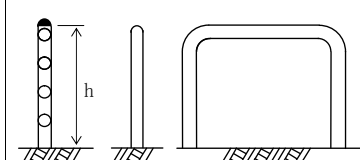
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	5		法面整形工（盛土部）	厚 さ t	※-30	
			6		堤防天端工	厚 さ t	$t < 15\text{cm}$	-25
							$t \geq 15\text{cm}$	-50
						幅 w	-100	
	4 道路土工	2			掘削工	基 準 高 ∇	± 50	
						法 長 ℓ	$\ell < 5\text{m}$	-200
							$\ell \geq 5\text{m}$	法長-4%
						幅 w	-100	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所、法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。</p>		
<p>幅は、施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さは、施工延長 200mにつき 1 箇所、200m以下は 2 箇所、中央で測定。</p>		
<p>施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。</p>		

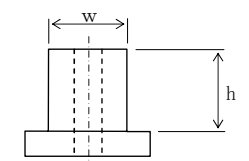
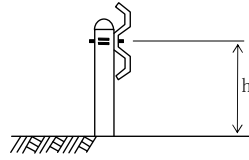
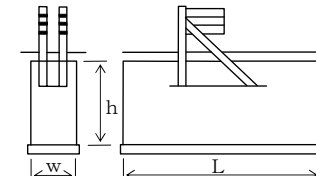
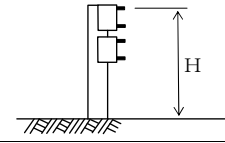
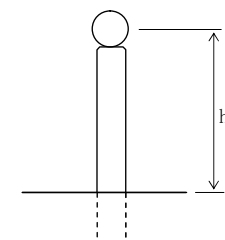
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	基 準 高 ∇	± 50	
						法長 ℓ	$\ell < 5 \text{ m}$	-100
							$\ell \geq 5 \text{ m}$	法長 - 2%
						幅 w_1, w_2	-100	
			5		法面整形工（盛土部）	厚 さ t	$\ast -30$	
3 無筋・鉄筋 コンクリート	7 鉄筋工	4			組立て	平均間隔 d	$\pm \phi$	
						かぶり i	$\pm \phi$ かつ 最小かぶり以上	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。基準高は、道路中心線及び端部で測定。</p> 		
<p>施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。法の中央で測定。 \ast土羽打ちのある場合に適用。</p> 		
<p>$d = \frac{D}{n-1}$</p> <p>D：本間の長さ n：10 本程度とする ϕ：鉄筋径</p> <p>工事の規模に応じて、1 リフト、1 ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書（設計編 13.2）参照。ただし、道路橋示方書の適用を受ける橋については、道路橋示方書（Ⅲコンクリート橋編 6.6）による。</p> <p>注 1) 重要構造物 かつ主鉄筋について適用する。</p> <p>注 2) 橋梁コンクリート床版桁（PC 橋含む）の鉄筋については、第 3 編 2-18-2 床版工を適用する。</p> <p>注 3) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積 25 m³以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外）の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する</p> 		


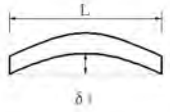
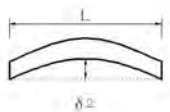
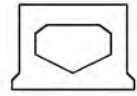
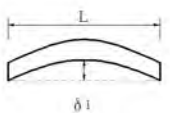
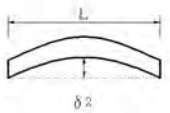
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値			
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	4	矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	基準高 ∇	±50	
								根 入 長	設計値以上	
								変 位 ℓ	100	
						5	縁石工 (縁石・アスカープ)	延 長 L	-200	
						6	小型標識工	設 置 高 さ H	設計値以上	
								基 礎	幅 w (D)	-30
									高 さ h	-30
									根 入 れ 長	設計値以上
						7	防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	基 礎	幅 w	-30
									高 さ h	-30
								パイプ取付高 H	+30 -20	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
基準高は施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 変位は、施工延長 20m (測点間隔 25m の場合は 25m) につき 1 箇所、延長 20m (又は 25m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 箇所 / 1 施工箇所		
1 箇所 / 1 基		
基礎 1 基毎		
単独基礎 10 基につき 1 基、10 基以下のものは 2 基測定。 測定箇所は 1 基につき 1 箇所測定。		
1 箇所 / 1 施工箇所		

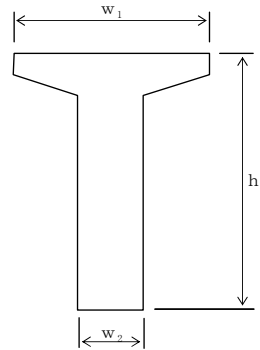
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値				
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	基	幅 w	-30	
								基礎	高さ h	-30		
								2	(ガードパイプ)		ビーム取付高 H	+30 -20
						3	路側防護柵工 (ガードケーブル)	基礎	幅 w	-30		
									高さ h	-30		
									延長 L	-100		
							ケーブル取付高 H	+30 -20				
						9	区画線工	厚 さ t (溶融式のみ)	設計値以上			
								幅 w	設計値以上			
						10	道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高 さ h	±30			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所/施工延長 40m 40m以下のものは、2 箇所/1 施工箇所。		
1 箇所/1 施工箇所		
1 箇所/1 基礎毎		
1 箇所/1 施工箇所		
各線種毎に、1 箇所テストピースにより測定。		
1 箇所/10 本 10 本以下の場合、2 箇所測定。		

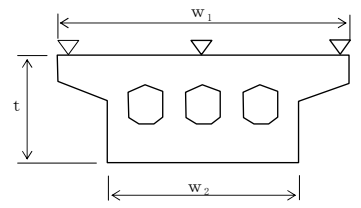
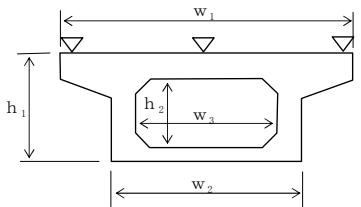
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	11		コンクリート面塗装工	塗 料 使 用 量	鋼道路橋塗装・ 防食便覧Ⅱ-74 「表-Ⅱ.5.5 各塗 料の標準使用量 と標準膜厚」の 標準使用量以 上。
				13	1	プレテンション桁製作工 (購入工) (けた橋)	桁 長 L (m)
			断面の外形寸法				± 5
			橋桁のそり δ ₁				± 8
			横方向の曲がり δ ₂				±10
			2		プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ桁)	桁 長 L	±10…… L ≤ 10m ± L/1000…… L > 10m
						断面の外形寸法	± 5
						橋桁のそり δ ₁	± 8
						横方向の曲がり δ ₂	±10

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
塗装系ごとの塗装面積を算出・照査して、各塗料の必要量を求め、塗布作業の開始前に搬入量(充缶数)と、塗布作業終了時に使用量(空缶数)を確認し、各々必要量以上であることを確認する。 1ロットの大きさは500㎡とする。		
桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JIS製品の場合は、JIS認定工場の成績表にかえることができる。 JIS製品以外はJIS製品に準じる。	<p>断面図 </p> <p>側面図 </p> <p>平面図 </p>	
桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JIS製品の場合は、JIS認定工場の成績表にかえることができる。 JIS製品以外はJIS製品に準じる。	<p>断面図 </p> <p>側面図 </p> <p>平面図 </p>	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
3	土木工事共通編	2	3	14	ポストテンション桁製作工	幅（上） w_1	+10 -5	
						幅（下） w_2	±5	
						高 さ h	+10 -5	
						桁 長 ℓ 支 間 長	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ かつ-30mm以内	
					プレキャストセグメント桁製作工 (購入工)	桁 長 ℓ	—	
						断面の外形寸法 (mm)	—	
					15	プレキャストセグメント 主桁組立工	桁 長 ℓ 支 間 長	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ かつ-30mm以内
							横方向最大タワミ	0.8 ℓ

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。</p> <p>ℓ：支間長 (m)</p>		<p>注) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外）の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する。</p>
<p>桁全数について測定。桁断面寸法測定箇所は、図面の寸法表示箇所で測定。</p>		
<p>桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする</p> <p>ℓ：支間長 (m)</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	16		P Cホロースラブ製作工	基 準 高 ∇	± 20		
						幅 w_1, w_2	$-5 \sim +30$		
						厚 さ t	$-10 \sim +20$		
						桁 長 l	$l < 15 \dots \pm 10$ $l \geq 15 \dots$ $\pm (l - 5)$ かつ -30mm 以内		
			17	1	P C箱桁製作工	1		基 準 高 ∇	± 20
								幅 (上) w_1	$-5 \sim +30$
								幅 (下) w_2	$-5 \sim +30$
								内 空 幅 w_3	± 5
								高 さ h_1	$+10$ -5
								内 空 高 さ h_2	$+10$ -5
								桁 長 l	$l < 15 \dots \pm 10$ $l \geq 15 \dots$ $\pm (l - 5)$ かつ -30mm 以内

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所（支点付近）で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。</p> <p>※鉄筋の出来形管理基準については、第3編2-18-2床版工に準ずる。</p> <p>l：桁長（m）</p>		<p>注) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積 25 m^2 以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外）の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する。</p>
<p>桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所（支点付近）で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。</p> <p>※鉄筋の出来形管理基準については、第3編2-18-2床版工に準ずる。</p> <p>l：桁長（m） 各桁毎に全数測定。 一連毎の両端及び支間中央について各上下間を測定。</p>		<p>注) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積 25 m^2 以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外）の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する。</p>

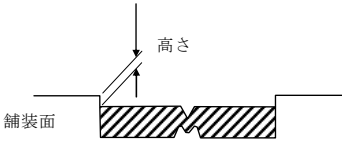
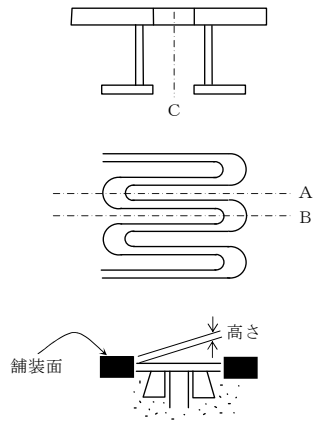
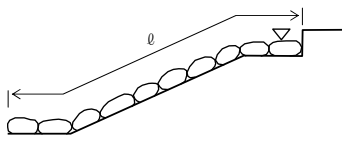
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	17	2	P C 押出し箱桁製作工	幅 (上) w_1	- 5 ~ +30
						幅 (下) w_2	- 5 ~ +30
						内 空 幅 w_3	± 5
						高 さ h_1	+10 - 5
						内 空 高 さ h_2	+10 - 5
						桁 長 l	$l < 15 \dots \dots \pm 10$ $l \geq 15 \dots \dots$ $\pm (l - 5)$ かつ -30mm 以内

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>桁全数について測定。 桁縦断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。</p> <p>※鉄筋の出来形管理基準については、第3編2-18-2床版工に準ずる。</p> <p>l : 桁長 (m)</p>		<p>注) 新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積 25 m²以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外))の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する。</p>

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値			
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	18	根固めブロック工	基準高▽	層 積	±100
									乱 積	± t / 2
								厚 さ t	-20	
								幅 w ₁ w ₂	層 積	-20
									乱 積	- t / 2
								延長 L ₁ L ₂	層 積	-200
						乱 積	- t / 2			
						19	沈床工	基 準 高 ▽	±150	
								幅 w	±300	
								延 長 L	-200	
						20	捨石工	基 準 高 ▽	-100	
					幅 w			-100		
					延 長 L			-200		
					23	階段工	幅 w	-30		
							高 さ h	-30		
							長 さ L	-30		
段 数	± 0 段									

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>幅、厚さは 40 個につき 1 箇所測定。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
1 組毎		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 回 / 1 施工箇所</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
3	土木工事共通編	2	3	26	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	据 付 け 高 さ	舗装面に対し 0～-2	
							表 面 の 凹 凸	3	
							仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し 0～-2	
				26	2	伸縮装置工 (鋼製フィンガージョイント)	高 さ	据 付 け 高 さ	±3
								車線方向各点誤差 の相対差	3
							表 面 の 凹 凸	3	
							歯型板面の歯咬み 合い部の高低差	2	
							縦 方 向 間 隔	±2	
							横 方 向 間 隔	±5	
仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し 0～-2								
28	1	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	基 準 高 ∇	±500					
			法 長 l	-200					
			延 長 L	-200					

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
両端及び中央部付近を測定。		
高さについては車道端部、中央部各3点計9点。 縦方向及び横方向間隔は両端、中央部の3点。		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
3	土木工事共通編	2	3	28	2	多自然型護岸工 (かごマット)	法 長 ℓ	-100	
							厚 さ t	-0.2 t	
							延 長 L	-200	
				29	1	羽口工 (じゃかご)	法長 ℓ	$\ell < 3\text{ m}$	-50
								$\ell \geq 3\text{ m}$	-100
							厚 さ t	-50	
30	2	羽口工 (ふとんかご、かご枠)	高 さ h	-100					
			延 長 L_1, L_2	-200					
30		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	基 準 高 ∇	± 30					
			※幅 w	-50					
			※高 さ h	-30					
			延 長 L	-200					

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、施工延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 ※は、現場打部分のある場合。</p>		
<p>1 施工箇所毎</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値			
3	土木工事共通編	2	一般施工	3	共通の工種	31	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	基準高 ∇	± 30
									延長 L	-200
							2	側溝工 (場所打水路工)	基準高 ∇	± 30
									厚さ t_1, t_2	-20
									幅 w	-30
									高さ h_1, h_2	-30
									延長 L	-200
							3	側溝工 (暗渠工)	基準高 ∇	± 30
						幅 w_1, w_2			-50	
						深 さ h			-30	
						延長 L			-200	
						32	集水楯工	基準高 ∇	± 30	
								※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20	
※幅 w_1, w_2	-30									
※高さ h_1, h_2	-30									

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 箇所 / 1 施工箇所</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。(なお、製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による。)</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
<p>1 箇所毎 ※は、現場打部分のある場合</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	33		現場塗装工	塗 膜 厚	a. ロットの塗膜厚の平均値は目標塗膜厚合計値の90%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えない。 ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。
							4 基礎 工
	厚 さ t ₁ , t ₂	-30					
	延 長 L	各構造物の規格値による。					
	3	1	基礎工(護岸) (現場打)	基 準 高 ▽	±30		
				幅 w	-30		
				高 さ h	-30		
				延 長 L	-200		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
塗装終了時に測定。 1 ロットの大きさは、500 m ² とする。 1 ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。		
施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値			
3	土木工事共通編	2	一般施工	4	基礎工	3	2	基礎工（護岸） （プレキャスト）	基 準 高 ▽	±30
								延 長 L	-200	
						4	1	既製杭工 （既製コンクリート杭） （鋼管杭） （H鋼杭）	基 準 高 ▽	±50
									根 入 長	設計値以上
									偏 心 量 d	D/4 以内 かつ 100 以内
									傾 斜	1/100 以内
				2	既製杭工 （鋼管ソイルセメント杭）			基 準 高 ▽	±50	
								根 入 長	設計値以上	
								偏 心 量 d	100 以内	
								傾 斜	1/100 以内	
								杭 径 D	設計値以上	
								5	場所打杭工	基 準 高 ▽
				根 入 長	設計値以上					
				偏 心 量 d	100 以内					
				傾 斜	1/100 以内					
				杭 径	[設計径(公称径) -30]以上					
				6	深礎工	基 準 高 ▽	±50			
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	150 以内			
						傾 斜	1/50 以内			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3	土木工事共通編	2	4	基礎工	オープンケーソン基礎工	基 準 高 ∇	± 100
						ケーソンの長さ ℓ	-50
						ケーソンの幅 w	-50
						ケーソンの高さ h	-100
						ケーソンの壁厚 t	-20
						偏 心 量 d	300 以内
		8	ニューマチックケーソン基礎工	基 準 高 ∇	± 100		
				ケーソンの長さ ℓ	-50		
				ケーソンの幅 w	-50		
				ケーソンの高さ h	-100		
				ケーソンの壁厚 t	-20		
				偏 心 量 d	300 以内		
		9	鋼管矢板基礎工	基 準 高 ∇	± 100		
				根 入 長	設計値以上		
				偏 心 量 d	300 以内		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については、各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については、各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
基準高は、全数を測定。 偏心量は、1基ごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値			
3	土木 工事 共通 編	2	一般 施工	5	石・ ブ ロ ッ ク 積 (張) 工	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック張り)	基 準 高 ∇	± 50
								法 長 ℓ	$\ell < 3\text{ m}$	-50
									$\ell \geq 3\text{ m}$	-100
							厚さ (ブロック積張) t_1	-50		
							厚さ (裏込) t_2	-50		
							延 長 L	-200		
						2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	基 準 高 ∇	± 50	
								法 長 ℓ	-100	
								延 長 L_1, L_2	-200	
						3	コンクリートブロック工 (天端保護ブロック)	基 準 高 ∇	± 50	
								幅 w	-100	
延 長 L	-200									

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さは上端部及び下端部の 2 箇所を測定。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
3	土木工事共通編	2	一般施工	5	石・ブロック積(張)工	緑化ブロック工	基準高 ∇	± 50	
							法長 ℓ	$\ell < 3\text{m}$	-50
								$\ell \geq 3\text{m}$	-100
							厚さ(ブロック) t_1	-50	
							厚さ(裏込) t_2	-50	
							延 長 L	-200	
					5	石積(張)工	基準高 ∇	± 50	
							法長 ℓ	$\ell < 3\text{m}$	-50
								$\ell \geq 3\text{m}$	-100
							厚さ(石積・張) t_1	-50	
厚さ(裏込) t_2	-50								
延 長 L	-200								

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さは上端部及び下端部の 2 箇所を測定。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さは上端部及び下端部の 2 箇所を測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)	
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	—
						厚 さ	-45	-45	-15	-15
						幅	-50	-50	—	—
				2	アスファルト舗装工 上層路盤工 (粒度調整路盤工)	厚 さ	-25	-30	- 8	-10
幅	-50	-50	—	—						

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高は延長 40m毎に 1 箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。 厚さは各車線 200m毎に 1 箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割に測定。</p>	<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が 3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模が小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 2,000 m²以上 10,000 m²未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 以上 3,000t 未満 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならぬとともに、10 個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
<p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、1,000 m²に 1 個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値							
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X ₁₀)					
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	7	3	アスファルト舗装工 上層路盤工 (セメント(石灰)安 定処理工)	厚 さ	-25	-30	- 8	-10				
						幅	-50	-50	—	—				
					4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安 定処理工)	厚 さ	-15	-20	- 5	- 7			
							幅	-50	-50	—	—			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割とし、 厚さは、1,000 m ² に 1 個の割でコアを 採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を 描いた上での管理が可能な工事をい い、舗装施工面積が 10,000 m ² 以上あ るいは使用する基層および表層用混 合物の総使用量が、3,000 t 以上の場 合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事 より規模は小さいものの、管理結果 を施工管理に反映できる規模の工事 をいい、同一工種の施工が数日連続 する場合で、次のいずれかに該当す るものをいう。 ①施工面積で 2,000 m ² 以上 10,000 m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の 総使用量が 500t 以上 3,000t 未満 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個 以上の割合で規格値を満足しなけれ ばならないとともに、10 個の測定値 の平均値 (X ₁₀) について満足しな ければならない。ただし、厚さのデ ータ数が 10 個未満の場合は測定値 の平均値は適用しない。	
幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割とし、 厚さは、1,000 m ² に 1 個の割でコアを 採取して測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)	
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	-4
						幅	-25	-25	-	-
						平坦性	-		3mプロファイルメーター (σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下	
						厚 さ	-7	-9	-2	-3
					6 アスファルト舗装工 (表層工)	幅	-25	-25	-	-
						厚 さ	-7	-9	-2	-3
						幅	-25	-25	-	-
						平坦性	-		3mプロファイルメーター (σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下	
						厚 さ	-7	-9	-2	-3
						幅	-25	-25	-	-

測定基準	測定箇所	摘要
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアを採取して測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000 m ² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000 m ² 以上10,000 m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t 以上3,000t 未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアを採取して測定。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X ₁₀)	
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	8	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	—
						厚 さ	-45	-45	-15	-15
						幅	-50	-50	—	—
				2	半たわみ性舗装工 上層路盤工 (粒度調整路盤工)	厚 さ	-25	-30	-8	-10
幅	-50	-50	—	—						

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続する場合が該当する。	
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは各車線 200m 毎に1箇所を掘り起こして測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)	
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	3	半たわみ性舗装工 上層路盤工 (セメント(石灰) 安定処理工)	厚 さ	-25	-30	- 8	-10
						幅	-50	-50	—	—
						厚 さ	—	—	—	—
						幅	—	—	—	—
						厚 さ	—	—	—	—
						幅	—	—	—	—
				4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚 さ	-15	-20	- 5	- 7
						幅	-50	-50	—	—
						厚 さ	—	—	—	—
						幅	—	—	—	—
						厚 さ	—	—	—	—
						幅	—	—	—	—
5	半たわみ性舗装工 (基層工)	厚 さ	- 9	-12	- 3	- 4				
		幅	-25	-25	—	—				
		厚 さ	—	—	—	—				
		幅	—	—	—	—				
		厚 さ	—	—	—	—				
		幅	—	—	—	—				
6	半たわみ性舗装工 (表層工)	厚 さ	- 7	- 9	- 2	- 3				
		幅	-25	-25	—	—				
		厚 さ	—	—	—	—				
		幅	—	—	—	—				
			平坦性	—	3m ² プロファイルメーター (σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下					

測定基準	測定箇所	摘要
幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続する場合は該当する。	
幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値						
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	9	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	—
								厚 さ	-45	-45	-15	-15	
								幅	-50	-50	—	—	
							2	排水性舗装工 上層路盤工 (粒度調整路盤工)	厚 さ	-25	-30	-8	-10
								幅	-50	-50	—	—	
								3	排水性舗装工 上層路盤工 (セメント(石灰) 安定処理工)	厚 さ	-25	-30	-8
							幅	-50	-50	—	—		

測定基準	測定箇所	摘要
<p>基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。</p>	<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続する場合は該当する。</p>	
<p>幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。</p>	<p>コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p> <p>維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	
<p>幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは1,000㎡に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	-7	
						幅	-50	-50	—	—	
					5	排水性舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	-4
							幅	-25	-25	—	—
					6	排水性舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3
							幅	-25	-25	—	—
	平 坦 性	—		3m ² プロファイルメーター(σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下							

測定基準	測定箇所	摘 要
幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続する場合が該当する。	
幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは1,000㎡毎に1個の割でコアーを採取して測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値					
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
3	土木工事共通編	2	一般施工	6	一般舗装工	10	1	透水性舗装工 (路盤工)	基準高▽	±50	—	
									厚 さ	t < 15cm	-30	-10
										t ≥ 15cm	-45	-15
									幅	-100	—	
							2	透水性舗装工 (表層工)	厚 さ	-9	-3	
幅	-25	—										

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
	<p>基準高は片側延長40m毎に1箇所割で測定。 厚さは片側延長200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、片側延長80m毎に1箇所測定。</p> <p>※歩道舗装に適用する。</p>	
	<p>幅は、片側延長80m毎に1箇所割で測定。 厚さは片側延長200m毎に1箇所コーを採取して測定。</p> <p>※歩道舗装に適用する。</p>	

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)	
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	-7
						幅	-50	-50	-	-
				2	グースアスファルト舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	-4
						幅	-25	-25	-	-
3	グースアスファルト舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3				
		幅	-25	-25	-	-				
		平 坦 性	-		3m ² プロファイルメーター (σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下					

測定基準	測定箇所	摘要
		<p>幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続する場合が該当する。</p> <p>コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p> <p>維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>
		<p>幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。</p>
		<p>幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。</p>

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X ₁₀)
							中規模以上	小規模以下	中規模以上
3	2	6	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—
						厚 さ	-45		-15
						幅	-50		—
				2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	厚 さ	-25	-30	- 8
		幅	-50		—				

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高は延長 40m 毎に 1 箇所を割とし、道路中心線および端部で測定。 厚さは各車線 200m 毎に 1 箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長 80m 毎に 1 箇所を割に測定。</p>	<p>工事規模の考え方 中規模とは、1 層あたりの施工面積が 2,000 m²以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が 2,000 m²未満。 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	
<p>幅は、延長 80m 毎に 1 箇所を割とし、厚さは、各車線 200m 毎に 1 箇所を掘り起こして測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X ₁₀)
							中規模以上	小規模以下	中規模以上
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青) 安定処理工)	厚 さ	-25	-30	- 8
						幅	-50		—
				4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	厚 さ	- 9	-12	- 3
						幅	-25		—
						厚 さ			
						幅			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000 m ² 以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2,000 m ² 未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアを採取して測定。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X ₁₀)
							中規模以上	小規模以下	中規模以上
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	厚 さ	-10		-3.5
						幅	-25		—
						平 坦 性	—		コンクリートの硬化後 3 m プロファイルメーターにより機械舗設の場合 (σ)2.4mm 以下 人力舗設の場合 (σ)3mm 以下
						目地段差	± 2		
				6	コンクリート舗装工 転圧コンクリート版工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—
						厚 さ	-45		-15
	幅	-50				—			
	7	コンクリート舗装工 転圧コンクリート版工 (粒度調整路盤工)	厚 さ	-25	-30	- 8			
			幅	-50		—			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>厚さは各車線の中心付近で型枠据付後各車線 200m毎に水糸又はレベルにより 1 測線当たり横断方向に 3 箇所以上測定。 幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割で測定。 平坦性は各車線毎に版縁から 1 m の線上、全延長とする。</p>	<p>工事規模の考え方 中規模とは、1 層あたりの施工面積が 2,000 m²以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が 2,000 m²未満。 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
<p>隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。</p>	<p>維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	
<p>基準高は、延長 40m毎に 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線 200m毎に 1 箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割に測定。</p>	<p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割とし、厚さは、各車線 200m毎に 1 箇所を掘り起こして測定。</p>	

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X ₁₀)
							中規模以上	小規模以下	中規模以上
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	8	コンクリート舗装工 転圧コンクリート版工 (セメント(石灰・瀝青) 安定処理工)	厚 さ	-25	-30	- 8
						幅	-50		—
						厚 さ	-9	-12	- 3
						幅	-25		—
						厚 さ	-15	-4.5	
						幅	-35		—
	9	コンクリート舗装工 転圧コンクリート版工 (アスファルト中間層)	厚 さ	-15	-4.5				
			幅	-35		—			
			平 坦 性	—	転圧コンクリートの硬化後 3m プロフィールメーターにより (σ)2.4mm 以下				
			目地段差	± 2					
			厚 さ	-15	-4.5				
			幅	-35		—			
10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	厚 さ	-15	-4.5					
		幅	-35		—				
		平 坦 性	—	転圧コンクリートの硬化後 3m プロフィールメーターにより (σ)2.4mm 以下					
		目地段差	± 2						
		厚 さ	-15	-4.5					
		幅	-35		—				

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に 1 個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1 層あたりの施工面積が 2,000 m ² 以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が 2,000 m ² 未満。 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に 1 個の割でコアを採取して測定。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
厚さは、各車線を中心付近で型枠据付後各車線 200m 毎に水糸又はレベルにより 1 測線当たり横断方向に 3 箇所以上測定。 幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割で測定、平坦性は各車線毎に版縁から 1 m の線上、全延長とする。		
隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X ₁₀)
							中規模以上	小規模以下	中規模以上
3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—
						厚 さ	-45		-15
						幅	-50		—
				2	薄層カラー舗装工 上層路盤工 (粒度調整路盤工)	厚 さ	-25	-30	- 8
		幅	-50		—				

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高は、延長 40m 毎に 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線 200m 毎に 1 箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割に測定。</p>	<p>工事規模の考え方 中規模とは、1 層あたりの施工面積が 2,000 m²以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が 2,000 m²未満。 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
<p>幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは、各車線 200m 毎に 1 箇所を掘り起こして測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値		
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)
							中規模以上	小規模以下	中規模以上
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	13	3	薄層カラー舗装工 上層路盤工 (セメント (石灰) 安定処理工)	厚 さ	-25	-30	- 8
						幅	-50		—
				4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚 さ	-15	-20	- 5
						幅	-50		—
				5	薄層カラー舗装工 (基層工)	厚 さ	- 9	-12	- 3
						幅	-25		—

測定基準	測定箇所	摘要
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000 m ² 以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2,000 m ² 未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取して測定。		
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取して測定。		

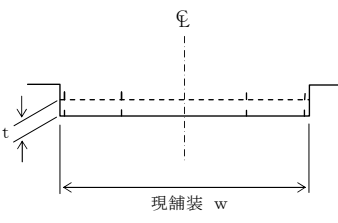
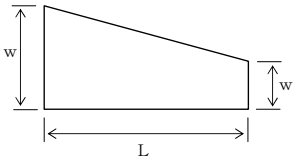
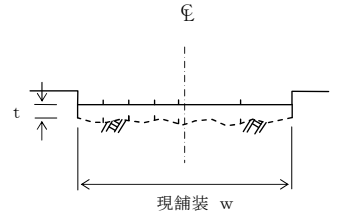
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X ₁₀)
							中規模以上	小規模以下	中規模以上
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—
						厚 さ	-45		-15
						幅	-50		—
				2	ブロック舗装工 上層路盤工 (粒度調整路盤工)	厚 さ	-25	-30	-8
						幅	-50		—

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高は、延長 40m毎に 1 箇所割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線 200m毎に 1 箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長 80m毎に 1 箇所割に測定。</p>	<p>工事規模の考え方 中規模とは、1 層あたりの施工面積が 2,000 m²以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が 2,000 m²未満。 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
<p>幅は、延長 80m毎に 1 箇所割とし、厚さは、各車線 200m毎に 1 箇所を掘り起こして測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値		
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)
							中規模以上	小規模以下	中規模以上
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	14	3	ブロック舗装工 上層路盤工 (セメント(石灰)安定 処理工)	厚 さ	-25	-30	- 8
						幅	-50		—
				4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚 さ	-15	-20	- 5
						幅	-50		—
				5	ブロック舗装工 (基層工)	厚 さ	- 9	-12	- 3
						幅	-25		—

測定基準	測定箇所	摘要
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000 m ² 以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2,000 m ² 未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	2
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取して測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	
幅は、延長 80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取して測定。		

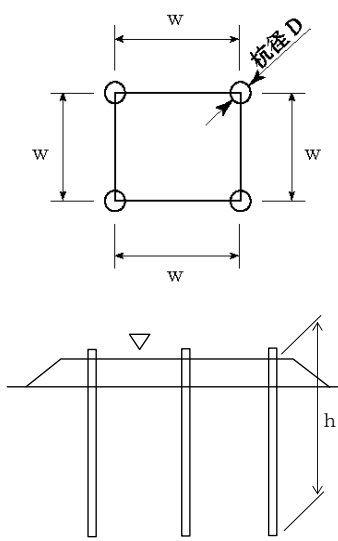
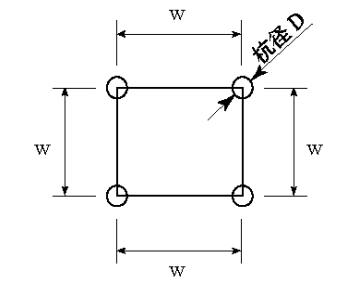
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			
							個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
3	2	6	15		路面切削工	厚 さ t	- 7	- 2		
						幅 w	-25	—		
					舗装打換え工	路盤工	幅 w	- 50		
							延長 L	-100		
							厚さ t	該当工種		
						舗設工	幅 w	- 25		
							延長 L	-100		
							厚さ t	該当工種		
					17		オーバーレイ工	厚 さ t	- 9	
								幅 w	-25	
								延 長 L	-100	
								平坦性	—	3 m ² プロファイルメーター (σ) 2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ) 1.75mm以下

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>厚さは40m毎に現舗装高切削後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 延長40m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 測定方法は自動横断測定法によることが出来る。</p>		
<p>各層毎 1 箇所 / 1 施工箇所</p>		
<p>厚さは40m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、延長80m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。</p>		

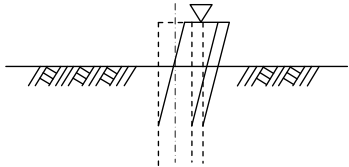
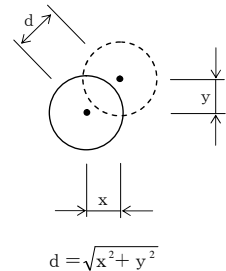
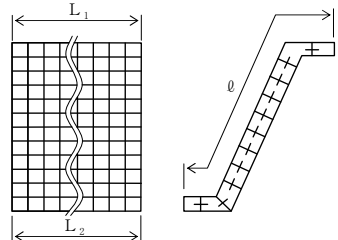
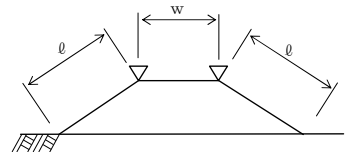
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
3	土木工事共通編	2	7	地盤改良工	路床安定処理工	基 準 高 ∇	± 50	
						施 工 厚 さ t	-50	
						幅 w	-100	
						延 長 L	-200	
					3	置換工	基 準 高 ∇	± 50
							置 換 厚 さ t	-50
							幅 w	-100
							延 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>延長 40m毎に 1 箇所割で測定。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。 厚さは中心線及び端部で測定。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さは中心線及び端部で測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	7		パーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工)	位置・間隔 w	±100	
						杭 径 D	設計値以上	
					8	締固め改良工 (サンドコンパクションパ イル工)	打 込 長 さ h	設計値以上
							サンドドレーン 袋詰式サンドドレーン サンドコンパクション パイルの砂投入量	—
			9	固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	基 準 高 ▽	-50		
					位置・間隔 w	D/4 以内		
					杭 径 D	設計値以上		
					深 度 ℓ	設計値以上		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>100 本に 1 箇所。 100 本以下は 2 箇所測定。 1 箇所に 4 本測定。 ただし、ペーパードレーンの杭径は対象外とする。</p> <p>全本数</p> <p>全本数 計器管理にかえることができる。</p>	 <p>※余長は、適用除外</p>	
<p>100 本に 1 箇所。 100 本以下は 2 箇所測定。 1 箇所に 4 本測定。</p> <p>全本数</p>		

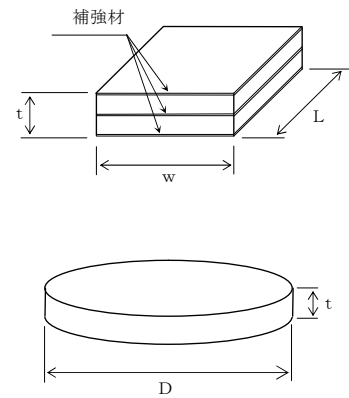
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値				
3	土木工事共通編	2	一般施工	10	仮設工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	基 準 高 ∇	± 100	
								根 入 長	設計値以上		
								2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削 孔 深 さ ℓ	設計深さ以上
									配 置 誤 差 d	100	
									3	土留・仮締切工 (連節ブロック張工)	法 長 ℓ
								延 長 L_1 L_2		-200	
								4	土留・仮締切工 (締切盛土)	基 準 高 ∇	-50
									天 端 幅 w	-100	
									法 長 ℓ	-100	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
基準高は施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。 (任意仮設は除く)		
全数 (任意仮設は除く)	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 50m につき 1 箇所。 延長 50m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 (任意仮設は除く)		

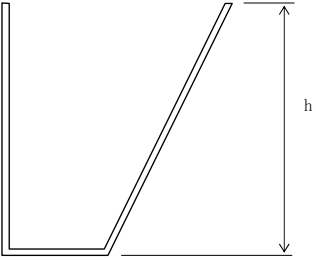
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値							
3	土木工事共通編	2	一般施工	10	仮設工	5	5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	基 準 高 ∇	-50				
								9	地中連続壁工 (壁式)	基 準 高 ∇	± 50	連壁の長さ ℓ	-50	変 位
					10	地中連続壁工 (柱列式)	基 準 高 ∇	± 50	連壁の長さ ℓ	-50	変 位 d	$D/4$ 以内	壁 体 長 L	-200
							基 準 高 ∇	± 50	連壁の長さ ℓ	-50	変 位 d	$D/4$ 以内	壁 体 長 L	-200
							基 準 高 ∇	± 50	連壁の長さ ℓ	-50	変 位 d	$D/4$ 以内	壁 体 長 L	-200
							基 準 高 ∇	± 50	連壁の長さ ℓ	-50	変 位 d	$D/4$ 以内	壁 体 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 50mにつき 1 箇所。 延長 50m 以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。 (任意仮設は除く)</p>		
<p>基準高は施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものについては 1 施工箇所につき 2 箇所。 変位は施工延長 20m (測点間隔 25m の場合は 25m) につき 1 箇所、延長 20m (又は 25m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>基準高は施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものについては 1 施工箇所につき 2 箇所。 変位は施工延長 20m (測点間隔 25m の場合は 25m) につき 1 箇所、延長 20m (又は 25m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		D : 杭径

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	1	1	鑄造費 (金属支承工)	上沓の橋軸及び 直角方向の長さ寸法	JIS B 0403 CT13		
						全移動量 ℓ	$\ell \leq 300\text{mm}$	± 2	
							$\ell > 300\text{mm}$	$\pm \ell / 100$	
						組立高さH	上、下面加工仕上げ		± 3
							コンクリート 構造用	$H \leq 300\text{mm}$	± 3
								$H > 300\text{mm}$	(H/200+3) 小数点以下 切り捨て
						普通寸法	鑄放し長さ寸法 ※1)、※2)		JIS B 0403 CT14
							鑄放し肉厚寸法 ※1)		JIS B 0403 CT15
							削り加工寸法		JIS B 0405 粗級
							ガス切断寸法		JIS B 0417 B級
				2	鑄造費 (大型ゴム支承工)	幅 w 長さ L 直径 D	$w, L, D \leq 500$	0 ~ +5	
							$500 < w, L, D \leq 1,500\text{mm}$	0 ~ +1%	
							$1500 < w, L, D$	0 ~ +15	
						厚さ t	$t \leq 20\text{mm}$	± 0.5	
							$20 < t \leq 160$	$\pm 2.5\%$	
							$160 < t$	± 4	
						平 面 度		1	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
製品全数を測定。 ※1) 片面削り加工も含む。 ※2) ただし、ソールプレート接触面の 橋軸直角方向の長さ寸法に対しては CT13を適用する。		
製品全数を測定。 平面度：1個のゴム支承の厚さ(t)の 最大相対誤差。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	1	3	刃口金物製作工	刃 口 高 さ h (m)	± 2 …… h ≤ 0.5 ± 3 …… 0.5 < h ≤ 1.0 ± 4 …… 1.0 < h ≤ 2.0
						外周長 L (m)	± (10+L/10)
				4	仮設材製作工	部 材 部 材 長 ℓ (m)	± 3 …… ℓ ≤ 10 ± 4 …… ℓ > 10

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の寸法表示箇所にて測定。		
図面の寸法表示箇所にて測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値							
3	土木工事共通編	2	一般施工	12	工場製作工	共通	3	1	桁製作工 (仮組検査を実施する場合) (シミュレーション仮組検査を実施する場合)	部 材 精 度		フランジ幅 w (m)	± 2 …… w ≤ 0.5 ± 3 …… 0.5 < w ≤ 1.0	
												腹板高 h (m)	± 4 …… 1.0 < w ≤ 2.0	
												腹板間隔 b' (m)	± (3+w/2) 2.0 < w	
												板の平面度 δ (mm)	鋼桁及びトラス等の部材の腹板	h / 250
												箱桁及びトラス等のフランジ鋼床版のデッキプレート	b / 150	
フランジの直角度 δ (mm)	フランジの直角度 δ (mm)	w / 200												
部材長 ℓ (m)	鋼桁	± 3 …… ℓ ≤ 10 ± 4 …… ℓ > 10												
トラス、アーチなど	± 2 …… ℓ ≤ 10 ± 3 …… ℓ > 10													
圧縮材の曲がり δ (mm)	圧縮材の曲がり δ (mm)	ℓ / 1000												

測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要
鋼桁等	トラス・アーチ等		
主桁・主構		<p>I型鋼桁 トラス弦材</p>	<p>各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。</p>
主桁			
原則として仮組立をしない部材について、主要部材全数を測定。			
—		<p>主要部材全数を測定。</p> <p>ℓ：部材長 (mm)</p>	

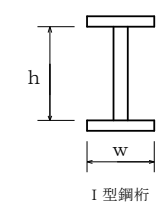
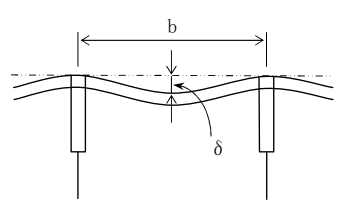
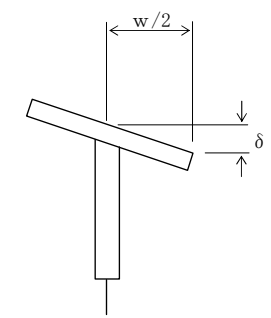
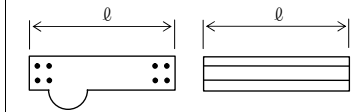
※規格値の w, ℓ に代入する数値はm単位の数値である。
ただし、「板の平面度 δ, フランジの直角度 δ, 圧縮材の曲り δ」の規格値の h, b, w, ℓ に代入する数値はmm単位の数値とする。

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
3	土木 工事 共通 編	2	12	3	1	桁製作工 (仮組検査を実施する場合) (シミュレーション仮組検査を実施する場合)	全長 L (m) 支間長 Ln (m)	± (10+L/10) ± (10+Ln/10)
							主桁、主構の中心 間距離 B (m)	± 4 …… B ≤ 2 ± (3+B/2) ……B > 2
							主構の組立高さ h (m)	± 5 …… h ≤ 5 ± (2.5+h/2) ……h > 5
							主桁、主構の通り δ (mm)	5+L/5 …… L ≤ 100 25 …… L > 100
							主桁、主構のそり δ (mm)	-5~+5 …… L ≤ 20 -5~+10 …… 20 < L ≤ 40 -5~+15 …… 40 < L ≤ 80 -5~+25 …… 80 < L ≤ 200
							主桁、主構の橋端 における出入差 δ (mm)	設計値 ± 10
							主桁、主構の鉛直度 δ (mm)	3+h / 1,000
							現場継手部のすき間 δ ₁ , δ ₂ (mm)	設計値 ± 5

測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要
鋼桁等	トラス・アーチ等		
各桁毎に全数測定。			
各支点及び各支間中央付近を測定。			
—	両端部及び中心部を測定。		
最も外側の主桁又は主構について支点及び支間中央の1点を測定。 L：測線長 (m)			
各主桁について10~12m間隔を測定。 L：主桁の支間長 (m)	各主構の各格点を測定。 L：主構の支間長 (m)		
どちらか一方の主桁（主構）端を測定。			
各主桁の両端部を測定。 h：主桁の高さ (mm)	支点及び支間中央付近を測定。 h：主桁の高さ (mm)		
主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 δ ₁ 、δ ₂ のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合は、マイナス側については設計値以上とする。			

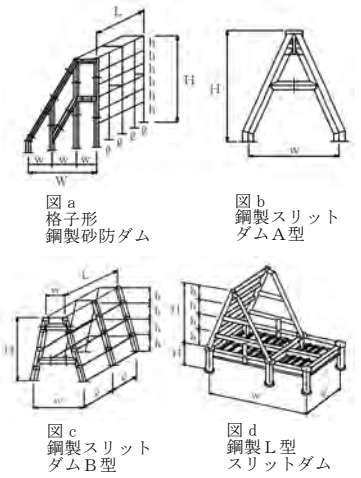
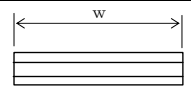
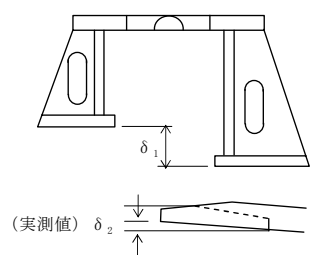
※規格値のL, B, hに代入する数値はm単位の数値である。
ただし、「主桁、主構の鉛直度δ」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
3	土木工事共通編	2	12	3	2	桁製作工 (仮組検査を実施しない場合)	フランジ幅 w (m)	$\pm 2 \dots w \leq 0.5$ $\pm 3 \dots$ $0.5 < w \leq 1.0$ $\pm 4 \dots$	
							腹板高 h (m)	$1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3+w/2) \dots$ $2.0 < w$	
							部 材 精 度	鋼桁等の部材の腹板	$h/250$
								箱桁等のフランジ鋼床版のデッキプレート	$b/150$
					フランジの直角度 δ (mm)	$w/200$			
					部材長 ℓ (m)	鋼 桁	$\pm 3 \dots \ell \leq 10$ $\pm 4 \dots \ell > 10$		

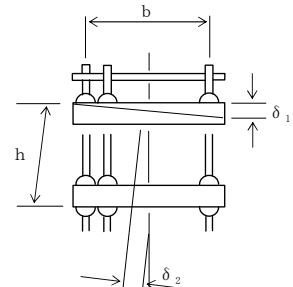
測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要
鋼桁等	トラス・アーチ等		
主桁・主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。		 I型鋼桁	
主桁 各支点及び各支間中央付近を測定。 h : 腹板高 (mm) b : 腹板又はリブの間隔 (mm) h : フランジ幅 (mm)			
			
主要部材全数を測定。			

※規格値の w, ℓ に代入する数値はm単位の数値である。
ただし、「板の平面度 δ , フランジの直角度 δ 」の規格値の h, b, w, ℓ に代入する数値はmm単位の数値とする。

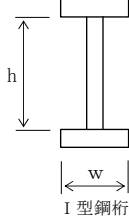
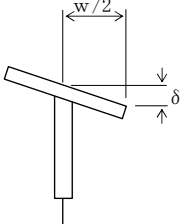
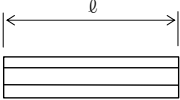
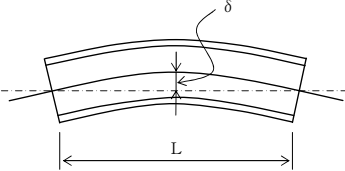
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値						
3	土木工事共通編	2	12	3	桁製作工 (鋼製堰堤製作工(仮組立時))	部材の水平度	10						
						堤 長 L	±30						
						堤 長 ℓ	±10						
						堤 幅 W	±30						
						堤 幅 w	±10						
						高 さ H	±10						
						ベースプレートの高さ	±10						
						本 体 の 傾 き	±H/500						
		4	一般施工	工場製作工 共通	3	検査路製作工	部材	部材長 ℓ (m)	±3…… $\ell \leq 10$ ±4…… $\ell > 10$				
							5	鋼製伸縮継手製作工	部材	部材長 w (m)	0～+30		
									仮組立時	組合せる伸縮装置との高さの差 δ_1 (mm)	設 計 値 ±4		
										フィンガーの食い違い δ_2 (mm)	0～±2		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数を測定。	 <p>図 a 格子形鋼製砂防ダム 図 b 鋼製スリットダムA型 図 c 鋼製スリットダムB型 図 d 鋼製L型スリットダム</p>	
図面の寸法表示箇所にて測定。		
製品全数を測定。		
両端及び中央部付近を測定。	 <p>(実測値) δ_2</p>	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	6		落橋防止装置製作工	部 材	部材長 ℓ (m)	$\pm 3 \cdots \cdots \ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \cdots \ell > 10$
			7		橋梁用防護柵製作工	部 材	部材長 ℓ (m)	$\pm 3 \cdots \cdots \ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \cdots \ell > 10$
			8		アンカーフレーム製作工	仮 組 立 時	上面水平度 δ_1 (mm)	$b/500$
							鉛 直 度 δ_2 (mm)	$h/500$
							高 さ h (mm)	± 5

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の寸法表示箇所にて測定。		
図面の寸法表示箇所にて測定。		
軸心上全数測定	 <p>The diagram illustrates the measurement points for an anchor frame. It shows a cross-section of the frame with a width 'b' and a height 'h'. Two measurement points are indicated: δ_1 is the horizontal deviation of the top surface from a vertical reference line, and δ_2 is the vertical deviation of the bottom surface from a horizontal reference line.</p>	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	9		プレビーム用桁製作工	フランジ幅 w (m)	± 2 … w ≤ 0.5 ± 3 … 0.5 < w ≤ 1.0
						腹板高 h (m)	± 4 … 1.0 < w ≤ 2.0 ± (3 + w / 2) … 2.0 < w
					部 材	フランジの 直角度 δ (mm)	w / 200
						部材長 ℓ (m)	± 3 …… ℓ ≤ 10 ± 4 …… ℓ > 10
						仮 組 立 時 主桁のそり	- 5 ~ + 5 … L ≤ 20 - 5 ~ + 10 … 20 < L ≤ 40
			10		鋼製排水管製作工	部 材 部材長 ℓ (m)	± 3 …… ℓ ≤ 10 ± 4 …… ℓ > 10

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
各支点及び各支間中央付近を測定。		
各支点及び各支間中央付近を測定。		
原則として仮組立をしない部材について主要部材全数で測定。		
各主桁について 10~12m 間隔を測定。		
図面の寸法表示箇所を測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	11		工場塗装工	塗 膜 厚	<p>a. ロット塗膜厚の平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。</p> <p>b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。</p> <p>c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えない。</p> <p>ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。</p>

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>外面塗装では、無機ジンクリッチペイントの塗布後と上塗り終了後に測定し、内面塗装では内面塗装終了時に測定。</p> <p>1 ロットの大きさは、500 m²とする。</p> <p>1 ロット当たり測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
3	土木工事共通編	2	一般施工	13	橋梁架設工	架設工（鋼橋） （クレーン架設） （ケーブルクレーン架設） （ケーブルエレクション架設） （架設桁架設） （送出し架設） （トラベラークレーン架設）	全 長 L (m) 支間長 L _n (m)	± (20+L/5) ± (20+L _n /5)
						通 り δ (mm)	± (10+2L/5)	
						そ り δ (mm)	± (25+L/2)	
						※主桁、主構の中心間 距離 B (m)	± 4…… B ≤ 2 ± (3+B/2)…… B > 2	
						※主桁の橋端における 出入り差 δ (mm)	設計値 ± 10	
						※主桁、主構の鉛直度 δ (mm)	3 + h / 1000	
						※現場継手部のすき間 δ ₁ , δ ₂ (mm)	設計値 ± 5	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
各桁毎に全数測定。 L：主桁・主構の支間長（m）	<p>単径間の場合 多径間の場合</p>	
L：主桁・主構の支間長（m）		
主桁・主構を全数測定。 L：主桁・主構の支間長（m）		
各支点及び各支間中央付近を測定。		
どちらか一方の主桁（主構）端を測定。		
各主桁の両端部を測定。 h：主桁・主構の高さ（mm）		
主桁・主構の全継手数の1/2を測定。 δ ₁ , δ ₂ のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合、マイナスを 認めない。		
※は仮組立検査を実施しない工事に適用。		

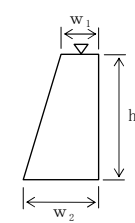
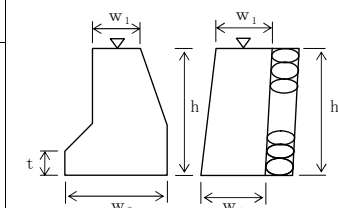
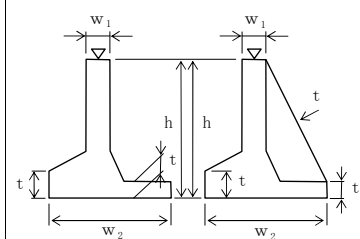
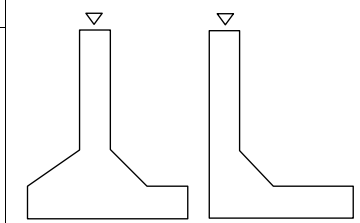
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	13 橋梁 架設 工			架設工（コンクリート橋） （クレーン架設） （架設桁架設）	全 長・支 間	—		
						桁の中心間距離	—		
					架設工支保工 （固定） （移動）	そ り	—		
						架設桁架設 （片持架設） （押し架設）			
	14 法面 工	2	1	2	1	植生工 （種子散布工） （張芝工） （筋芝工） （市松芝工） （植生シート工） （植生マット工） （植生筋工） （人工張芝工） （植生穴工）	切 土 法 長 ℓ	$\ell < 5\text{ m}$	—200
								$\ell \geq 5\text{ m}$	法長の—4%
							盛 土 法 長 ℓ	$\ell < 5\text{ m}$	—100
								$\ell \geq 5\text{ m}$	法長の—2%
							延 長 L		—200
							植生工 （植生基材吹付工） （客土吹付工）	法 長 ℓ	$\ell < 5\text{ m}$
$\ell \geq 5\text{ m}$						法長の—4%			
厚 さ t						$t < 5\text{ cm}$		—10	
						$t \geq 5\text{ cm}$		—20	
ただし、吹付面に凹凸がある場合の 最小吹付厚は、設計厚の50%以上と し、平均厚は設計厚以上。									
延 長 L		—200							

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
各桁毎に全数測定。		
一連毎の両端及び支間中央について各 上下間を測定。		
主桁を全数測定。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
施工延長 40mにつき 1 箇所、40m以下 のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
施工面積 200 m ² につき 1 箇所、面積 200 m ² 以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇 所。 検査孔により測定。		
1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
3	2	14	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	法長 ℓ	$\ell < 3\text{m}$	-50	
							$\ell \geq 3\text{m}$	-100	
						厚 さ t	$t < 5\text{cm}$	-10	
							$t \geq 5\text{cm}$	-20	
						ただし、吹付面に凹凸がある場合の 最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、 平均厚は設計厚以上			
						延 長 L			-200
			4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長 ℓ	$\ell < 10\text{m}$	-100	
							$\ell \geq 10\text{m}$	-200	
						幅 w		-30	
						高 さ h		-30	
						枠中心間隔 a		± 100	
						延 長 L		-200	
				2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	法長 ℓ	$\ell < 10\text{m}$	-100	
							$\ell \geq 10\text{m}$	-200	
						延 長 L		-200	
6		アンカー工	削孔深さ ℓ		設計値以上				
			配置誤差 d		100				
			せん孔方向 θ		± 2.5 度				

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40mにつき1箇所、40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 測定断面に凹凸があり、曲線法長の測定が困難な場合は直線法長とする。</p> <p>200㎡につき1箇所以上、200㎡以下は2箇所をせん孔により測定。</p>		
1 施工箇所毎		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は50m)につき1箇所、延長 40m (又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。</p> <p>枠延長 100mにつき1箇所、枠延長 100m以下のものは1施工箇所につき2箇所。</p>		曲線部は設計図書による
1 施工箇所毎		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は50m)につき1箇所、延長 40m (又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。</p>		
1 施工箇所毎		
全数	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	

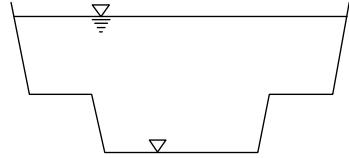
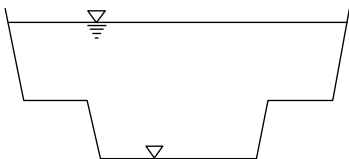
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
3	土木工事共通編	2	共通施工	15	擁壁工共通	(一般事項) 場所打擁壁工	基 準 高 ∇	±50	
							厚 さ t	-20	
							裏 込 厚 さ	-50	
							幅 w_1, w_2	-30	
							高 さ	$h < 3\text{m}$	-50
								$h \geq 3\text{m}$	-100
							延 長 L	-200	
						2	プレキャスト擁壁工	基 準 高 ∇	±50
								延 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
1 施工箇所毎。		
		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
1 施工箇所毎。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
3	土木 工事 共通 編	2	15	3	補強土壁工 (補強土 (テールアルメ) 壁工法) (多数アンカー式補強土 工法) (ジオテキスタイルを 用いた補強土工法)	基 準 高 ∇	± 50	
						高 さ h	$h < 3 \text{ m}$	-50
							$h \geq 3 \text{ m}$	-100
						鉛 直 度 Δ	$\pm 0.03h$ かつ ± 300 以内	
						控 え 長 さ	設計値以上	
				延 長 L	-200			
				4	井桁ブロック工	基 準 高 ∇	± 50	
						法 長 ℓ	$\ell < 3 \text{ m}$	-50
							$\ell \geq 3 \text{ m}$	-100
						厚 さ t_1, t_2, t_3	-50	
延 長 L_1, L_2	-200							

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	16 浚渫 工 共通	3	1	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船)	基準 高 ▽	電気船	200ps	+200	- 800
								500ps	+200	-1000
								1000ps	+200	-1200
							デイ ー ゼ ル 船	250ps	+200	- 800
								420ps	+200	-1000
								600ps	+200	-1200
							1350ps	+200	-1200	
							幅	-200		
							延 長	-200		
							2	浚渫船運転工 (グラブ浚渫船) (バックホウ浚渫船)	基準高▽	上限+200
		幅	-200							
		延 長	-200							
		18 床版 工	2		床版工	基準高▽	±20			
						幅 w	0～+30			
						厚 さ t	-10～+20			
						鉄筋のかぶり	設計値以上			
						鉄筋の有効高さ	±10			
						鉄 筋 間 隔	±20			
			上記、鉄筋の有効 高さがマイナス の場合	±10						

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5 m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。</p>		
<p>延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5 m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。</p>		
<p>基準高は、1 径間当たり 2 箇所（支点付近）で、1 箇所当たり両端と中央部 3 点、幅は 1 径間当たり 3 箇所、厚さは型枠設置時におおむね 10 m²に 1 箇所測定。 （床版の厚さは、型枠検査をもって代える。）</p>		
<p>1 径間当たり 3 断面（両端及び中央）測定。1 断面の測定箇所は断面変化毎 1 箇所とする。</p>		
<p>1 径間当たり 3 箇所（両端及び中央）測定。 1 箇所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状毎に 2 m の範囲を測定。</p>		

編 章 節 条 枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度				
4 港湾工事共通編	3 一般施工	3 共通の 工程	6 圧密・排水工	1 サンドドレーン	位 置	自動位置決め装置又はトランシット及び光波測距儀により測定	転船毎及び監督員の指示による。	
					天端高 先端深度	打込記録の確認	全 数	
					砂の投入量	打込記録の確認	全 数	
				3	敷砂均し	延 長	スチールテープ、間縄、光波測距儀等により測定	施工完了後
						天端高 天端幅 法面勾配	陸上部：スチールテープ、レベル、光波測距儀等で測定	測線間隔 20m以下 測点間隔 10m以下
							水中部：スチールテープ、間縄、レッド又は音響測深機等により測定	測線間隔 20m以下 測点間隔 20m以下
				4	載荷土砂	延 長	スチールテープ、間縄等により測定	施工完了後
						天端高 天端幅 法面勾配	陸上部：スチールテープ、レベル、光波測距儀等で測定	測線間隔 20m以下 測点間隔 10m以下
							水中部：スチールテープ、間縄、レッド又は音響測深機等により測定	測線間隔 20m以下 測点間隔 20m以下
				5	ペーパードレーン	位 置	自動位置決め装置又はトランシット及び光波測距儀により測定	移動毎及び監督員の指示による。
						天端高 先端深度	打込記録の確認	全 数
						ドレーン材の打込長	打込記録の確認	全 数
				6	グラベルマット	延 長	スチールテープ、間縄、光波測距儀等により測定	施工完了後
						天端高 天端幅 法面勾配	陸上部：スチールテープ、レベル、光波測距儀等で測定	測線間隔 20m以下 測点間隔 10m以下
							水中部：スチールテープ、間縄、レッド又は音響測深機等により測定	測線間隔 20m以下 測点間隔 20m以下

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	管理図に測定結果を記入し提出	±10 cm	自動位置決め装置の作動状況が確認されていれば不要
10 cm	打込記録紙及び管理表を作成して提出	天端高 +規定しない -0 先端深度 +0 -規定しない	+：設計値より浅い（高い）ことをいう。 -：設計値より深い（低い）ことをいう。 （ ）は陸上
0.1 m ³	打込記録紙に砂の圧入量を記入し提出		
10 cm	管理図に延長を記入し提出	+規定しない -0	様式・出来形 4-1 参照
天端高 1 cm 天端幅 10 cm	管理図に天端高、法肩、法尻、天端幅及び法面勾配を記入し提出	天端高±30 cm 天端幅、法面勾配は設計図書による。	
10 cm			
10 cm	管理図に延長を記入し提出	+規定しない -0	
天端幅 10 cm 天端高 1 cm	管理図に天端高、法肩、法尻、天端幅及び法面勾配を記入し提出	天端高±50 cm 天端幅、法面勾配は設計図書による。	
10 cm			
1 cm	管理図に測定結果を記入し提出	±10cm	自動位置決め装置の作動状況が確認されていれば不要。
10 cm	打込記録紙及び管理表を作成して提出	天端高 +規定しない -0 先端深度 +0 -規定しない	+：設計値より浅い（高い）ことをいう。 -：設計値より深い（低い）ことをいう。 （ ）は陸上
10 cm	打込記録紙に打込長を記入し提出		
10 cm	管理図に延長を記入し提出	+規定しない -0	様式・出来形 4-1 参照
天端高 1 cm 天端幅 10 cm	管理図に天端高、法肩、法尻、天端幅及び法面勾配を記入し提出	天端高±30 cm 天端幅、法面勾配は設計図書による。	
10 cm			

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度				
4	港湾工事共通編	3	3	6	7	グラベルドレーン	位置	自動位置決め装置又はトランシット及び光波測距儀により測定	移動毎及び監督員の指示による。			
							天端高 先端深度	打込記録の確認	全 数			
							碎石の投入量	打込記録の確認	全 数			
						7	7	1	ロッドコンパクション	位置	自動位置決め装置又はトランシット及び光波測距儀により測定	移動毎及び監督員の指示による。
										充填材の投入量		
										天端高	打込記録の確認	全 数
		2	サンドコンパクションパイール	位置	自動位置決め装置又はトランシット及び光波測距儀により測定	移動毎及び監督員の指示による。						
				天端高 先端深度	打込記録の確認	砂杭全数						
				砂の投入量	打込記録の確認	砂杭全数						
		3	盛上土砂撤去	撤去量	レベル、音響測深機又はレッドにより測定	完了後 測線・測点間隔は設計図書による。						
				盛上り量	レベル、音響測深機又はレッドにより測定	完了後 測線・測点間隔は設計図書による。						
				5	敷砂均し							
		8	8	1	深層混合処理杭	位置	自動位置決め装置又はトランシット及び光波測距儀により測定	海上施工は改良杭全数。 陸上施工は設計図書による。				
						鉛直度 接 合	トランシット及び傾斜計等により処理機の鉛直度を測定	改良杭全数 深度方向に2～5 m程度毎に測定（引抜きと貫入時）				

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	管理図に測定結果を記入し提出	±10cm	自動位置決め装置の作動状況が確認されていれば不要
10 cm	打込記録紙及び管理表を作成して提出	天端高 +規定しない - 0 先端深度 + 0 -規定しない	+：設計値より浅い(高い)ことをいう。 -：設計値より深い(低い)ことをいう。 ()は陸上
0.1 m ³	打込記録紙に碎石の投入量を記入し提出		
10 cm	管理図に測定結果を記入し提出	±10cm	自動位置決め装置の作動状況が確認されていれば不要
1.0 m ³	測定記録等の提出		
10 cm	打込記録の提出	天端高 +規定しない - 0	
10 cm	打込記録の提出	先端深度 + 0 -規定しない	+：設計値より浅い(高い)ことをいう。 -：設計値より深い(低い)ことをいう。 ()は陸上
1 cm	管理図に測定結果を記入し提出	±10cm	様式・出来形 4-2 参照。 自動位置決め装置の作動状況が確認されていれば不要
10 cm	打込記録紙及び管理表を作成して提出	天端高 +規定しない - 0 先端深度 + 0 -規定しない	+：設計値より浅い(高い)ことをいう。 -：設計値より深い(低い)ことをいう。 ()は陸上
0.1 m ³	打込記録紙に砂の圧入量を記入し提出		
10 cm	盛上り量の平面図を作成し提出		
10 cm	撤去量の平面図を作成し提出		
			4-3-3-6-2 敷砂均しを適用する。
1 cm	管理図に測定結果を記入し提出	トランシット及び光波測距儀等により測定する場合は設計図書による	様式・出来形 4-3 参照 自動位置決め装置の作動状況が確認されていれば不要
1分又は 1 cm	改良杭先端部の軌跡図を作成し提出	設計図書による。	陸上施工は除く。

2

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度		
4	3	3	8	1	深層混合処理杭	天端高 先端深度	深度計、ワイヤー繰出長さ、潮位計、乾舷及び処理機等により確認	改良杭全数		
						固化材吐出量	流量計等により硬化材のm当りの吐出量を確認	改良杭全数		
						盛上り量	音響測深機又はレッドにより測定	改良前、改良後		
				4	敷砂均し					
				5	事前混合処理	延 長	スチールテープ、間縄等により測定	施工完了後		
						天端高 天端幅	陸上部：スチールテープ、レベル、光波測距儀等で測定 水中部：スチールテープ、間縄、レッド又は音響測深機により測定	測線間隔 20m以下 測点間隔 10m以下		
						6	表層固化処理	延 長	スチールテープ、間縄等により測定	施工完了後
						天端高、天端幅、厚さ	スチールテープ、レベル、光波測距儀等で測定	測線間隔 20m以下 測点間隔 10m以下		
				9	洗掘防止工	1	洗掘防止工	敷設位置	スチールテープ、間縄等により測定	始、終端及び変化する箇所每並びに 20mに 1 箇所以上
								重ね幅	スチールテープ等により測定	1 枚に 2 点
								延 長	スチールテープ、間縄等により測定	マットの中心を区間毎及び全長
				10	中詰工	1	砂・石材中詰	天端高	レベル、スチールテープ等によりケーソン天端面からの下りを測定	1 室につき 1 箇所(中心)
								2 3	コンクリート中詰 プレパックドコンクリート中詰	天端高
				11	蓋コンクリート	1	蓋コンクリート	天端高	レベル、スチールテープ等により測定	1 室につき 1 箇所(中心)

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	打込記録紙又は打込記録データに天端高、先端深度を記入し管理表を提出	天端高 +規定しない - 0 先端深度 + 0 -規定しない	+：設計値より浅い(高い)ことをいう。 -：設計値より深い(低い)ことをいう。 ()は陸上
1 〇 又は 1 t	打込記録紙又は打込記録データに固化材吐出量を記入し提出		
10 cm	盛上り量の図面を作成し提出		
			4-3-3-6-2 敷砂均しを適用する。
10 cm	管理図に延長を記入し提出	+規定しない - 0	
天端幅 10 cm 天端高 1 cm	管理図に天端高、天端幅を記入し提出	設計図書による。	
10 cm			
10 cm	管理図に延長を記入し提出	+規定しない - 0	
天端幅 10 cm 天端高・厚さ 1 cm	管理図に天端高、天端幅、厚さを記入し提出	設計図書による。	
10 cm	測定表及び敷設図を作成し提出	設計図書による。	様式・出来形 4-4 参照 アスファルトマット、繊維系マット、ゴムマット、合成樹脂系マット
1 cm	測定表及び敷設図を作成し提出	50 cm以上(アスファルトマット・繊維系マット、ゴムマット) 30 cm以上(合成樹脂系マット)	
10 cm	測定表及び敷設図を作成し提出	+規定しない -10 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	陸上± 5 cm 水中±10 cm	様式・出来形 4-5 参照
1 cm	管理表を作成し提出	陸上± 3 cm 水中± 5 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	陸上± 3 cm 水中± 5 cm	様式・出来形 4-6 参照

2

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度		
4	港湾工事共通編	3	3	12	蓋ブロック製作	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数		
						対角線	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数		
					2	蓋ブロック据付	蓋ブロック据付(天端高)	レベル、スチールテープ等により測定	1室につき1箇所	
					13	1	先行掘削	位 置	トランシット、光波測距義、スチールテープ等により測定	全 数
								掘削長 掘削深度	レベル等により測定	全 数
								掘削径	スチールテープ等により測定(水中の場合はケーシング径等により確認)	全 数 (水中の場合は適宜)
						2	鋼矢板	打込記録	共通仕様書第4編 5-3-13.2(10)	40枚に1枚
								矢板壁延長	スチールテープ等により測定(天端付近)	施工中適宜 打込完了時
								矢板法線に対する出入り	トランシット、光波測距義、スチールテープ等により測定	打込完了時、20枚に1枚及び計画法線の変化点
								矢板法線に対する傾斜	トランシット、光波測距義、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、20枚に1枚及び計画法線の変化点
					矢板法線方向の傾斜		施工中適宜 打込完了時(両端部)			
					矢板天端高	レベルにより測定	打込完了時、20枚に1枚			
					矢板継手部の離脱	観 察 (水中部は潜水士)	全 数			

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	管理表を作成し提出	幅 +2 cm, -1 cm 高さ+2 cm, -1 cm 長さ+2 cm, -1 cm 壁厚±1 cm	
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出	陸上±3 cm 水中±5 cm	
10 cm	測定表を作成し提出	設計図書による。	
10 cm	測定表を作成し提出	設計図書による。	
10 cm	測定表を作成し提出	設計図書による。	
	打込記録を提出		様式・出来形 4-7 参照
1 cm	管理表を作成し提出	+矢板1枚幅 -0	
1 cm	管理表を作成し提出	±10 cm	全数を目視で確認
1/1,000	管理表を作成し提出	10/1,000 以下	
1 cm 1/1,000	管理表を作成し提出	上下の差が矢板1枚幅未満 10/1,000 以下	
1 cm	管理表を作成し提出	±10 cm	全数を目視で確認
	観察結果を報告		

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度				
4	港湾工事共通編	3	一般施工	3	共通の工種	13	鋼管矢板工	2	鋼管矢板	打込記録	共通仕様書第4編 5-3-13-2(10)	20本に1本
										矢板壁延長	スチールテープ等により測定（天端付近）	施工中適宜 打込完了時
										矢板法線に対する出入り	トランシット、光波測距義、スチールテープ等により測定	打込完了時、10本に1本及び計画法線の変化点
										矢板法線に対する傾斜	トランシット、光波測距義、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、全数確認後 10本に1本及び変化点
										矢板法線方向の傾斜		施工中適宜 打込完了時（両端部）
										矢板天端高	レベルにより測定	打込完了時、20枚に1枚
										矢板継手部の離脱	観 察 （水中部は潜水士）	全 数

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
	打込記録を提出		
1 cm	管理表を作成し提出	設計図書による。	
1 cm	管理表を作成し提出	±10 cm	全数を目視で確認
1/1,000	管理表を作成し提出	10/1,000 以下	
1 cm 1/1,000	管理表を作成し提出	上下の差が矢板1枚幅未満 10/1,000 以下	
1 cm	管理表を作成し提出	±10 cm	全数を目視で確認
	観察結果を報告		

編 章 節 条 枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度			
4 港湾工事共通編	3 一般施工	3 共通の工種	14 控 工	2 控鋼矢板	打込記録	共通仕様書 第4編 5-3-14-2(10)	40枚に1枚
					矢板壁延長	スチールテープ等により測定(天端付近)	施工中適宜 打込完了時
					矢板法線に対する出入り	トランシット、光波測距義、スチールテープにより測定	打込完了時、10本に1本及び計画法線の変化点
					矢板法線に対する傾斜	トランシット、光波測距義、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、10本に1本及び計画法線の変化点
					矢板法線方向の傾斜		施工中適宜 打込完了時(両端部)
					矢板天端高	レベルにより測定	打込完了時、20枚に1枚
					矢板継手部の離脱	観 察 (水中部は潜水士)	全 数
				3 控鋼杭	打込記録	共通仕様書 第4編 3-3-14-3(8)	20本に1本
					杭頭中心位置	トランシット、光波測距義、スチールテープ	打込完了時、全数
					杭天端高	レベルにより測定	打込完了時、全数
					杭の傾斜	トランシット、光波測距義、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、全数
				プレキャスト コンクリート 控壁	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	型枠取外後全数
					法線に対する出入	トランシット、光波測距義、スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所(最下段、最上段)
					隣接ブロックとの間隔	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所(最下段、最上段)
					延長	スチールテープ等により測定	据付完了後、法線上(最上段のみ)
					天端高	レベル等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所
				場所打コンクリート控壁	天端高又は厚さ	トランシット、光波測距義、スチールテープ等により測定	1スパン3箇所
					天端幅	スチールテープ等により測定	1スパン3箇所
					延長	スチールテープ等により測定	法線上
					法線に対する出入	トランシット、光波測距義、スチールテープ等により測定	1スパン2箇所

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
	打込記録を提出		様式・出来形 4-7 参照
1 cm	管理表を作成し提出	+ 矢板 1 枚幅 - 0	
1 cm	管理表を作成し提出	±10 cm	全数を目視で確認
1/1,000	管理表を作成し提出	10/1,000 以下	
1 cm 1/1,000	管理表を作成し提出	上下の差が矢板1枚幅未満 10/1,000 以下	
1 cm	管理表を作成し提出	±10 cm	全数を目視で確認
	観察結果を報告		
	打込記録を提出		様式・出来形 4-10 参照
1 cm	管理表を作成し提出	10 cm以下	
1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
1°	管理表を作成し提出	直杭 2° 以下 斜杭 3° 以下	
1 cm	管理表を作成し提出	幅 + 2 cm, - 1 cm 高さ + 2 cm, - 1 cm 長さ + 2 cm, - 1 cm 壁厚 ± 1 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	設計図書による。	
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	測定表を作成し提出	± 2 cm	天端高又は厚さの管理項目の選定は設計図書による。
1 cm	測定表を作成し提出	± 2 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
1 cm	測定表を作成し提出	± 3 cm	

2

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度
4	港湾工事共通編	3 一般施工	3 共通の工種	14 控 工	4 腹 起	取付高さ	レベル等により測定	取付完了時、両端 (継手毎) 全数
						継手位置	観 察	取付完了時、全数
						ボルトの取付け	観 察	取付完了時、全数
						矢板と腹起しとの密着	観 察	タイロッド毎、全数
				5 タイ材	タイロッド取付	取付け高さ及び水平度	レベル等により測定	締付後両端、全数
						矢板法線に対する取付角度及び取付間隔	スチールテープ等により測定	締付後両端、全数
						定着ナットの締付け	観 察	全 数
						ターンバックルのねじ込み長さ	観 察	全 数
						リングジョイントのコンクリートへの埋込み	観 察	全 数
						支保材の天端高	レベル等により測定	適 宜
		タイワイヤー取付	取付高さ	レベル等により測定	締付後両端、全数			
			矢板法線に対する取付角度及び取付間隔	スチールテープ等により測定	締付後両端、全数			
			定着ナットの締付け	観 察	全 数			
			定着具端部栓の取付け	観 察	全 数			
			トランペットシースの取付	観 察	全 数			
		15 鋼杭工	2 鋼 杭	打込記録	4-3-3-15-2-9 打込記録	20本に1本		
				杭頭中心位置	トランシット、光波測距義、スチールテープ等により測定	打込完了時、全数		
				杭天端高	レベル等により測定	打込完了時、全数		
				杭の傾斜	トランシット、光波測距義、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、全数		

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	管理表を作成し提出		様式・出来形 4-8 参照
	観察結果を報告		
	観察結果を報告		
	観察結果を報告		
1 cm	管理表を作成し提出		様式・出来形 4-9 参照 腹起しに取り付ける場合は不要
1 cm	管理表を作成し提出		
	観察結果を報告	ねじ山が3つ山以上突き出していること。	
1 cm	観察結果を報告	定着ナットの高さ以上	
	観察結果を報告		
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出		腹起しに取り付ける場合は不要
1 cm	管理表を作成し提出		
	観察結果を報告	ねじ山が3つ山以上突き出していること。	
	観察結果を報告		
	観察結果を報告		
	打込記録を提出		様式・出来形 4-10 参照
1 cm	管理表を作成し提出	10 cm以下	
1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
1°	管理表を作成し提出	直杭 2° 以下 斜杭 3° 以下	

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度
4	3	3	16	1	コンクリート杭工	打込記録	JIS A 7201 記録	支持杭は全数、支持杭以外は20本に1本
						杭頭中心位置	トランシット、光波測距義、スチールテープ等により測定	打込完了時、全数
						杭天端高	レベル等により測定	打込完了時、全数
						杭の傾斜	トランシット、光波測距義、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、全数
			17	1	電気防食	取付位置	目視(承諾された図面より確認)潜水士による。	取付完了後、全数
						電位測定	測定機器による。	取付完了後、測定端子取付箇所毎
				2	FRPモルタル被覆	取付高さ(被覆範囲)	レベル等により測定	完了後、保護カバーの上端又は下端高さ(被覆範囲の確認) 鋼管杭：全数 矢板：1打設3箇所以上
						取付高さ(被覆範囲)	レベル等により測定	完了後、保護カバーの上端又は下端高さ(被覆範囲の確認) 鋼管杭：全数 矢板：監督員の指示による
						高さ(被覆範囲)	レベル等により測定	完了後、上端・下端高さ(被覆範囲の確認) 鋼管杭：全数 矢板：1打設3箇所以上
						高さ(被覆範囲)	レベル等により測定	完了後、上端・下端高さ(被覆範囲の確認) 鋼管杭：全数 矢板：50㎡に1箇所以上

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
	JIS A 7201 付表5 打込み工法記録を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出	10 cm以下	
1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
1°	管理表を作成し提出	直杭2°以下 斜杭3°以下	
設計図書による。	確認結果を提出		様式・出来形 4-11 参照
1 mV	測定表を作成し提出	飽和かんこう電極基準： -770mV 海水塩化銀基準： -780mV 又は飽和硫酸銅電極基準 -850mV	
設計図書による。	測定表を作成し提出	設計図書による。	測定密度における矢板1打設とは、コンクリート・モルタルの配合1回当たりの打設を示す。
設計図書による。	測定表を作成し提出	設計図書による。	
設計図書による。	測定表を作成し提出	設計図書による。	測定密度における矢板1打設とは、コンクリート・モルタルの配合1回当たりの打設を示す。
設計図書による。	測定表を作成し提出	設計図書による。	

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度
4 港湾工事共通編	3 一般施工	3 共通の工種	19 コンクリート舗装工	1	下層路盤	高 さ	レベル等により測定	舗装は中心及び両端部の3点を延長20mに1箇所、道路舗装は中心及び両端部の3点を延長40mに1箇所
						厚 さ	レベル等により測定	舗装は1,000 m ² に1箇所、道路舗装は設計図書による。
						幅	スチールテープ、光波測距義等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所
						延 長	スチールテープ、光波測距義等により測定	両端2箇所
				2	上層路盤	厚 さ	レベル等により測定	舗装は1,000 m ² に1箇所、道路舗装は設計図書による。
						幅	スチールテープ、光波測距義等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所
						延 長	スチールテープ、光波測距義等により測定	両端2箇所

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	測定表を作成し提出	± 4 cm	様式・出来形 4-12 参照
1 mm	測定表を作成し提出	+規定しない -4.5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない - 5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない - 0	
1 mm	測定表を作成し提出	+規定しない -2.5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない - 5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない - 0	

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度
4	港湾工事共通編	3	3	19	コンクリート舗装	厚 さ	レベル等により測定	舗装は中心及び両端部の3点を延長20mに1箇所、道路舗装は中心及び両端部の3点を延長40mに1箇所
						幅	スチールテープ、光波測距義等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所
						延 長	スチールテープ、光波測距義等により測定	両端2箇所
						平坦性	3mプロファイルメータにより測定	各レーン毎全延長
		20	アスファルト舗装工	1	下層路盤	高 さ	レベル等により測定	舗装は中心及び両端部の3点を延長20mに1箇所、道路舗装は中心及び両端部の3点を延長40mに1箇所
						厚 さ	レベル等により測定	舗装は1,000㎡に1箇所、道路舗装は設計図書による。
						幅	スチールテープ、光波測距義等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所
						延 長	スチールテープ、光波測距義等により測定	両端2箇所
				2	上層路盤	厚 さ	レベル等により測定	舗装は1,000㎡に1箇所、道路舗装は設計図書による。
						幅	スチールテープ、光波測距義等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所
						延 長	スチールテープ、光波測距義等により測定	両端2箇所
				3	基 層	厚 さ	抜き取りコアをスチールテープ等で測定	1,000㎡に1箇所
						幅	スチールテープ、光波測距義等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所
						延 長	スチールテープ、光波測距義等により測定	両端2箇所
				4	表 層	厚 さ	抜き取りコアをスチールテープ等で測定	1,000㎡に1箇所
						幅	スチールテープ、光波測距義等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所
		延 長	スチールテープ、光波測距義等により測定			両端2箇所		
		平坦性	3mプロファイルメータにより測定			各レーン毎全延長		

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -1 cm	コンクリート版の厚さ、その他を確認するため、監督員が必要と認めるときは、コアを採取する。
1 mm	測定表を作成し提出	+規定しない -2.5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -0	
1 mm	記録紙及び管理表を作成し提出	機械舗設の場合：2mm以下 人力舗設の場合：3mm以下	
1 cm	測定表を作成し提出	±5 cm	
1 mm	測定表を作成し提出	+規定しない -4.5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -0	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -3 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -0	
1 mm	測定表を作成し提出	+規定しない -1.2 cm	様式・出来形 4-13 参照
1 mm	測定表を作成し提出	+規定しない -2.5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -0	
1 mm	測定表を作成し提出	+規定しない -9 mm	様式・出来形 4-13 参照
1 mm	測定表を作成し提出	+規定しない -2.5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -0	
1 mm	記録紙及び管理表を作成し提出	2.4 mm以下	

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度			
4	3	3	21	1	張 芝 筋 芝	材料の使用数量	使用数量表等により確認	施工完了後			
						長さ、幅(面積)	スチールテープ等により測定	施工完了後			
						植生状況	観 察	施工完了後、区域全体			
				3	播 種 種子吹付	材料の使用数量	使用数量表等により確認	施工完了後			
						長さ、幅(面積)	スチールテープ等により測定	施工完了後			
						植生状況	設計図書による。	設計図書による。			
				5	植 栽	材料の使用数量	使用数量表等により確認	搬入時、全数			
						樹高、枝張り幅、幹周り	スチールテープ等により測定	種類毎、搬入後適宜			
						植付け状況	観 察	施工完了後、全本数			
				5	2	1	2	ポンプ床掘 グラブ床掘 硬土盤床掘 砕岩床掘 バックホウ床掘	水 深 (底面)	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	設計図書による。
										音響測深機、レッド又はレベル等により測定	
										音響測深機、レッド又はレベル等により測定	
										音響測深機、レッド又はレベル等により測定	
										音響測深機、レッド又はレベル等により測定	
				6	2	置換材均し	延 長	スチールテープ、間縄、光波測距儀等により測定	施工完了後		
								天端高、天端幅、法面		陸上部；スチールテープ、レベル、光波測距儀等で測定	
								水中部；スチールテープ、間縄、レッド、音響測深機等により測定	測線間隔 20m以下 測点間隔 20m以下		

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
	使用数量表等を作成し提出		
10 cm (0.1 m ²)	管理表を作成し提出	+規定しない - 0	
	観察結果を報告		
	使用数量表等を作成し提出		
10 cm (0.1 m ²)	管理表を作成し提出	+規定しない - 0	
	設計図書による。	設計図書による。	
	使用数量表等を作成し提出		
樹高、枝張り幅 10 cm 幹周り 1 cm	管理表を作成し提出	+規定しない - 0	
	観察結果を報告		
10 cm	平面図に実測値を記入し提出	±30 cm又は設計図書による。	断面図は監督員が指示したとき作成し提出
10 cm	平面図に実測値を記入し提出	外側 2 m (法面に直角) 内側 30 cm (法面に直角) 又は設計図書による。	
10 cm	管理図に延長を記入し提出	+規定しない - 0	様式・出来形 4-14 参照
天端高 1 cm 天端幅 10 cm	管理図に天端高、法肩、法尻、天端幅及び法面勾配を記入し提出	天端高±50 cm又は設計図書による。 天端幅、法面は設計図書による。	
10 cm			

編 章 節 条 枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度		
4 港湾工事共通編	3 一般施工	6 基礎工	2 基礎盛砂工	2 盛砂均し	延長 スチールテープ、間縄、光波測距儀等により測定	施工完了後
				天端高 天端幅 法面勾配	スチールテープ、間縄、レッド又は音響測深機等により測定	測線間隔 20m以下 測点間隔 20m以下
		4 基礎捨石工	1 基礎捨石 (均しを行わない面)	天端高	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線及び測点間隔は 10m以下
				法 面	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線間隔は 10m以下測点 3 点以上、但し、マウンド厚 2 m 以下の場合は 2 点以上
				天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は 10m以下
				延 長	スチールテープ、間縄等により測定	法線上又は監督員の指示による。
			2 捨石本均し	天端高	レベル又は設計図書により測定	測線及び測点間隔は 10m以下
				天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は 10m以下
	延 長			スチールテープ、間縄等により測定	法線上又は監督員の指示による。	
	天端高			音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線及び測点間隔は 10m以下	
	6 基礎ブロック工	1 基礎ブロック製作	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数	
			対角線	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数	
			型枠形状寸法(異形ブロック)	観 察	型枠搬入後適宜	
			ブロック外観(異形ブロック)	観 察	全 数	
		3 捨石荒均し	天端高	法 面	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線間隔は 10m以下測点 3 点以上、ただし、マウンド厚 2 m 以下の場合は 2 点以上
				天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は 10m以下
延 長				スチールテープ、間縄等により測定	法線上又は監督員の指示による。	
天端高				音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線及び測点間隔は 10m以下	

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
10 cm	管理図に延長を記入し提出	+規定しない - 0	様式・出来形 4-1 参照
10 cm	管理図に天端高、法肩、法尻、天端幅及び法面勾配を記入し提出	天端高 ±30 cm 天端幅、法面勾配は設計図書による。	
10 cm	出来形図を作成し提出	設計図書による。	
10 cm	出来形図を作成し提出	設計図書による。	
10 cm	出来形図を作成し提出	設計図書による。	
10 cm	出来形図を作成し提出	設計図書による。	
1 cm	出来形図を作成し提出	± 5 cm	様式・出来形 4-15 参照
10 cm	出来形図を作成し提出	+規定しない -10 cm	
10 cm	出来形図を作成し提出	+規定しない -10 cm	
10 cm	出来形図を作成し提出	注)-1 ±50 cm、岸壁前面+0、-20 cm 又は設計図書による。異形ブロック据付面(整積)の高さ(法面に直角)±30 cm 又は設計図書による。	注)-1 係留施設・護岸・土留壁等の背面については、荒均しを適用しない。
10 cm	出来形図を作成し提出	注)-2 ±50 cm(法面に直角)異形ブロック据付面(整積)の高さ(法面に直角)±30 cm 又は設計図書による。	注)-2 係留施設・護岸・土留壁等の背面については、荒均しを適用しない。
10 cm	出来形図を作成し提出	+規定しない -10 cm	
10 cm	出来形図を作成し提出	+規定しない -10 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	幅 + 2 cm, - 1 cm 高さ+ 2 cm, - 1 cm 長さ+ 2 cm, - 1 cm 壁厚± 1 cm	様式・出来形 4-18 参照 ブロック(方塊)
1 cm	管理表を作成し提出		
	観察結果を報告		
	観察結果を報告		

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度			
4 港湾 工事 共通 編	3 一般 施工	6 基礎 工	6 基礎 ブロッ ク工	2	基礎ブロック 据付	法線に対する 出入	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所 (最下段、最上段)			
						隣接ブロック との間隔	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所 (最下段、最上段)			
						延 長	スチールテープ等により測定	据付完了後、法線上 (最上段のみ)			
						天端高	レベル等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所 (最上段のみ)			
	7 本体工 (ケーソン式)	2 ケーソン 製作工		ケーソン製作	摩擦増大用マ ット敷設位置	スチールテープ等により確認	始・終端及び変化する 箇所毎				
					高 さ	スチールテープ等により測定	完成時、四隅				
					幅	スチールテープ等により測定	各層完成時に中央部及 び底版と天端は両端				
					長 さ	スチールテープ等により測定	各層完成時に中央部及 び底版と天端は両端				
					壁 厚	スチールテープ等により測定	各層完成時、各壁1箇所				
					底版厚さ	レベル、スチールテープ等により測定	底版完成時、各室中央 部1箇所				
					フーチング高さ	スチールテープ等により測定	底版完成時、四隅				
					対角線	スチールテープ等により測定	底版完成時及び完成時				
					バラスト	レベル、レッド等により測定	各室中央部1箇所				
					3 ケーソン 進水 据付工			ケーソン進水 据付	法線に対する 出入	トランシット及びスチールテープ等により測定	据付完了後、両端2箇所
									据付目地間隔	スチールテープ等により測定	据付完了後、天端2箇所
									天端高さ	レベルにより測定	据付完了後、四隅 中詰完了時、四隅
	延長	スチールテープ等により測定	据付完了後、法線上								

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	ブロック(方塊) 3 cm以下	
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出		
10 cm	測定表及び敷設図を作成し提出	設計図書による。	
1 cm	管理表を作成し提出	+ 3 cm - 1 cm	様式・出来形 4-16 参照
1 cm	管理表を作成し提出	+ 3 cm - 1 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	+ 3 cm - 1 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	± 1 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	+ 3 cm - 1 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	+ 3 cm - 1 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	砕石・砂 ±10 cm コンクリート ± 5 cm	投入量管理
1 cm	管理表を作成し提出	防波堤 ケーソン質量 2,000t 未満 ±20 cm 2,000t 以上 ±30 cm 岸 壁 ケーソン質量 2,000t 未満 ±10 cm 2,000t 以上 ±15 cm	様式・出来形 4-17 参照
1 cm	管理表を作成し提出	防波堤 ケーソン質量 2,000t 未満 20 cm以下 2,000t 以上 30 cm以下 岸 壁ケーソン質量 2,000t 未満 10 cm以下 2,000t 以上 20 cm以下	
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出		

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度
4 港湾工事共通編	3 一般施工	8 本体工（ブロック式）	2 本体ブロック製作工		本体ブロック製作	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数
						対角線	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数
						型枠形状寸法（異形ブロック）	観 察	型枠撤入後適宜
						ブロック外観（異形ブロック）	観 察	全 数
		3 本体ブロック据付工	1	本体ブロック据付	法線に対する出入	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所（最下段、最上段）	
					隣接ブロックとの間隔	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所（最下段、最上段）	
					延 長	スチールテープ等により測定	据付完了後、法線上（最上段のみ）	
					天端高	レベル等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所（最上段のみ）	
	9 本体工（場所打式）	2 場所打コンクリート工	防波堤	天端高又は厚さ	レベル等により測定	天端面は1スパン4箇所以上 パラペット頂部は1スパン2箇所以上		
				天端幅	スチールテープ等により測定	1スパン3箇所		
				延 長	スチールテープ等により測定	法線上		
				法線に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	1スパン2箇所		
			岸 壁	天端高又は厚さ	レベル、スチールテープ等により測定	1スパン3箇所		
				天端幅	スチールテープ等により測定	1スパン3箇所		
				延 長	スチールテープ等により測定	法線上		
				法線に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	1スパン2箇所		
				防舷材ベッド	スチールテープ等により測定	スパン毎		

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	管理表を作成し提出	幅 +2 cm, -1 cm 高さ+2 cm, -1 cm 長さ+2 cm, -1 cm 壁厚±1 cm	様式・出来形 4-18 参照 L型ブロック セルラーブロック ブロック(方塊)
1 cm	管理表を作成し提出		様式・出来形 4-18 参照 セルラーブロック ブロック(方塊)
	観察結果を報告		
	観察結果を報告		
1 cm	管理表を作成し提出	±5 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	L型ブロック セルラーブロック5 cm以下 直立消波ブロック ブロック(方塊)3 cm以下	
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	測定表を作成し提出	天端幅10m以下の場合 は±2 cm 天端幅10mを超える場合 は+5 cm, -2 cm	様式・出来形 4-21 参照 天端高さ又は厚さの管理項目の選定は設計図書による。
1 cm	測定表を作成し提出	天端幅10m以下の場合 は±3 cm 天端幅10mを超える場合 は+5 cm, -3 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -0	
1 cm	測定表を作成し提出	±5 cm 注)又は設計図書による。	
1 cm	測定表を作成し提出	±2 cm	天端高又は厚さの管理項目の選定は設計図書による。
1 cm	測定表を作成し提出	±2 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -0	
1 cm	測定表を作成し提出	±3 cm	
1 cm	測定表を作成し提出		

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度
4 港湾工事共通編	3 一般施工	10 本体工(捨石・捨ブロック式)	4 捨ブロック工	1	捨ブロック製作	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数
						対角線	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数
						型枠形状寸法(異形ブロック)	観 察	型枠搬入後適宜
						ブロック外観(異形ブロック)	観 察	10個に1個以上測定
			2	捨ブロック据付	法線に対する出入	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所(最下段、最上段)	
					隣接ブロックとの間隔	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所(最下段、最上段)	
					延 長	スチールテープ等により測定	据付完了後、法線上(最上段のみ)	
					天端高	レベル等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所(最上段のみ)	
			5 場所打コンクリート工	場所打コンクリート工	天端高	レベル等により測定	天端面は1スパン4箇所以上 パラペット頂部は1スパン2箇所以上	
					天端幅	スチールテープ等により測定	1スパン3箇所	
					延 長	スチールテープ等により測定	法線上	
					法線に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	1スパン2箇所	

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	管理表を作成し提出	幅 +2 cm, -1 cm 高さ+2 cm, -1 cm 長さ+2 cm, -1 cm 壁厚±1 cm	様式・出来形 4-18 参照 ブロック(方塊)
1 cm	管理表を作成し提出		
	観察結果を報告		
	観察結果を報告		
1 cm	管理表を作成し提出	±5 cm	
1 cm	管理表を作成し提出	ブロック(方塊) 3 cm以下	
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	測定表を作成し提出	天端幅 10m以下の場合 は±2 cm 天端幅 10mを超える場合 は+5 cm, -2 cm	様式・出来形 4-21 参照 天端高さの管理項目の選定 は設計図書による。
1 cm	測定表を作成し提出	天端幅 10m以下の場合 は±3 cm 天端幅 10mを超える場合 は+5 cm, -3 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -0	
1 cm	測定表を作成し提出	±5 cm 注) 又は設計図書による。	

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度	
4 港湾 工事 共通 編	3 一般 施工	12 本体 工 (コン クリ ート 矢板 工)	2 コン クリ ート 矢板 工	1	コン クリ ート 矢 板	矢板壁延長	スチールテープ等により測定 (天端付近)	施工中適宜 打込完了時	
						矢板法線に対する出入り	トランシット、スチールテープ等により測定	打込完了時、20 枚に1枚 及び計画法線の変化点	
						矢板法線に対する傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、20 枚に1枚 及び計画法線の変化点	
						矢板法線方向の傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	施工中適宜打込完了時 (両端部)	
						矢板天端高	レベルにより測定	打込完了時、20 枚に1枚	
						矢板継手部の離脱	観察(水中部は潜水士)	全 数	
	15 被覆 ・ 根固 工	2 被覆 石工	1	2	被覆石(均しを行わない面)	天端面	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線及び測点間隔は10 m以下	
						被覆石均し	天端面	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線及び測点間隔は10 m以下
							法 面	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線間隔は10m以下、 測点3点以上但し、マ ウンド厚2m以下の場合 は2点以上
							天端幅	スチールテープ、間縄 等により測定	測線間隔は10m以下
						延 長	スチールテープ、間縄 等により測定	天端中心上又は監督員 の指示による	
						4 被覆 ブロッ ク工	1	被覆ブロック 製作	型枠形状寸法 (異形ブロック)
		ブロック外観 (異形ブロック)	観察	10 個に1 個以上測定					
		2	被覆ブロック 据付	延 長	スチールテープ等により 測定		据付完了後、法線上 (最上段のみ)		

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	管理表を作成し提出	+矢板1枚幅 -0	
1 cm	管理表を作成し提出	設計図書による。	全数を目視で確認
1/1000	管理表を作成し提出	設計図書による。	
1 cm 1/1000	管理表を作成し提出	上下の差が矢板1枚幅未満 2/100 以下	
1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	全数を目視で確認
	観察結果を報告		
10 cm	出来形図を作成し提出	設計図書による。	様式・出来形 4-19 参照
10 cm	出来形図を作成し提出	±50 cm 岸壁前面+0, -20 cm又は設計図書による。	
10 cm	出来形図を作成し提出	±50 cm (法面に直角) 異形ブロック据付面(整積) の高さ(法面に直角)±30 cm 又は設計図書による。	
10 cm	出来形図を作成し提出	+規定しない -20 cm	
10 cm	出来形図を作成し提出	+規定しない -20 cm	
	観察結果を報告		
	観察結果を報告		
10cm	管理表を作成し提出		

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度
4 港湾 工事 共通 編	3 一般 施工	15 被覆・ 根固工	5 根固 ブロック 工	1	根固ブロック 製作	幅、高さ、長さ、 壁厚	スチールテープ等により 測定	型枠取外し後全数
						対角線	スチールテープ等により 測定	型枠取外し後全数
	16 上部 工	2 上部 コンクリ ート工	1 上部 コンクリ ート工	防波堤	天端高又は厚 さ	レベル等により測定	天端面は1スパン4箇 所以上 パラベット頂部は1ス パン2箇所以上	
					天端幅	スチールテープ等により 測定	1スパン3箇所	
					延 長	スチールテープ等により 測定	法線上	
					法線に対する 出入	トランシット、スチー ルテープ等により測定	1スパン2箇所	
				岸 壁	天端高又は厚 さ	レベル、スチールテー プ等により測定	1スパン3箇所	
					天端幅	スチールテープ等により 測定	1スパン3箇所	
					延 長	スチールテープ等により 測定	法線上	
					法線に対する 出入	トランシット、スチー ルテープ等により測定	1スパン2箇所	
					防舷材ベッド	スチールテープ等により 測定	スパン毎	
					3 上部 ブロック 工	1	上部ブロック 製作	幅、高さ、長さ、 壁厚
	対角線	スチールテープ等により 測定	型枠取外し後全数					

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	管理表を作成し提出	幅 +2 cm, -1 cm 高さ+2 cm, -1 cm 長さ+2 cm, -1 cm 壁厚±1 cm	様式・出来形 4-20 参照
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	測定表を作成し提出	天端幅 10m以下の場合 は ±2 cm 天端幅 10mを超える 場合は +5 cm, -2 cm	様式・出来形 4-21 参照 天端高さ又は厚さの管理 項目の選定は設計図書による。 注) 本体がケーソンの場合 ケーソン質量
1 cm	測定表を作成し提出	天端幅 10m以下の場合 は ±3 cm 天端幅 10mを超える 場合は +5 cm, -3 cm	2,000t 未満±20 cm 2,000t 以上±30 cm
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -0	
1 cm	測定表を作成し提出	±5 cm 注) 又は設計図書による。	
1 cm	測定表を作成し提出	±2 cm	天端高又は厚さの管理項目 の選定は設計図書による。
1 cm	測定表を作成し提出	±2 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -0	
1 cm	測定表を作成し提出	±3 cm	
1 cm	測定表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出	幅 +2 cm, -1 cm 高さ+2 cm, -1 cm 長さ+2 cm, -1 cm 壁厚±1 cm	
1 cm	管理表を作成し提出		

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度			
4	港湾工事共通編	3 一般施工	17 付属工	2 係船柱工	係船柱	天端高	レベルにより測定	据付完了時、中心部、全数			
						岸壁前面に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	据付完了時、全数			
						中心間隔	スチールテープ等により測定	据付完了時、各スパン毎中心部、各基			
						直柱基礎コンクリート（幅）	スチールテープ等により測定	完了時、全数、天端両端			
						（長さ）	スチールテープ等により測定	完了時、全数、前後面			
						（高さ）	レベルにより測定	完了時、全数、中心点			
			3 防舷材工	1	防舷材	取付高さ	レベル又はスチールテープ等により測定	取付完了時、中心部、全数			
						中心間隔	スチールテープ等により測定	取付完了時、中心部、全数			
						4 車止・縁金物工	1	車止・縁金物工	天端高	レベルにより測定	取付完了時、中心部、全数
									岸壁前面に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	取付完了後中心部を1点
		4 車止・縁金物工	1	車止・縁金物工	取付間隔	スチールテープ等により測定	上部工1スパンに2箇所				
					塗 装	目視による観察					
					警戒色（シマ模様）	スチールテープ等により測定	完了時適宜				
		6 付属設備工	1	係船環	取付位置	スチールテープ等により測定	取付完了時、中心部、全数				
					18 消波工	3 消波ブロック工	1	消波ブロック製作	型枠形状寸法（異形ブロック）	観 察	型枠搬入後適宜
									ブロック外観（異形ブロック）	観 察	10個に1個以上
					18 消波工	3 消波ブロック工	2	消波ブロック据付	延 長	スチールテープ等により測定	据付完了後、法線上（最上段のみ）

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 cm	管理表を作成し提出	曲柱±2 cm 直柱±2 cm	様式・出来形 4-22 参照
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出		様式・出来形 4-23 参照
1 cm	管理表を作成し提出		
1 cm	管理表を作成し提出		様式・出来形 4-24 参照
1 cm	管理表を作成し提出	±3 cm	
1 cm	管理表を作成し提出		
	観察結果を報告		
	確認結果を報告		
1 cm	管理表を作成し提出		
	観察結果を報告		
	観察結果を報告		
10 cm	管理表を作成し提出		

編 章 節 条 枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度			
4 港湾工事共通編	3 一般施工	19 裏込工	2 裏込工	1 裏込材 (均しを行わない面)	天端高	レベル、レッドにより測定	測線及び測点間隔は10m以下
					法 面	レベル、レッドにより測定	測点は3点以上
					天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は10m以下
					延 長	スチールテープ、間縄等により測定	天端中心上又は監督員の指示による
		3 裏込均し	天端面	レベル、レッドにより測定	測線及び測点間隔は10m以下		
				法 面	レベル、レッドにより測定	測点は3点以上	
				天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は10m以下	
				延 長	スチールテープ、間縄等により測定	天端中心上又は監督員の指示による	
		4 吸出し防止材	敷設位置	スチールテープ、間縄等により測定	始、終端及び変化する箇所毎並びに20mに1箇所		
				重ね幅	スチールテープ等により測定	1枚に2点	
				延 長	スチールテープ、間縄等により測定	マットの中心を区間毎及び全長	
		3 裏埋工	1 裏埋材	地盤高 (陸上部)	レベル等により測定	測線間隔20m以下 測点間隔20m以下	
	(水中部)			レベル、レッド及び音響測深機等により測定	測線間隔20m以下 測点間隔20m以下		
	4 裏埋土工	1 土砂掘削 2 土砂盛土	地盤高	レベル等により測定	法肩、法尻及び中心を延長20mに1箇所以上		
			幅	スチールテープ等により測定	延長20mに1箇所以上		
			法 長	スチールテープ等により測定	延長20mに1箇所以上		
			延 長	スチールテープ等により測定	両端及び中心		
	21 土工	4 路床盛土工	路床盛土	高 さ	レベル等により測定	舗装は中心及び両端部の3点を延長20mに1箇所、道路舗装は中心及び両端部の3点を延長40mに1箇所	
				幅	スチールテープ等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所	
				延 長	スチールテープ等により測定	両端2箇所	

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
陸上 1 cm 水中 10 cm	出来形図を作成し提出	設計図書による。	
10 cm	出来形図を作成し提出	設計図書による。	
10 cm	出来形図を作成し提出	設計図書による。	
10 cm	出来形図を作成し提出	設計図書による。	
陸上 1 cm 水中 10 cm	出来形図を作成し提出	±20 cm	
10 cm	出来形図を作成し提出	±20 cm (法面に直角)	マット等を使用する場合を含む。
10 cm	出来形図を作成し提出	+規定しない -10 cm	
10 cm	出来形図を作成し提出	+規定しない -10 cm	
10 cm	測定表及び敷設図を作成し提出	設計図書による。	様式・出来形 4-4 参照 アスファルトマット、繊維系マット、ゴムマット、合成樹脂系マット
1 cm	測定表及び敷設図を作成し提出	50 cm以上(アスファルトマット、繊維系マット、ゴムマット) 30 cm以上(合成樹脂系マット)	
10 cm	測定表及び敷設図を作成し提出	+規定しない -10 cm	
1 cm	平面図に実測値を記入し提出	設計図書による。	変化点は測定する。
10 cm	平面図に実測値を記入し提出	設計図書による。	変化点は測定する。
1 cm	測定表を作成し提出	設計図書による。	様式・出来形 4-25 参照
10 cm	測定表を作成し提出	設計図書による。	
10 cm	測定表を作成し提出	設計図書による。	
10 cm	測定表を作成し提出	設計図書による。	
1 cm	測定表を作成し提出	±5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -10 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない -0	

2

編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度				
4	港湾工事共通編	3	23	2	維持塗装工	1	係船柱塗装	塗装箇所	目視（承諾された図面より確認）	塗装完了後、全数		
						2	鋼 製	塗装箇所	目視（承諾された図面より確認）	塗装完了後、全数		
							その他	塗装箇所	目視（承諾された図面より確認）	塗装完了後、全数		
		24	構造物撤去工	2	取壊し工	1	コンクリート取壊し	幅、高さ、延長	トランシット、スチールテープ等により測定	設計図書による。		
								外 観	目視又は潜水土による観察	設計図書による。		
						1	水中コンクリート撤去	幅、高さ、延長	トランシット、スチールテープ等により測定	設計図書による。		
								外 観	潜水土による観察	設計図書による。		
						2	鋼矢板等切断撤去	幅、高さ、延長	スチールテープ等により測定	設計図書による。		
								外 観	目視又は潜水土による観察	設計図書による。		
						3	腹起・タイ材撤去	形状寸法	スチールテープ等により測定	設計図書による。		
								外 観	目視又は潜水土による観察	設計図書による。		
						4	舗装版撤去	幅、高さ、延長	トランシット、スチールテープ等により測定	設計図書による。		
								外 観	目視による観察	設計図書による。		
						5	石材撤去	幅、高さ、延長	トランシット、スチールテープ等により測定	設計図書による。		
								外 観	目視又は潜水土による観察	設計図書による。		
				6	ケーソン撤去	形状寸法	スチールテープ等により測定	設計図書による。				
						外 観	目視又は潜水土による観察	設計図書による。				
				7	ブロック撤去	形状寸法	スチールテープ等により測定	設計図書による。				
						外 観	目視又は潜水土による観察	設計図書による。				
				8	鋼矢板・H形鋼杭引抜き撤去	形状寸法	スチールテープ等により測定	設計図書による。				
						外 観	目視又は潜水土による観察	設計図書による。				
				25	仮設工	2	仮設鋼矢板工	1	仮設鋼矢板・H形鋼杭	矢板天端高	レベル等により測定	打込完了時、20枚に1枚（H形鋼杭は全数）
										根入長	レベル等により測定	打込完了時、20枚に1枚（H形鋼杭は全数）

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
	確認結果を提出	設計図書による。	
	確認結果を提出	設計図書による。	
	確認結果を提出	設計図書による。	
設計図書による。	管理表を作成し提出	設計図書による。	
	観察結果を報告	設計図書による。	
設計図書による。	管理表を作成し提出	設計図書による。	
	観察結果を報告		
1cm	測定表を作成し提出	設計図書による。	
	観察結果を報告		
設計図書による。	測定表を作成し提出	設計図書による。	
	観察結果を報告		
設計図書による。	管理表を作成し提出	設計図書による。	
	観察結果を報告		
設計図書による。	管理表を作成し提出	設計図書による。	
	観察結果を報告		
1cm	測定表を作成し提出	設計図書による。	
	観察結果を報告		
1cm	管理表を作成し提出	±10 cm	
10cm	管理表を作成し提出	+規定しない -0	

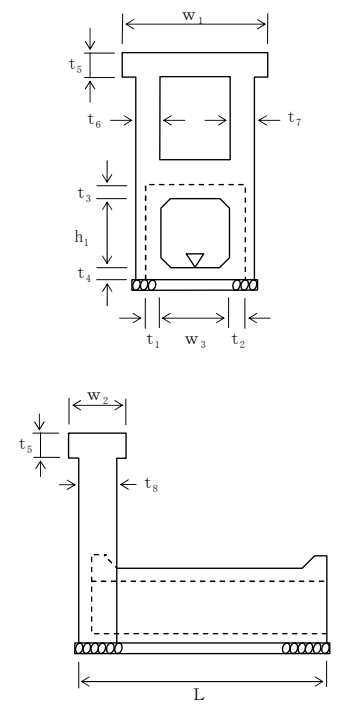
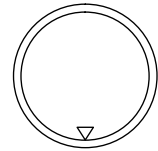
編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度	
4 港湾工事共通編	3 一般施工	26 雑 工	2 現場鋼材溶接工	1	現場鋼材溶接	形状寸法 (のど厚、脚長、溶接長等)	スチールテープ、ノギス、溶接ゲージ等により測定	適 宜	
						ひずみ	目視による観察	全 数	
						有害な欠陥の有無	目視による観察	適 宜	
				2	被覆溶接 (水中)	形状寸法 (のど厚、脚長、溶接長等)	スチールテープ、ノギス、溶接ゲージ等により測定	適 宜	
						外 観	潜水士による観察	全 数	
		3 現場鋼材切断工	1 現場鋼材切断	陸上現場切断	形状寸法	スチールテープ等により測定	全 数		
					外 観	目視による観察	全 数		
				水中切断	形状寸法	スチールテープ等により測定	全 数		
					外 観	目視又は潜水士による観察	全 数		
				4 その他雑工	1	清 掃	幅、長さ、延長	スチールテープ等により測定	全 数
							外 観	目視又は潜水士による観察	全 数
		削 孔	形状寸法			スチールテープ等により測定	全 数		
			外 観			目視又は潜水士による観察	全 数		

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 mm	測定表を作成し提出	設計図書による。	様式・出来形 4-26 参照
	観察結果を報告		
	観察結果を報告		
1 mm 溶接長は 1 cm	測定表を作成し提出	設計図書による。	
	観察結果を報告		
1 mm	測定表を作成し提出	設計図書による。	
	観察結果を報告		
1 mm	測定表を作成し提出	設計図書による。	
	観察結果を報告		
1 mm	測定表を作成し提出	設計図書による。	
	観察結果を報告		

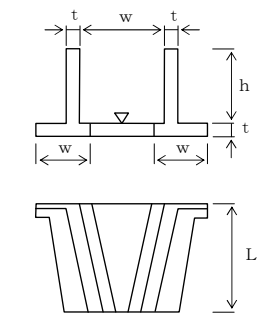
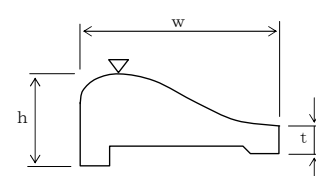
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
6	河川編	1	7	法	護岸付属物工	幅 w	-30	
						高さ h	-30	
			10	8		杭出し水制工	基準高 ∇	± 50
							幅 w	± 300
							方向	$\pm 7^\circ$
							延長 L	-200
			13	3		配管工	埋設深 t	0~+50
							延長 L	-200
				4		ハンドホール工	基準高 ∇	± 30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20	
						※幅 w_1, w_2	-30	
						※高さ h_1, h_2	-30	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
各格子間の中央部1箇所を測定。		
1組毎		
接続部（地上機器部）間毎に1箇所。		
接続部（地上機器部）間毎で全数。 【管路センターで測定】		
1箇所毎 ※は現場打場所のある場合		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
6	河川編	3 樋門・ 樋管	5 樋門・ 樋管本 体工	6	1	函渠工 (本 体工)	基 準 高 ∇	±30
							厚 さ $t_1 \sim t_8$	-20
							幅 w_1, w_2	-30
							内 空 幅 w_3	-30
							内 空 高 h_1	±30
							延 長 L	-200
		2	2	函渠工 (ヒューム管) (P C管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	基 準 高 ∇	±30		
					延 長 L	-200		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>柔構造樋門の場合は埋戻前(載荷前)に測定する。</p> <p>函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所にて測定。</p> <p>門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇所にて測定。</p> <p>プレキャスト製品使用の場合は、製品寸法を規格証明書で確認するものとし、『基準高』と『延長』を測定。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値					
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	7 8		翼壁工 水叩工	基 準 高 ∇	±30					
						厚 さ t	-20					
						幅 w	-30					
						高 さ h	±30					
						延 長 L	-50					
	4 水門	6 水門 本体工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	基 準 高 ∇	±30					
						厚 さ t	-20					
						幅 w	-30					
						高 さ h	±30					
						延 長 L	-50					
	5 堰	6 可動堰 本体工	13 14		閘門工 土砂吐工	基 準 高 ∇	±30					
						厚 さ t	-20					
						幅 w	-30					
						高 さ h	±30					
延 長 L						-50						
7 固定堰 本体工		8 9 10			堰本体工 水叩工 土砂吐工	基 準 高 ∇	±30					
						厚 さ t	-20					
						幅 w	-30					
						高 さ h	±30					
						堰長 L	L < 20m	-50				
							L ≥ 20m	-100				

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の寸法表示箇所にて測定。		
図面の寸法表示箇所にて測定。		
基準高、幅、高さ、厚さは両端、施工継手箇所及び構造図の寸法表示箇所にて測定。		

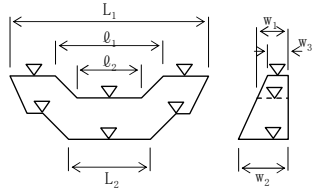
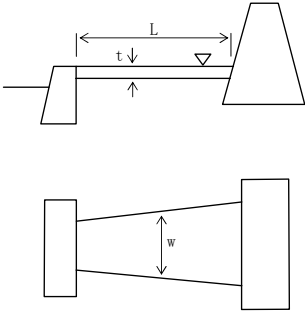
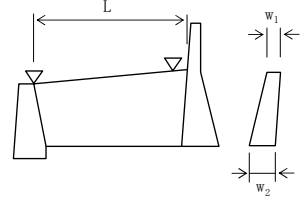
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
6	5	8	3		魚道本體工	基 準 高 ∇	±30	
						厚 さ t_1, t_2	-20	
						幅 w	-30	
						高 さ h_1, h_2	-30	
						延 長 L	-200	
	9	管理橋下部工	2			管理橋橋台工	基 準 高 ∇	±20
							厚 さ t	-20
							天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	-10
							天 端 幅 w_2 (橋軸方向)	-10
							敷 幅 w_3 (橋軸方向)	-50
							高 さ h_1	-50
							胸壁の高さ h_2	-30
							天 端 長 l_1	-50
							敷 長 l_2	-50
胸壁間距離 l	±30							
支 点 長 及 び 中心線の変化	±50							

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は図面の寸法表示箇所にて測定。</p>		

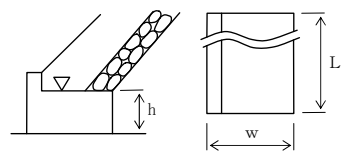
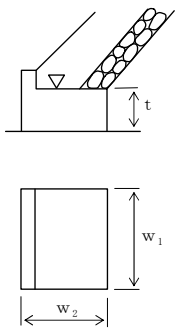
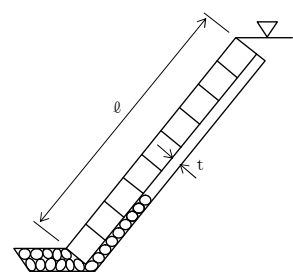
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 河川編	6 排水機場	4 機場本 体工	6		本体工	基 準 高 ∇	±30
						厚 さ t	-20
						幅 w	-30
						高 さ h_1, h_2	±30
						延 長 L	-50
			7		燃料貯油槽工	基 準 高 ∇	±30
			厚 さ t	-20			
	幅 w	-30					
	高 さ h	±30					
	延 長 L	-50					
	7		コンクリート床版工	基 準 高 ∇	±30		
	厚 さ t	-20					
	幅 w	-30					
	高 さ h	±30					
	延 長 L	-50					

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の表示箇所にて測定。		
図面の表示箇所にて測定。		
図面の表示箇所にて測定。		

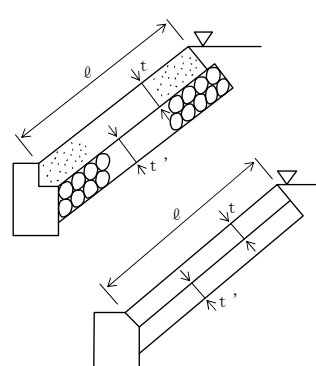
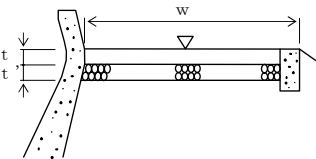
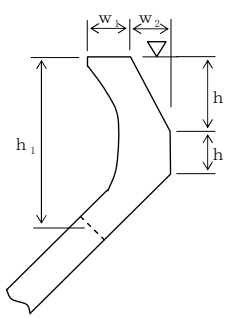
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	6		本体工 (床固め本体工)	基 準 高 ∇	±30
						天端幅 w_1, w_3	-30
						堤 幅 w_2	-30
						堤 長 L_1, L_2	-100
						水通し幅 ℓ_1, ℓ_2	±50
		8	水叩工	基 準 高 ∇	±30		
				厚 さ t	-30		
				幅 w	-100		
				延 長 L	-100		
				5 床固め工	6	側壁工	基 準 高 ∇
	天 端 幅 w_1	-30					
	堤 幅 w_2	-30					
	長 さ L	-100					

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面に表示してある箇所		
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所		
1. 図面の寸法表示箇所		

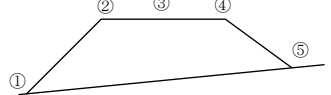
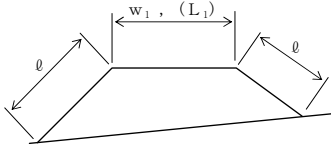
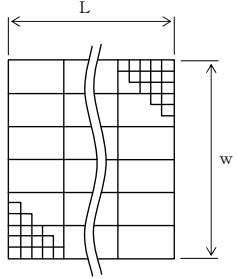
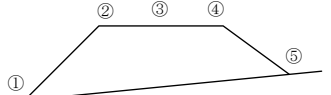
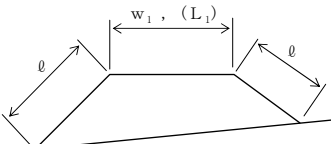
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7	河川 海岸 編	1	堤防・護岸	5	場所打コンクリート工	基 準 高 ∇	±30	
						幅 w	-30	
						高 さ h	-30	
						延 長 L	-200	
				6	海岸コンクリートブロック工	基 準 高 ∇	±50	
						ブロック厚 t	-20	
						ブロック縦幅 w_1 ブロック横幅 w_2	-20 -20	
						延 長 L	-200	
		6	護岸工	4	海岸コンクリートブロック工	基 準 高 ∇	±50	
						法長 ℓ	$\ell < 5\text{ m}$	-100
							$\ell \geq 5\text{ m}$	$\ell \times (-2\%)$
						厚 さ t	-50	
						延 長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、 延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>ブロック個数 40 個につき 1 箇所の割で測定。 基準高、延長は施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、 延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、 延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		

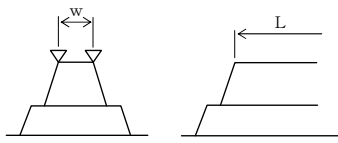
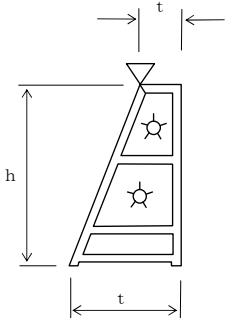
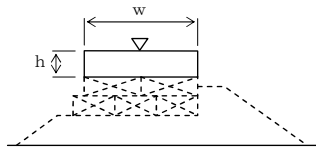
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7	河川 海岸編	1 堤防・護岸	6 護岸工	5	コンクリート被覆工	基準高 ∇	± 50	
						法長 ℓ	$\ell < 3\text{ m}$	-50
							$\ell \geq 3\text{ m}$	-100
						厚さ t	$t < 100$	-20
							$t \geq 100$	-30
						裏込材厚 t'	-50	
						延長 L	-200	
	8 天端被覆工	2	コンクリート被覆工	基準高 ∇	± 50			
				幅 w	-50			
				厚さ t	-10			
				基礎厚 t'	-45			
				延長 L	-200			
	9 波返工	3	波返工	基準高 ∇	± 50			
				幅 w_1, w_2	-30			
高さ $h < 3\text{ m}$ h_1, h_2, h_3				-50				
高さ $h \geq 3\text{ m}$ h_1, h_2, h_3				-100				
延長 L				-200				

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、 延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、 延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、 延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
7	河川海岸編	2	突堤・人工岬	4	突堤基礎工	捨石工	本 均 し	±50	
							表 面 均 し	±100	
							基準 高 ▽ 荒 均 し	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500
								異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300
							被 覆 均 し	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500
								異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300
							法 長 ℓ	-100	
							天 端 幅 w_1	-100	
							天 端 延 長 L_1	-200	
							5	吸出し防止工	幅 w
		延 長 L	-500						
		5	突堤本体工	2	捨石工	基準 高 ▽	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500	
							異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300	
							法 長 ℓ	-100	
天 端 幅 w_1	-100								
天 端 延 長 L_1	-200								

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。</p>		
<p>幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。</p>		
<p>施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。</p>		
<p>施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。</p>		
<p>幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
7	河川 海岸編	2	突堤・人工岬	5	海岸コンクリートブロック工	基準高▽	(層積) ブロック 規格 26 t 未満	±300	
							(層積) ブロック 規格 26 t 以上	±500	
							(乱 積)	±ブロックの 高さの1/2	
						天 端 幅 w	-ブロックの 高さの1/2		
						天 端 延 長 L	-ブロックの 高さの1/2		
					9	石砕工	基 準 高 ▽	±50	
							厚 さ t	-50	
							高 さ h	h < 3 m	-50
								h ≥ 3 m	-100
							延 長 L	-200	
					10	場所打コンクリート工	基 準 高 ▽	±30	
							幅 w	-30	
							高 さ h	-30	
							延 長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、 延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 延長はセンターラインで行う。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、 延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、 延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
7	河川 海岸 編	2	突堤・人工岬	5	突堤本体工	ケーソン工 (ケーソン工製作)	バラストの基準高▽	砕石、砂	±100
								コンクリート	±50
							壁 厚 t_1	±10	
							幅 w	+30, -10	
							高 さ h_1	+30, -10	
							長 さ L	+30, -10	
							底版厚さ t_2	+30, -10	
							フーチング高さ h_2	+30, -10	
						ケーソン工 (ケーソン工据付)	法線に対する出入 1、2	ケーソン重量 2,000 t 未満 ±100	
								ケーソン重量 2,000 t 以上 ±150	
							据付目地間隔 1'、2'	ケーソン重量 2,000 t 未満 100 以下	
								ケーソン重量 2,000 t 以上 200 以下	
						ケーソン工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	基準高▽	陸 上	±30
								水 中	±50
							厚 さ t	±30	
							幅 w	±30	
							長 さ L	±30	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
各室中央部1箇所		
底版完成時、各壁1箇所		
各層完成時に中央部及び底版と天端は両端		
完成時、四隅		
各層完成時に中央部及び底版と天端は両端		
底版完成時、各室中央部1箇所		
底版完成時、四隅		
据付完了後、両端2箇所		
据付完了後、天端2箇所		
1室につき1箇所(中心)		

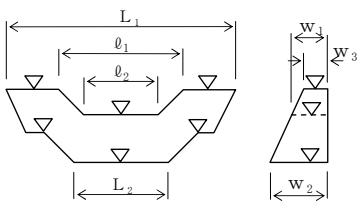
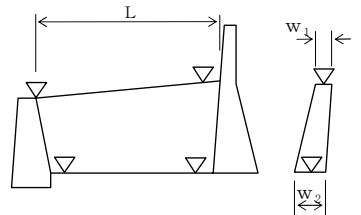
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値			
7	河川 海岸編	2	突堤・人工岬	5	突堤本体工	セルラー工 (セルラー工製作)	壁 厚 t	±10		
							幅 w	+20, -10		
							高 さ h	+20, -10		
							長 さ L	+20, -10		
						セルラー工 (セルラー工据付)	法線に対する 出入 1、2	±50		
							隣接ブロックと の間隔 1'、2'	50 以下		
							セルラー工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	基準高▽	陸 上	±30
									水 中	±50
						厚 さ t		±30		
						幅 w		±30		
							長 さ L	±30		
						6	根固め工	2		
			異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300						
		法 長 ℓ	-100							
		天 端 幅 w	-100							
		天 端 延 長 L	-200							

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
型枠取外し後全数		
据付後ブロック 1 個に 2 箇所 (各段毎)		
1 室につき 1 箇所 (中心)		
施工延長 10m につき、1 測点当たり 5 点以上測定。		
幅は施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、 延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所、 延長はセンターライン及び表裏法肩。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	6 根固め工	3		根固めブロック工	基準 高 ▽	層 積	±300
							乱 積	± t / 2
						厚 さ t		-20
						幅 w ₁ w ₂	層 積	-20
							乱 積	- t / 2
						延長 L ₁ L ₂	層 積	-200
	乱 積	- t / 2						
	3 海域堤防（人工リーフ・離岸堤・潜堤）	3 根固め工	3		捨石工	基準 高 ▽	本 均 し	±50
							荒均し	異形ブロック据付面（乱積）の高さ
						異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ		±300
						被覆均し	異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500
							異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300
法 長 ℓ						-100		
天 端 幅 w ₁		-100						
天 端 延 長 L ₁		-200						

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>幅、厚さは 40 個につき 1 箇所測定。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>幅、厚さは 40 個につき 1 箇所測定。</p>		
<p>施工延長 10m につき、1 測点当たり 5 点以上測定。</p> <p>幅は施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。</p>		

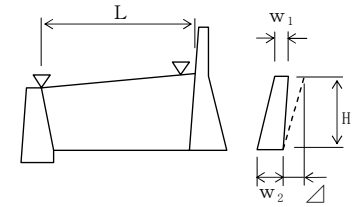
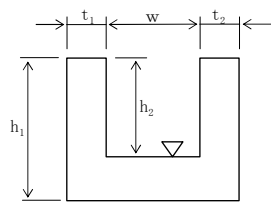
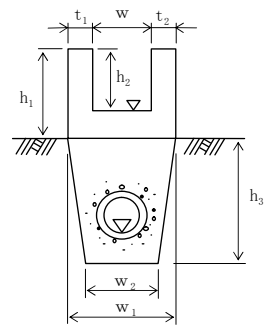
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
8 砂防編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	部 材	部材長 ℓ (m)	$\pm 3 \cdots \cdots \ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \cdots \ell > 10$	
	8 コンクリート堰堤工	4		4		コンクリート堰堤本体工	基 準 高 ∇	± 30	
							天端部 堤 幅	w_1, w_3 w_2	-30
							水通しの幅	ℓ_1, ℓ_2	± 50
							堤 長	L_1, L_2	-100
	6			6		コンクリート側壁工	基 準 高 ∇	± 30	
							幅	w_1, w_2	-30
長 さ							L	-100	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の寸法表示箇所にて測定。		
図面の表示箇所にて測定。		
<p>1. 図面の寸法表示箇所を測定。</p> <p>2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。</p> <p>3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。</p>		

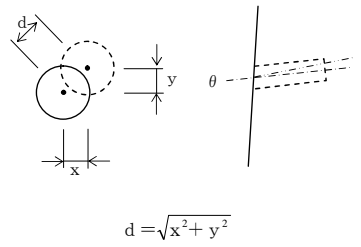
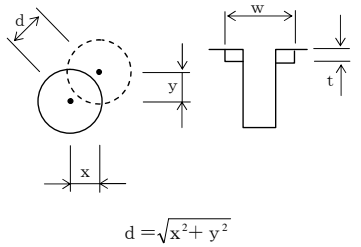
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	8		水叩工	基 準 高 ▽	±30
						幅 w	-100
						厚 さ t	-30
						延 長 L	-100
	9 鋼製堰堤工	5	鋼製堰堤本体工 (不透過型)	水 通 し 部	堤 高 ▽	±50	
					長 さ l_1, l_2	±100	
					幅 w_1, w_3	±50	
					下流側倒れ ∟	±0.02H ₁	
				袖 部	袖 高 ▽	±50	
					幅 w_2	±50	
					下流側倒れ ∟	±0.02H ₂	
		鋼製堰堤本体工 (透過型)	堤長L 格・B	±50			
			堤長 l 格・B・L	±10			
			堤幅W 格	±30			
			堤幅w 格・A・B・L	±10			
			高さH 格・A・B・L	±10			
			高さh 格・B・L	±10			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		
1. 図面の表示箇所にて測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		
	<p>図 a 格子形鋼製砂防ダム 図 b 鋼製スリットダムA型 図 c 鋼製スリットダムB型 図 d 鋼製L型スリットダム</p>	(備考) 格：格子型鋼製砂防ダム A：鋼製スリットダムA型 B：鋼製スリットダムB型 L：鋼製スリットダムL型

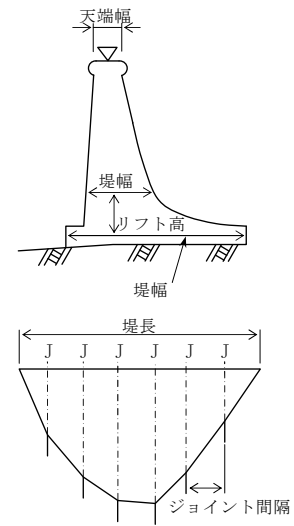
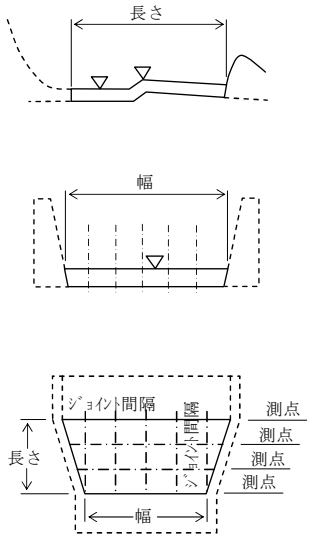
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
8	砂防編	9	6		鋼製側壁工	堤 高 ∇	± 50	
						長 さ L	± 100	
						幅 w_1, w_2	± 50	
						下流側倒れ \sphericalangle	$\pm 0.02H$	
						高さ h	$h < 3\text{ m}$	-50
	$h \geq 3\text{ m}$	-100						
	2	流	5	8		魚道工	基 準 高 ∇	± 30
							幅 w	-30
							高 さ h_1, h_2	-30
							厚 さ t_1, t_2	-20
延 長 L							-200	
3	斜	6	4		山腹明暗渠工	基 準 高 ∇	± 30	
						厚 さ t_1, t_2	-20	
						幅 w	-30	
						幅 w_1, w_2	-50	
						高 さ h_1, h_2	-30	
						深 さ h_3	-30	
						延 長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 図面の表示箇所にて測定する。</p> <p>2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>なお、製品使用の場合は、製品寸法については規格証明書等による。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>なお、製品使用の場合は、製品寸法については規格証明書等による。</p>		

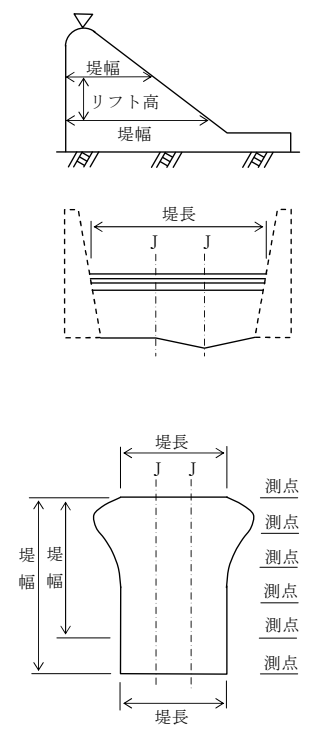
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ ℓ	設計値以上
						配置誤差 d	100
						せん孔方向 θ	± 2.5 度
			5		集水井工	基準高 ∇	± 50
						偏心量 d	150
						長さ L	-100
		巻立て幅 w				-50	
		巻立て厚さ t				-30	
		9 抑止杭工	6		合成杭工	基準高 ∇	± 50
						偏心量 d	D/4 以内 かつ 100 以内

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。		

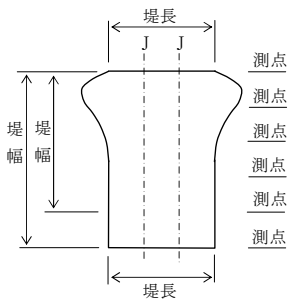
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (本体)	天 端 高 ▽	±20
						天 端 幅	±20
						ジョイント間隔	±30
						リ フ ト 高	±50
						堤 幅	-30, +50
						堤 長	-100
					コンクリートダム工 (水叩)	天 端 高 ▽	±20
						ジョイント間隔	±30
						幅	±40
						長 さ	-100, +60

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 図面の寸法表示箇所にて測定。</p> <p>2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。</p> <p>① 天端高(越流部堤頂高を含む)は、各ジョイントについて測定。</p> <p>② 堤幅、リフト高は、各ジョイントについて5リフトごとに測定。</p> <p>(注)堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。 (堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む)</p> <p>③ ジョイント間隔(横継目)は、5リフトごと上流端、下流端を対象に測定。</p> <p>④ 堤長は、天端中心線延長を測定。</p> <p>3.</p> <p>① 越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、監督員の指示による。</p> <p>② 監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性などの測定方法は監督員の指示による。</p>	 <p>天端幅</p> <p>堤幅</p> <p>リフト高</p> <p>堤幅</p> <p>堤長</p> <p>J J J J J J</p> <p>ジョイント間隔</p> <p>J : ジョイント</p>	
<p>1. 図面の寸法表示箇所にて測定。</p> <p>2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。</p> <p>① 天端高(敷高)、ジョイント間隔は各ジョイント、各測点の交点部を測定。</p> <p>② 長さは、各ジョイントごとに測定。</p> <p>③ 幅は、各測点ごとに測定。</p> <p>3. 水叩の平坦性の測定は監督員の指示による。</p>	 <p>長さ</p> <p>幅</p> <p>長さ</p> <p>幅</p> <p>ジョイント間隔</p> <p>測点</p> <p>測点</p> <p>測点</p>	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (副ダム)	天 端 高 ▽	±20
						ジョイント間隔	±30
						リ フ ト 高	±50
						堤 幅	-30, +50
						堤 長	±40

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。</p> <p>① 天端高は、各ジョイントごとに測定。 ② 堤幅、リフト高は、各ジョイントについて3リフトごとに測定。 (注) 堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む) ③ ジョイント間隔は、3リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 ④ 堤長は、各測点ごとに測定。</p>	 <p>図面には、天端高、リフト高、堤幅、堤長の測定箇所を示す。また、ジョイント間隔の測定箇所も示されている。測点の位置も示されている。</p>	

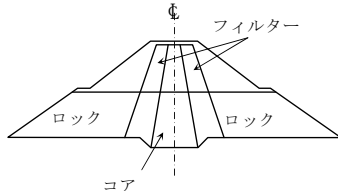
J : ジョイント

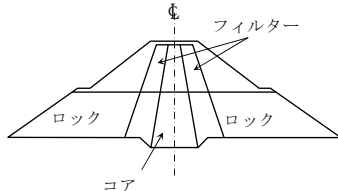


編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (導流壁)	天 端 高 ▽	±30
						ジョイント間隔	±20
						リ フ ト 高	±50
						長 さ	±100
						厚 さ	±20

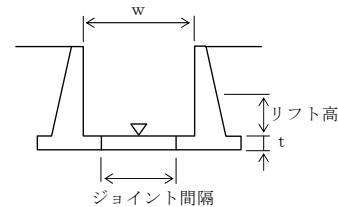
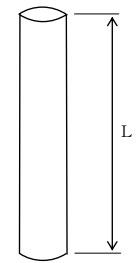
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。</p> <p>① 天端高、天端幅は、各測点、又はジョイントごとに測定。 ② リフト高、厚さは、各測点、又はジョイントについて3リフトごとに測定。 (注) リフト高、厚さの測定は、前面、背面型枠設置後からとする。 なお、リフト高、厚さの測定箇所は、前面背面型枠と水平打継目の接触部とする。 ③ 長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。</p>	<p>J : ジョイント</p>	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
9 ダム 編	2 フィル ダム	3 盛立 工	5		コアの盛立	基 準 高 ▽	設計値以上
						外 側 境 界 線	-0, +500
			6		フィルター の盛立	基 準 高 ▽	-0
						外 側 境 界 線	-0, +1000
						盛 立 幅	-0, +1000
			7		ロック の盛立	基 準 高 ▽	-100
						外 側 境 界 線	-0, +2000

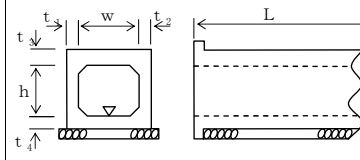
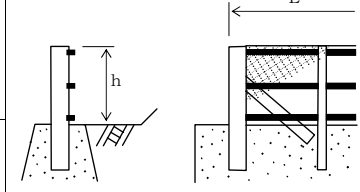
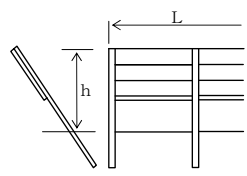
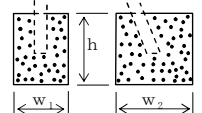
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
各測点について5層毎に測定。 ※外側境界線は標準機種(タンピングローラ)の場合。		
各測点について5層毎に測定。		
各測点について盛立5m毎に測定。		



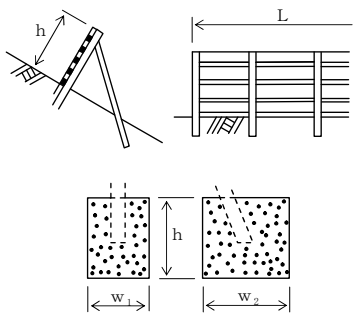
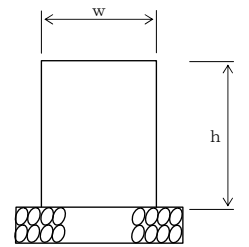
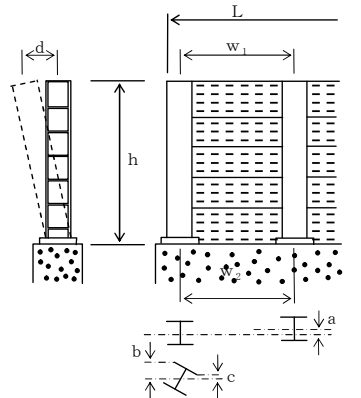
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
9 ダム編	2 フィルダム				フィルダム (洪水吐)	基 準 高 ∇	±20
						ジョイント間隔	±30
						厚 さ t	±20
						幅 w	±40
						リフト高さ	±20
						長 さ L	±100
3 基礎 グラウチング	3 ボー リング工				ボーリング工	深 度 L	設計値以上
						配 置 誤 差	100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 1回/1施工箇所		
ボーリング工毎 ※配置位置の規定はコンクリート面で行うカーテングラウトに適用する。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
10 道路編	1 道路改良	3 工場製作工	2		遮音壁支柱製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$
		9 カルバート工	6			場所打函渠工	基準高 ∇	± 30
							厚さ $t_1 \sim t_4$	-20
							幅 (内法) w	-30
							高さ h	± 30
	延長 L						$L < 20m$ $L \geq 20m$	-50 -100
	11 落石雪害防止工	4			落石防止網工	幅 w	-200	
						延長 L	-200	
		5			落石防護柵工	高さ h	± 30	
						延長 L	-200	
		6				防雪柵工	高さ h	± 30
							延長 L	-200
	基礎						幅 w_1, w_2	-30
							高さ h	-30

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の寸法表示箇所にて測定。		
両端、施工継手及び図面の寸法表示箇所にて測定。		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、施工延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎。		
基礎 1 基毎。		

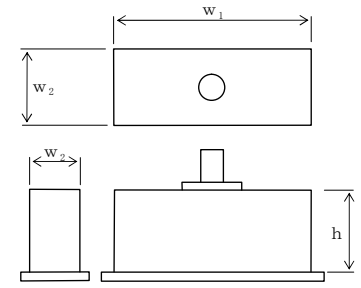
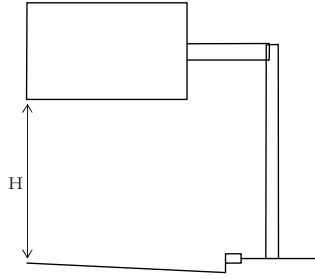
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
10 道路編	1 道路改良	11 落石雪害防止工	7		雪崩予防柵工	高 さ h	±30	
						延 長 L	-200	
						基 礎	幅 w ₁ , w ₂	-30
							高 さ h	-30
						ア ン カ ー 長 ℓ	打 込 み ℓ	-10%
							埋 込 み ℓ	-5%
						12 遮音壁工	4	
	高 さ h	-30						
	延 長 L	-200						
	5			遮音壁本体工	間隔 w ₁ , w ₂		±15	
					支 柱		ず れ a	10
	ねじれ b-c	5						
倒 れ d	$h \times 0.5\%$							
高 さ h	+30, -20							
	延 長 L	-200						

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1 施工箇所毎。 基礎 1 基毎。 全数。		
施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1 施工箇所毎。		
施工延長5スパンにつき1箇所 1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値の平均 (X ₁₀)
							中規模以上	小規模以下	中規模以上
10 道 路 編	2 舗 装	4 舗 装 工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	基準高▽	±50		—
						厚 さ	t < 15 cm	-30	-10
							t ≥ 15 cm	-45	-15
						幅	-100		—
					歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	厚 さ	-9	-3	
						幅	-25	—	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高は、片側延長 40m 毎に 1 箇所 の割で測定。 厚さは、片側延長 200m 毎に 1 箇所を 掘り起こして測定。 幅は、片側延長 80m 毎に 1 箇所測定。 ※両端部 2 点で測定する。</p>	<p>工事規模の考え方 中規模とは、1 層あたりの施工面積 が 2,000 m²以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱ア スファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が 2,000 m² 未満。 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個 以上の割合で規格値を満足しなけれ ばならないとともに、10 個の測定値 の平均値 (X₁₀) について満足しな ければならない。ただし、厚さのデ ータ数が 10 個未満の場合は測定値 の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等 に損傷を与える恐れのある場合は、 他の方法によることが出来る。</p>	
<p>幅は、片側延長 80m 毎に 1 箇所 の割で測定。 厚さは、片側延長 200m 毎に 1 箇所 コアを採取して測定。</p>		

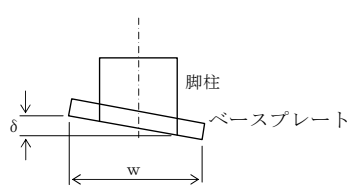
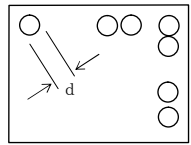
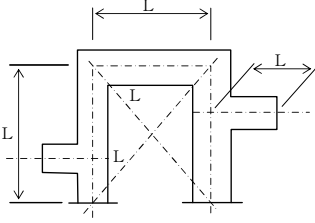
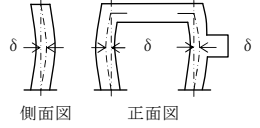
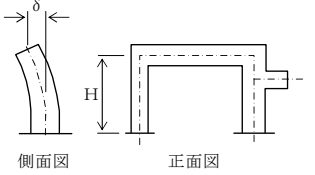
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
10 道 路 編	2 舗 装	5 排 水 構 造 物 工	9		排水性舗装用路肩排水工	基 準 高 ∇	± 30	
						延 長 L	-200	
	7 踏 掛 版 工	4	4		踏掛版工 (コンクリート工)	基 準 高	± 20	
						各 部 の 厚 さ	± 20	
						各 部 の 長 さ	± 30	
						(ラバーシュー)	各 部 の 長 さ	± 20
						厚 さ	—	
						(アンカーボルト)	中 心 の ず れ	± 20
		ア ン カ ー 長	± 20					
	9 標 識 工	4	4		大型標識工 (標識基礎工)	幅 w_1, w_2	-30	
						高 さ h	-30	
					大型標識工 (標識柱工)	設置高さ H	設計値以上	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
1箇所/1施工箇所。		
1箇所/1踏掛版。		
1箇所/1踏掛版。		
1箇所/1踏掛版。		
全数		
全数		
全数		
基礎1基毎		
1箇所/1基		

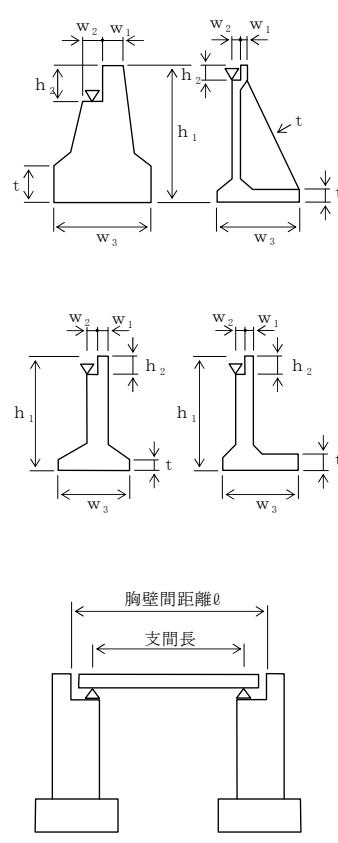
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
10	2	12	5		ケーブル配管工	埋 設 深 t	0～+50		
						延 長 L	-200		
					ケーブル配管工 (ハンドホール)	基 準 高 ∇	±30		
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20		
						※幅 w_1, w_2	-30		
						※高さ h_1, h_2	-30		
					6		照明工 (照明基礎工)	幅 w	-30
								高 さ h	-30

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
接続部間毎に1箇所 接続部間毎で全数	<p>接続部 (地上機器部) 接続部 (地上機器部)</p>	
1箇所毎 ※は、現場打部分のある場合		
1箇所 / 1施工箇所		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
10 道路編	3 橋梁下部	3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	部 材	脚柱とベース プレートの鉛直度 δ (mm)	$w/500$	
							ベース プレート	孔の位置	± 2
								孔の径 d	0 ~ 5
						仮 組 立 時	柱の中心間隔、 対角長 L (m)	$\pm 5 \dots L \leq 10m$ $\pm 10 \dots$ $10 < L \leq 20m$ $\pm (10 + (L - 20) / 10) \dots 20m < L$	
							はりのキャンバー 及び柱の曲がり δ (mm)	$L / 1,000$	
							柱の鉛直度 δ (mm)	$10 \dots H \leq 10$ $H \dots H > 10$	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
各脚柱、ベースプレートを測定		
全数を測定。		
全数を測定。		
両端部及び片持ばり部を測定。		
各主構の各格点を測定。		
各柱及び片持ばり部を測定。 H：高さ (m)		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
10 道路編	3 橋梁下部	6 橋台工	8		橋台躯体工	基 準 高 ∇	± 20	
						厚 さ t	-20	
						天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	-10	
						天 端 幅 w_2 (橋軸方向)	-10	
						敷 幅 w_3 (橋軸方向)	-50	
						高 さ h_1	-50	
						胸壁の高さ h_2	-30	
						天 端 長 l_1	-50	
						敷 長 l_2	-50	
						胸壁間距離 l	± 30	
						支間長及び 中心線の変位	± 50	
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計 画 高	$+10 \sim -20$
							平 面 位 置	± 20
							ア ン カ ー ボ ル ト 孔 の 鉛 直 度	$1/50$ 以下

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。		

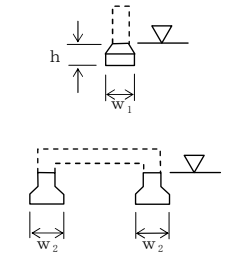
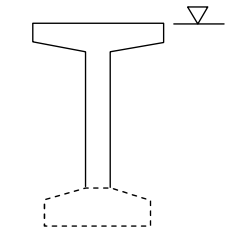
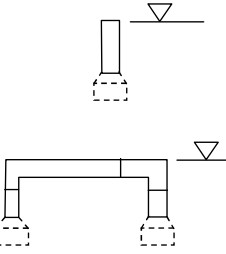
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9		橋脚躯体工 (張出式)	基 準 高 ∇	± 20	
						厚 さ t	-20	
						天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	-20	
						敷 幅 w_2 (橋軸方向)	-50	
						高 さ h	-50	
						天 端 長 l_1	-50	
						敷 長 l_2	-50	
						橋脚中心間距離 l	± 30	
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50	
						アンカーボルトの箱抜き規格値	計 画 高	$+10 \sim -20$
							平面位置	± 20
							アンカーボルト 孔の鉛直度	$1/50$ 以下

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支 承便覧」による。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC 橋脚工	9		橋脚躯体工 (ラーメン式)	基 準 高 ∇	± 20
						厚 さ t	-20
						天 端 幅 w_1	-20
						敷 幅 w_2	-20
						高 さ h	-50
						長 さ ℓ	-20
						橋脚中心間距離 ℓ	± 30
						支間長及び 中心線の変位	± 50
	8 鋼製 橋脚工	9			橋脚フーチング工 (I型・T型)	基 準 高 ∇	± 20
						幅 w (橋軸方向)	-50
						高 さ h	-50
						長 さ ℓ	-50

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支 承便覧」による。		
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。	<p>0</p>	

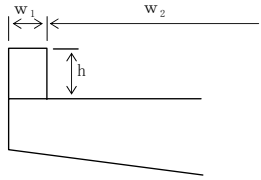
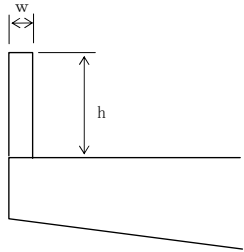
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9		橋脚フーチング工 (門型)	基 準 高 ∇	±20
						幅 w_1, w_2	-50
						高 さ h	-50
			10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	基 準 高 ∇	±20
						橋脚中心間距離 ℓ	±30
						支間長及び 中心線の変位	±50
				2	橋脚架設工 (門型)	基 準 高 ∇	±20
						橋脚中心間距離 ℓ	±30
						支間長及び 中心線の変位	±50
11	現場継手工	現場継手部のすき間 δ_1, δ_2 (mm)	5 ※±5				
10 道路編	4 橋梁上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	部 材	部材長 ℓ (m) ±3…… $\ell \leq 10$ ±4…… $\ell > 10$

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。		
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。		
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。		
主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 ※は耐候性鋼材（裸使用）の場合		
図面の寸法表示箇所で測定。		

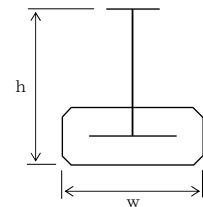
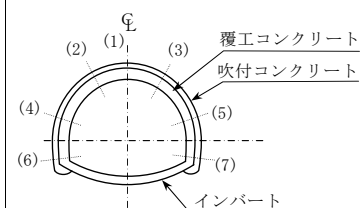
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
							コンクリート橋	鋼橋	
10 道路編	4 橋梁上部	5 工場製作工 共通	10		支承工 (鋼製支承)	据付け高さ 注 1)	± 5		
						可動支承の移動 可能量 注 2)	設計移動量 +10 以上		
						支承中心間隔 (橋軸直角方向)	± 5	4+0.5 ×(B-2)	
						下 沓 の 水 平 度	橋 軸 方 向	1 / 100	
							橋軸直角方向		
						可動支承の橋軸 方向のずれ 同一支承線上の 相対誤差	5		
						可動支承の移動量 注 3)	温度変化に伴う移動 量計算値 1/2 の以上		
					支承工 (ゴム支承)	据付け高さ 注 1)	± 5		
						可動支承の移動 可能量 注 2)	設計移動量 +10 以上		
						支承中心間隔 (橋軸直角方向)	± 5	4+0.5× (B-2)	
						支 承 の 水 平 度	橋 軸 方 向	1 / 300	
							橋軸直角方向		
						可動支承の橋軸 方向のずれ 同一支承線上の 相対誤差	5		
						可動支承の移動量 注 3)	温度変化に伴う移動 量計算値 1/2 の以上		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>支承全数を測定。 B：支承中心間隔 (m)</p> <p>支承の平面寸法が 300 mm以下の場合 は、水平面の高低差を 1 mm以下とする。 なお、支承を勾配なりに据付ける場合 を除く。 注 1)先固定の場合は、支承上面で測 定する。 注 2)可動支承の遊間(La, Lb)を計測 し、支承据付時にオフセット量 δを考慮して、移動可能量が道 路橋支承便覧の規格値を満たす ことを確認する。 注 3)可動支承移動量検査は、架設完 了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。</p>		
<p>支承全数を測定。 上部構造部材下面とゴム支承面との 接触面及びゴム支承と台座モルタル との接触面に肌すきが無いことを確 認。 支承の平面寸法が 300 mm以下の場合 は、水平面の高低差を 1 mm以下とす る。 なお、支承を勾配なりに据付ける場合 を除く。 注 1)先固定の場合は、支承上面で測 定する。 注 2)可動支承の遊間(La, Lb)を計測 し、支承据付時にオフセット量 δを考慮して、移動可能量が道 路橋支承便覧の規格値を満たす ことを確認する。 注 3)可動支承移動量検査は、架設完 了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
10	道 路 編	4	橋 梁 上 部	8	橋 梁 付 属 物 工	3	落橋防止装置工	アンカーボルト孔の 削孔長	設計値以上
							アンカーボルト孔の 定着長	-20以内 かつ-1D 以内	
						5	地覆工	地覆の幅 w_1	-10～+20
								地覆の高さ h	-10～+20
								有効幅員 w_2	0～+30
						6 7	橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 w	-5～+10
								高 さ h	-20～+30
						8	検査路工	幅	±3
								高 さ h	±4

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数測定。		
全数測定。 D：アンカーボルト径（mm）		
1 径間当たり両端と中央部の 3 箇所測定。		
1 径間当たり両端と中央部の 3 箇所測定。		
1 ブロックを抽出して測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値				
10 道路編	5 コンクリート橋上部	6 プレビーム桁橋工	2		プレビーム桁製作工 (現場)	幅 w	±5				
						高 さ h	+10 -5				
						桁 長 ℓ スパン長	ℓ < 15……±10 ℓ ≥ 15…… ±(ℓ-5) かつ-30mm以内				
						横方向最大タワミ	0.8ℓ				
	6 トンネル (N A T M)	4 支保工	3			吹付工	吹付け厚さ	設計吹付け厚以上。ただし、良好な岩盤で施工端部、突出部等の特殊な箇所は設計吹付け厚の1/3以上を確保するものとする。			
							4		ロックボルト工	位 置 間 隔	—
										角 度	—
		削 孔 深 さ	—								
		孔 径	—								
		突 出 量	プレート下面から10cm以内								

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレスング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ℓ：スパン長		
施工延長40m毎に図に示す。 (1)～(7)及び断面変化点の検測孔を測定。 注) 良好な岩盤とは、道路トンネル技術基準(構造編)にいう地盤等級A又はBに該当する地盤とする。		
施工延長40m毎に断面全本数検測。		

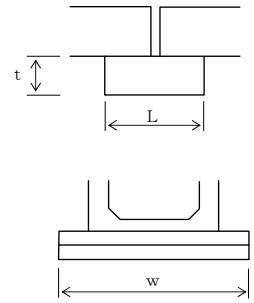
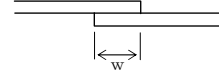
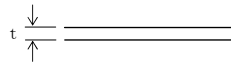
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
10 道路編	6 トンネル (NATM)	6 インバート工	4		インバート本体工	幅 w (全幅)	-50	
						厚 さ t	設計値以上	
						延 長 L	—	
	8 坑門工	4			坑門本体工	基 準 高 ∇	± 50	
						幅 w_1, w_2	-30	
						高 さ h	$h < 3\text{m}$	-50
							$h \geq 3\text{m}$	-100
						延 長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>(1) 幅は、施工40mにつき1箇所。 (2) 厚 さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の中間と終点を図に示す各点で測定。 (ロ) コンクリート打設後、インバートコンクリートについて1打設長の端面(施工継手の位置)において、図に示す各点の巻厚測定を行う。</p>		
<p>図面の主要寸法表示箇所測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	8 坑 門 工	5		明り巻工	基準高 (拱頂)	±50
						幅 w (全幅)	-50
						高さ h (内法)	-50
						厚 さ t	-20
						延 長 L	—
11 共同 溝	6 現 場 打 溝 築 工	2			現場打躯体工	基 準 高 ▽	±30
						厚 さ t	-20
						内 空 幅 w	-30
						内 空 高 h	±30
						ブ ロ ッ ク 長 L	-50

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高、幅、高さ、厚さは、施工延長40mにつき1箇所を測定。 なお、厚さについては図に示す各点①～⑩において、厚さの測定を行う。</p>	<p>(アーチ部)</p> <p>(側壁部)</p> <p>(インバート部)</p>	
<p>両端・施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所にて測定。</p>		

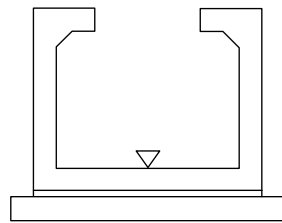
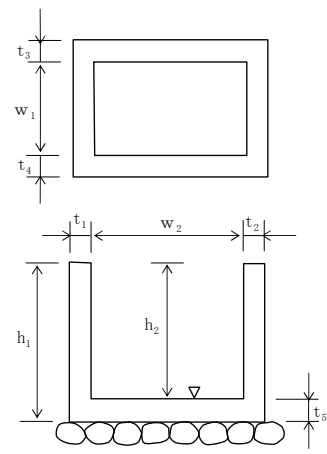
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
10 道路編	11 共同溝	6 現場打構築工	4		カラー継手工	厚 さ t	-20
						幅 w	-20
						長 さ L	-20
		5	1	防水工 (防水)	幅 w	設計値以上	
5	2	防水工 (防水保護工)	厚 さ t	設計値以上			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の寸法表示箇所にて測定。		
両端・施工継手箇所の底版・側壁・頂版で測定。		
両端・施工継手箇所の「四隅」で測定。		

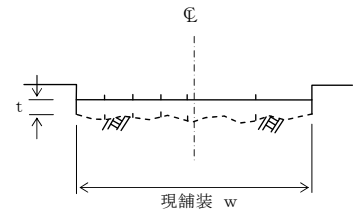
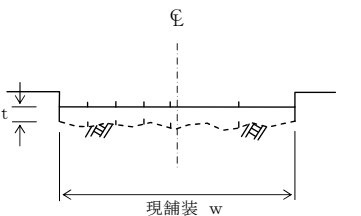
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
10 道路編	11 共同溝	6 現場打構築工	5	3	防水工 (防水壁)	高 さ h	-20
						幅 w	±50
						厚 さ t	-20
	7 プレキャスト構築工				プレキャスト躯体工	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	-200
12 電線共同溝	5 電線共同溝工	2		管路工 (管路部)	埋 設 深 t	0 ~ +50	
					延 長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の寸法表示箇所にて測定。		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。ただし、基準高の適用は据付後の段階検査時のみ適用する。</p> <p>延長：1 施工箇所毎</p>		
<p>接続部 (地上機器部) 間毎に 1 箇所。</p> <p>接続部 (地上機器部) 間毎で全数。 【管路センターで測定】</p>		

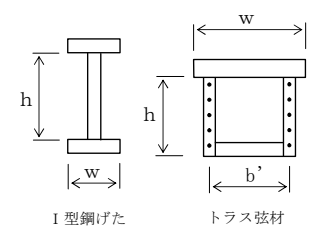
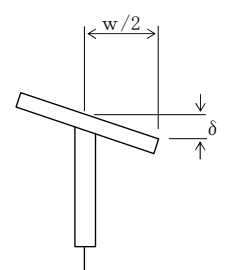
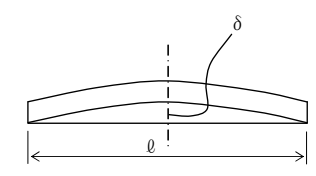
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
10 道路編	12 電線共同溝	5 電線共同溝工	3		プレキャストボックス工 (特殊部)	基 準 高 ∇	± 30	
		6 付帯設備工	2			ハンドホール工	基 準 高 ∇	± 30
							※厚 さ $t_1 \sim t_5$	-20
							※幅 w_1, w_2	-30
				※高 さ h_1, h_2	-30			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
接続部（地上機器部）間毎に1箇所。		
1箇所毎 ※は現場打部分のある場合		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	
							個々の測定値 (X)	10 個の測定値の平均 (X ₁₀)
10	道路編	14	舗装工	5	切削オーバーレイ工	厚 さ t	- 9	
						幅 w	- 25	
						延 長 L	- 100	
						平 坦 性	—	3 m プ ロ フ ィ ル メ ー タ ー (σ) 2.4 mm 以下直読式 (足付き) (σ) 1.75 mm 以下
			7	路上再生工	路盤工	厚 さ t	- 30	
		幅 w				- 50		
		延 長 L				- 100		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>厚さは 40m 毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。</p> <p>幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割とし、延長 40m 未満の場合は、2 箇所/施工箇所とする。</p> <p>断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。</p>	 <p>維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	
<p>幅は延長 80m 毎に 1 箇所の割で測定。厚さは、各車線 200m 毎に左右両端及び中央の 3 点を掘り起こして測定。</p>		

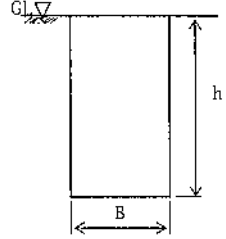
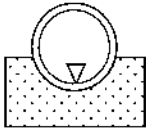
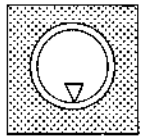
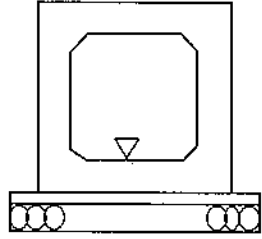
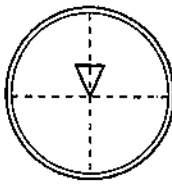
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
10	16	3	4		桁補強材製作工	フランジ幅 w (m) 腹板高 h (m) 腹板間隔 b' (m)	$\pm 2 \dots w \leq 0.5$ $\pm 3 \dots$ $0.5 < w \leq 1.0$ $\pm 4 \dots$ $1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3 + w/2)$ $\dots 2.0 < w$
						フランジの直角度 δ (mm)	$w/200$
						圧縮材の曲がり δ (mm)	$\ell/1,000$

測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要
鋼材桁等	トラス・アーチ等		
主桁・主構	各支点及び各支間中央付近を測定。	 <p>I型鋼けた トラス弦材</p>	
床組など	構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。		
主桁	各支点及び各支間中央付近を測定。		
—	主要部材全数を測定。 ℓ : 部材長 (mm)		

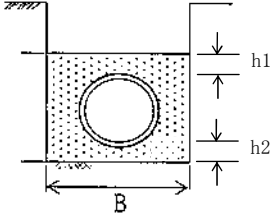
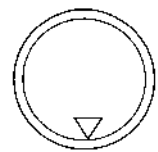
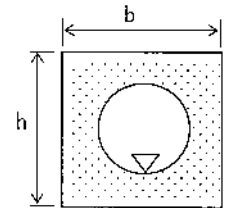
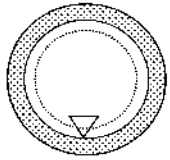
編	章	節	条	枝番	工 種	管理項目	測定方法	測定密度
11 港湾編	1 航路・泊地・船だまり	3 浚渫工	2 ポンプ浚渫工	1	ポンプ浚渫	水 深 (底面)	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	設計図書による。
						(法面)	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	設計図書による。
	6 臨港道路	4 道路舗装工	5 道路付属工	1	縁 石	高 さ	レベルにより測定	監督員の指示による。
						総延長	スチールテープ等により測定	図面に記載する箇所
				5	区画線及び道路標示	幅	スチールテープ等により測定	監督員の指示による。
						長 さ	スチールテープ等により測定	監督員の指示による。
				6	道路標識	高 さ	スチールテープ等により測定	1箇所に1回
						7	防護柵	高 さ
				総延長	スチールテープ等により測定	図面に記載する箇所		

測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
10 cm		+ 0 - 規定しない 又は設計図書による。	様式・出来形 4-27 参照 +: 設計値より浅いことをいう。 -: 設計値より深いことをいう。
10 cm		+ 0 - 規定しない 又は設計図書による。	
1 cm	測定表を作成し提出	± 3 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	± 1 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	± 10 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	± 5 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+ 3 cm - 2 cm	
1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 10 cm	

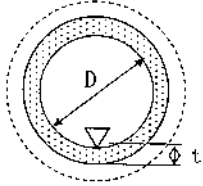
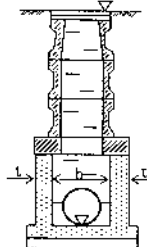
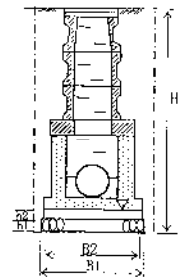
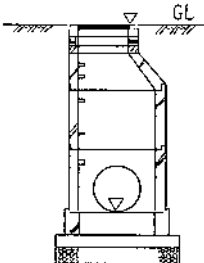
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
13	下水道	2 管路	1 管きよ工(開削)	2 管路土工	管路掘削	深 さ h	設計値以上
						幅 B	-50
			3 管布設工	2	管布設 (自然流下管)	基 準 高 ∇	±30
						中心線の変位 (水平)	±50
						勾 配	±20%
						延 長 ℓ	- $\ell/500$ かつ -200
				総 延 長 L	-200		
		6		矩形渠 (プレキャスト)	基 準 高 ∇	±30	
					中心線の変位 (水平)	±50	
					勾 配	±20%	
			延 長 ℓ		- $\ell/500$ かつ -200		
			総 延 長 L	-200			
			圧送管	基 準 高 ∇	±30		
				中心線の変位 (水位)	±50		
総 延 長	-200						

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
マンホール間ごとに1箇所測定する。		
基準高、中心線の変位(水平)は、マンホール間の中央部及び両端部を測定する。		
延長 ℓ はマンホール間を測定する。		
基準高、中心線の変位(水平)は、施行延長20mにつき1箇所の割合で測定する。		
延長 ℓ はマンホール間を測定する。		
施工延長40mにつき1箇所の割合で測定する。		

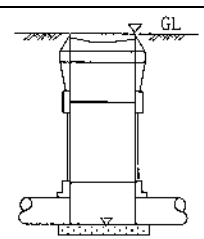
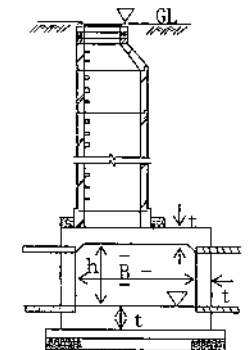
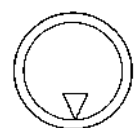
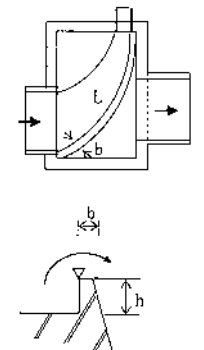
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
13	下水道	2 管路	1 管きよ工 (開削)	4 管基礎工	砂基礎等	高 さ h_1	設計値以上
						高 さ h_2	設計値以上
						幅 B	-50
		2 管きよ工 (小口径推進)	2 小口径推進工	推進工	基 準 高 ∇	±50	
					中心線の変位 (水平)	±50	
					勾配	±20%	
					延 長 ℓ	- $\ell/500$ かつ -200	
					総 延 長 L	-200	
			3 立坑内管布設工	空伏工	基 準 高 ∇	±50	
					幅 b	-30	
					高 さ h	-30	
					中心のずれ	±50	
					延 長	-50	
					勾 配	±20%	
					総 延 長 L	-200	
		4 管きよ工 (シールド)	2 一次覆工	掘進工	基 準 高 ∇	±50	
					中心線の変位 (水平)	±100	
					延 長 ℓ	- $\ell/500$ かつ -200	
					総 延 長 L	-200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
各マンホール間の中央部及び両端部等を測定する。		
基準高、中心線の変位（水平）は、推進管1本ごとに1箇所測定する。		
延長 ℓ はマンホール間を測定する。		
1 施工箇所ごとに測定する。		
基準高、中心線の変位（水平）は、セグメント5リングにつき1箇所測定する。		
延長 ℓ はマンホール間を測定する。		

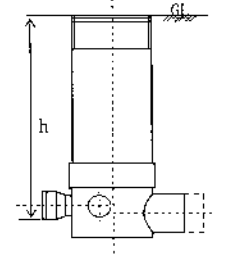
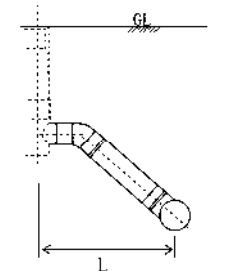
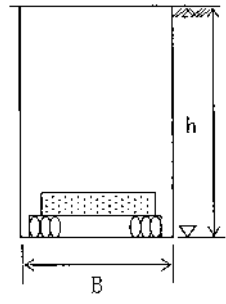
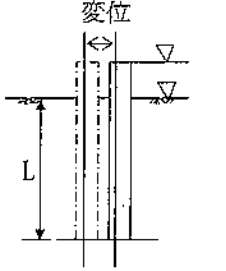
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
13	下水道	2 管路	4 管きよ工 (シールド)	3 二次覆工	二次覆工	基 準 高 ∇	±50
						中心線の変位 (水平)	±50
						二次覆工厚 t	-20
						仕上がり内径 D	±20
						勾 配	±20%
						延 長 l	$-\mathit{l}/500$ かつ -200
						総 延 長 L	-200
	5 マンホール工	2 標準マンホール工	標準マンホール工	基 準 高 ∇	±30		
				幅 b (内法)	-30		
				壁 厚 t	-20		
				人 孔 天 端 高	±30		
		マンホール基礎工	基 準 高 ∇	±30			
			床 堀 深 H	±30			
			基礎工幅 B 1	-50			
			基礎工高 h 1	-30			
			コンクリート工幅 B 2	-30			
			コンクリート工高 h 2	-10			
		3 組立マンホール工	組立マンホール工	基 準 高 ∇	±30		
				人 孔 天 端 高	±30		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高、中心線の変位 (水平) は、施工延長 40mにつき 1 箇所測定する。</p> <p>二次覆工厚は、1 打設につき端面で上下左右 4 点を測定する。</p> <p>仕上がり内径は、施工延長 40mにつき 1 箇所測定する。</p> <p>延長lはマンホール間を測定する。</p>		
1 施工箇所ごとに測定する。		
1 施工箇所ごとに測定する。		
1 施工箇所ごとに測定する。		

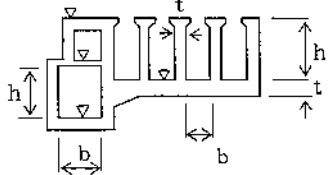
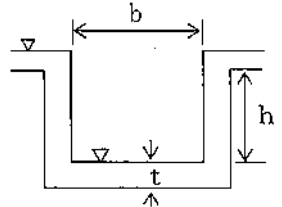
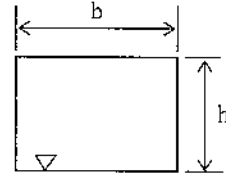
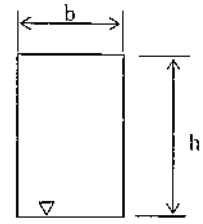
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
13 下水道	2 管路	5 マンホール工	4 小型マンホール工		小型マンホール工	基 準 高 ∇	± 30	
						人 孔 天 端 高	± 30	
		6 特殊マンホール工	3 躯体工	現場打ち特殊人孔			基 準 高 ∇	± 30
							幅 B	-30
							高 さ h	± 30
							壁 厚 t	-20
		人 孔 天 端 高					± 30	
	3 伏せ越し管工	伏せ越し管				基 準 高 ∇	± 30	
						中心線の変位 (水平)	± 30	
	3 越流堰 (雨水吐室)	越流堰 (雨水吐室)				基 準 高 ∇	± 10	
						幅 b (厚さ)	± 20	
						高さ h (深さ)	± 30	
						延長 L (長さ)	-20	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 施工箇所ごとに測定する。		
1 施工箇所ごとに測定する。		
1 施工箇所ごとに測定する。		
基準高は、中央部及び両端部を測定する。 幅、高さ、延長は、1 施行箇所ごとに測定する。		

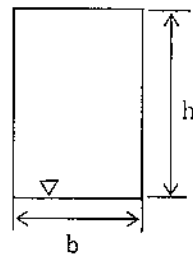
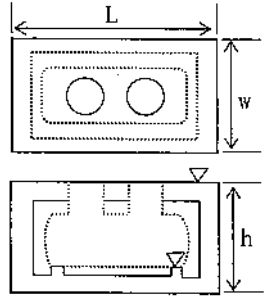
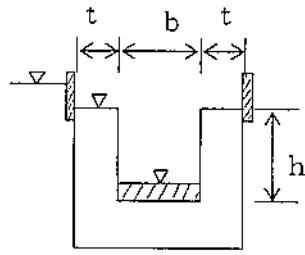
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
13	下水道	2 管路	7 取付管及びびます工		公共ます	ます 深 h	±30
			4 取付管布設工		取付管	延 長 (L)	-200
	10 立坑工		立坑工	基 準 高 ▽	±30		
				寸 法 B	±100		
				深 さ h	±30		
	3 処理場・ポンプ場	5 本体仮設工	2 土留・仮締切工	土留・仮締切工 (H鋼杭、鋼矢板)	基 準 高 ▽	±50	
					根 入 長 L	設計値以上	
					変 位	100	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 施工箇所ごとに測定する。		
1 施工箇所ごとに測定する。		
1 施工箇所ごとに測定する。		
施工延長 20mにつき 1 箇所測定する。 20m未滿は、1 施工箇所につき 2 箇所測定する。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値																		
13	下	水	道	3	処	理	場	・	ポ	ン	プ	場	6	本	体	築	造	工	8	躯	体	工	池・槽の主要構造物	基 準 高 ∇	± 30
																								幅 b	± 30
																								高 さ h	± 30
																								壁 厚 t	-20
																									ただし 床版厚 -10
																								長 さ	± 50
																							池・槽の付属構造物	基 準 高 ∇	± 20
																								幅 b	± 20
																								高 さ h	± 20
																								壁 厚 t	± 10
																								長 さ	± 50
																							開口部	幅 b	± 20
																								高 さ h	± 20
																							ゲート用開口部	基 準 高 ∇	-20
																									$+0$
																								幅 b	-0
																									$+20$
																								高 さ h	± 20

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 池（又は1槽）について、図面の主要なる寸法表示箇所を測定する。		
1 施工箇所ごとに図面の主要なる寸法表示箇所を測定する。		
永久開口部ごとに測定する。		
開口部ごとに測定する。		

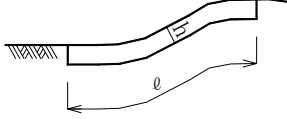
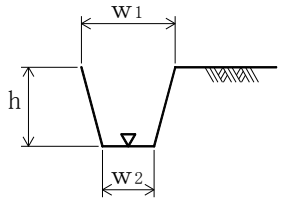
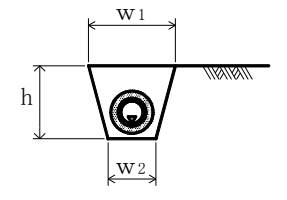
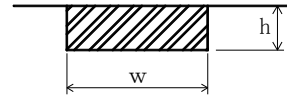
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値																												
13	下	水	道	3	処	理	場	・	ボ	ン	プ	場	6	本	体	築	造	工	8	躯	体	工	可動せき用開口部	基 準 高 ∇	-20										
																								幅	b	-0									
																										+20									
																								高 さ	h	± 20									
																							燃	料	貯	留	槽	工	基 準 高 ∇	± 30					
																													厚 さ	t	-20				
																													幅	w	-30				
																													高 さ	h	± 30				
																													延 長	L	-50				
																							10	越	流	樋	工	流	出	ト	ラ	フ	基 準 高 ∇	± 20	
																																	幅	b	± 20
																																	高 さ	h	-20
																																	厚 さ	t	± 20
																																	長 さ		± 50

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
開口部ごとに測定する。		
設計図の寸法表示箇所を測定する。		
基準高は、1 施工箇所ごとに交差点等を測定する。 幅、高さは、各池の 1 施工箇所について 3 箇所測定する。		
長さは、各池外周部の 1 施工箇所について測定する。		

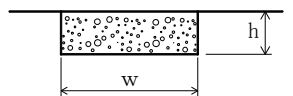
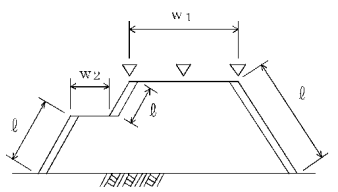
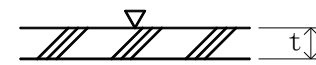
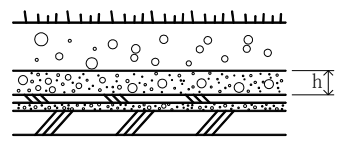
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
13 下水道	3 処理場・ポンプ場	6 本体築造工	11 越流堰板工		越流堰	基 準 高 ▽	±20	
						幅 b	±20	
						高 さ h	-20	
						長 さ	±20	
	7 場内管路工	9 管布設工				流入渠・流出渠	基 準 高 ▽	±30
							幅 b	-30
							高 さ h	-30
							厚 さ t	-20
							延 長	L < 20m -50 L ≥ 20m -100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高は、中央部及び両端部を測定する。</p> <p>幅・高さは、1施工箇所ごとに測定する。</p>		
<p>設計図の寸法表示箇所を測定する。</p>		

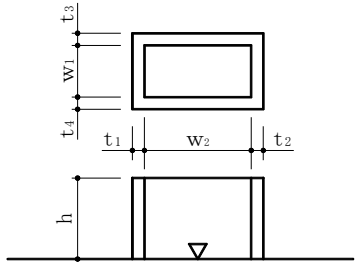
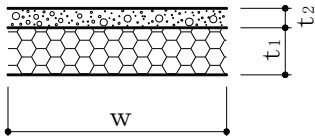
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値				
14	公園緑地	1	基盤整備	3	敷地造成工	2	表土保全工	表土掘削	法長 ℓ	$\ell < 5\text{ m}$	-200
										$\ell \geq 5\text{ m}$	法長の-4%
								深 さ	-30		
								5	植栽基工	3	透水層工
		幅 w_1, w_2	-50								
		高 さ h	-30								
		延 長 L	-200								
		2	暗渠排水	基 準 高 ∇	± 30						
	幅 w_1, w_2			-50							
	高 さ h			-30							
	延 長 L			-200							
	4	土層改良工	1	普通耕	幅 w	-100					
				深耕	深 さ h	-50					
				混層耕							
				心土破碎							

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>施工面積 1,600 m²につき 1 箇所、面積 1,600 m²以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
<p>耕耘タイプ毎につき 1 箇所。施工面積 1,600 m²につき 1 箇所、面積 1,600 m²以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		

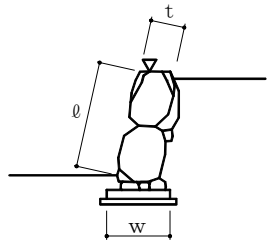
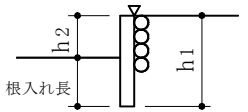
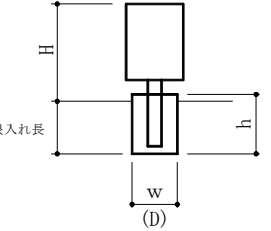
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値					
14	公園緑地	1	基盤整備	5	植栽基工	5	1	土性改良	基準高 ▽	-100		
							2	中和剤施用		深 さ h	-50	
							3	除塩				
							4	施肥				
						6	1	盛土（流用土）表土	基準高 ▽		±30	
							2	盛土（発生土）表土		法長 ℓ	ℓ < 5 m	-100
							3	盛土（採取土）表土				ℓ ≥ 5 m
							4	盛土（購入土）表土		幅 w ₁ , w ₂	-100	
						7	人工地盤工	2	押さえコンクリート		基準高 ▽	設計値以上
										厚 さ t	設計値以上	
										幅	-25	
							4	人工地盤排水層	延 長 L	-200		
									深 さ h	-30		
						5	フィルター	延 長 L	-200			
									6	防根シート		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施肥配合タイプ毎につき1箇所。施工面積1,600㎡につき1箇所、面積1,600㎡以下のものは1施工箇所につき2箇所。</p>		
<p>施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは、1施工箇所につき2箇所。施工面積1,600㎡につき1箇所、面積1,600㎡以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は各法肩で測定。又は、施工面積のほぼ中心と各法肩で測定。</p>		
<p>施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは、1施工箇所につき2箇所。</p>		
<p>施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは、1施工箇所につき2箇所。</p>		
<p>施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは、1施工箇所につき2箇所。</p>		

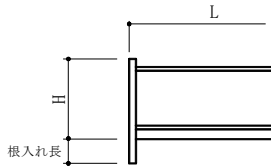
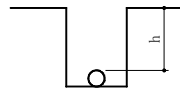
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
14 公園緑地	1 基盤整備	5 植栽基工	7 人工地盤工	8	立排水浸透柵	基 準 高 ∇	± 30
						*厚 さ $t_1 \sim t_4$	-20
						*幅 w_1, w_2	-30
						*高 さ h	-30
	6 法面工	6 網柵工	1		編柵	高 さ h	± 30
						延 長 L	-200
	8 擁壁工	4 場所打擁壁工	10	12	公園基礎材 公園均しコンクリート	幅 w	設計値以上
						厚 さ t_1, t_2	-30
					延 長 L	各構造物の規格値による。	
				19	擁壁高さ調整	基 準 高 ∇	基準値

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所毎*は、現場打部分のある場合。		
1 工箇所 / 1 施工箇所		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。施工面積 1,600 m ² につき 1 箇所、面積 1,600 m ² 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 工箇所 / 1 施工箇所		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値			
14	公園緑地	1	8	8	石積工	1	崩れ積	基準高 ∇	± 100	
								法長 ℓ	$\ell < 3\text{m}$	-50
									$\ell \geq 3\text{m}$	-100
								厚さ t (石積・張) t	-50	
								厚さ t (裏込) t	-50	
								延長 L	-200	
		13	石積高さ調整	基準値 ∇	設計値					
		9	土留め工	1	土留め	基準高 ∇	± 50			
						高さ h	-50			
						根入れ長	設計値以上			
						延長 L	-200			
		10	公園施設等撤去・移設工	3	移設工	2	小工作物移設	設計高さ H	設計値以上	
								基礎	幅 w (D)	-30
									高さ h	-30
									根入れ長	設計値以上

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 箇所 / 1 施工箇所		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
1 箇所 / 1 基		
基礎 1 基毎		

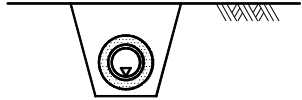
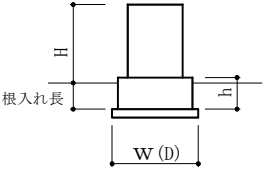
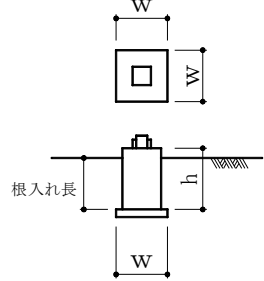
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値			
14	公園緑地	2 植栽	3 植栽工	10 樹木養生工	1	防風ネット	高 さ H	±30		
							延 長 L	-200		
					7	養生柵	設 計 高 さ H	設計値以上		
							根 入 れ 長	設計値以上		
							延 長 L	-200		
					11	樹名板工	1	埋込型樹名板	設 計 高 さ H	設計値以上
									基 礎	幅 w (D)
	高 さ h	-30								
	12	根囲い保護工	1	根囲い保護	設 計 高 さ H	設計値以上				
					基 礎	幅 w (D)	-30			
						高 さ h	-30			
						根入れ長	設計値以上			
	3 施設整備	3 給水設備工	6 散水施設工	2	ミス	延 長 L	-200			
					3	ドリップパイプ	延 長 L	-200		
4						散水栓高さ調整	基 準 高 ▽	設計値		
10 給水管路工			1	3	給水管埋設シート	深 さ h	-30			
						延 長 L	-200			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
1 箇所 / 1 施工箇所		
1 箇所 / 5 基 基礎 5 基毎		
1 箇所 / 1 基 基礎 1 基毎		
1 箇所 / 1 施工箇所 1 施工箇所毎 1 箇所 / 1 施工箇所		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値				
14	公園緑地	3	施設整備	4	雨水排水設備工	6	側溝工	2	現場打L型側溝	基準高 ∇	± 30
										厚 さ t	-20
										幅 w	-30
										高 さ h	-30
										延 長 L	-200
						5	現場打側溝	基準高 ∇	± 30		
								厚 さ t_1, t_2	-20		
								幅 w	-30		
								高 さ h_1, h_2	-30		
								延 長 L	-200		
						10	公園素掘側溝	基準高 ∇	± 30		
								幅 w_1, w_2	-50		
								高 さ h	-30		
								延 長 L	-200		
						12	側溝高さ調整	基準高 ∇	設計値		
						8	集水桝・マンホール工	11	桝高さ調整	基準高 ∇	設計値
								12	マンホール高さ調整		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		
1 箇所 / 1 施工箇所		
1 箇所 / 1 施工箇所		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
14 公園緑地	3 施設整備	4 雨水排水設備工	9 地下排水工	1 2	透水コンクリート管 化学繊維管	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	-200
				6 電気設備工	3 照明設備工	2	2
	3 4	引込柱 分電盤	設 置 高 さ H				
			基 礎			幅 w (D)	-30
						高さ h	-30
	根入れ長	設計値以上					
	5	5	分電盤高さ調整			基 準 高 ▽	設計値
				6	6	照明灯基礎	幅 w
	高さ h	-30					
	根入れ長	設計値以上					

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 箇所 / 1 施工箇所		
1 箇所 / 1 施工箇所		
1 箇所 / 1 基		
基礎 1 基毎		
1 箇所 / 1 施工箇所		
1 箇所 / 1 施工箇所		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値			
14	公園緑地	3 施設整備	6 電気設備工	4 放送設備工	スピーカー柱基礎	基礎	幅 w (D)	-30		
							高さ h	-30		
							根入れ長	設計値以上		
				5 監視カメラ設置工		3	監視カメラ基礎	基礎	幅 w (D)	-30
									高さ h	-30
									根入れ長	設計値以上
		8 電線管渠工	1 2 4	電線管 電線 埋設シート	深 さ h	-50				
						延 長 L	-200			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
基礎 1 基毎		
基礎 1 基毎		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値								
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)						
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下					
14	公園緑地	3	施設整備	7	園路広場整備工	5	アスファルト舗装工	1	下層路盤	基準高▽	±40	±50	—	—	
										厚 さ	-45	-45	-15	-15	
										幅	-50	-50	—	—	
									2	上層路盤	厚 さ	-25	-30	-8	-10
											幅	-50	-50	—	—

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割とし、舗装中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、10,000㎡以上あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続するものをいう。</p> <p>① 施工面積で2,000㎡以上10,000㎡未満 ② 使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満。</p> <p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>
<p>幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所の割とし、厚さは各車線200m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値							
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)					
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下				
14	公園緑地	3	施設整備	7	園路広場整備工	5	アスファルト舗装工	4	基層	厚 さ	-9	-12	-3	-4
										幅	-25	-25	-	-
						6	表層	厚 さ	-7	-9	-2	-3		
								幅	-25	-25	-	-		
								平坦性	-		3m ² プロファイルメーター(σ)2.4mm以下直読式(足付き)(σ)1.75mm以下			

測定基準	測定箇所	摘要
幅は、延長80m毎に1箇所割とし、厚さは施工面積500㎡毎に1個割でコア一を採取して測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。		<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、10,000㎡以上あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続するものをいう。</p> <p>① 施工面積で2,000㎡以上10,000㎡未満</p> <p>② 使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満。</p> <p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア一採取について</p> <p>橋面舗装等でコア一採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>
幅は、延長80m毎に1箇所割とし、厚さは施工面積500㎡毎に1個割でコア一を採取して測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。		

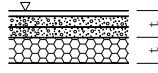
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値								
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)						
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下					
14	公園緑地	3	施設整備	7	園路広場整備工	6	排水性舗装工	1	下層路盤	基準高▽	±40	±50	—	—	
										厚 さ	-45	-45	-15	-15	
										幅	-50	-50	—	—	
									2	上層路盤	厚 さ	-25	-30	-8	-10
											幅	-50	-50	—	—

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を割とし、舗装中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続する場合が該当する。</p> <p>コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>
<p>幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所の割とし、厚さは各車線200m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		

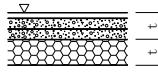
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値							
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)					
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下				
14	公園緑地	3	施設整備	7	園路広場整備工	6	排水性舗装工	3	基層	厚 さ	-9	-12	-3	-4
										幅	-25	-25	-	-
										厚 さ	-7	-9	-2	-3
										幅	-25	-25	-	-
										平坦性	-	3m ² プロファイルメーター (σ)2.4mm以下直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下		

測定基準	測定箇所	摘要
幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を割とし、厚さは各車線200m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。		<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続する場合は該当する。</p> <p>コア採取について</p> <p>橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>
幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を割とし、厚さは各車線200m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値						
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上				
14	公園緑地	3	施設整備	7	園路広場整備工	7	透水性舗装工	2	路盤	基準高▽	±50		—
										厚 さ	t < 150	-30	-10
											t ≥ 150	-45	-15
										幅	-100		—
3	表層	厚 さ	-9	-3									
		幅	-25	—									

測定基準	測定箇所	摘 要
<p>基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を割とし、舗装中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続する場合が該当する。</p> <p>コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>
<p>幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を割とし、厚さは各車線200m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		

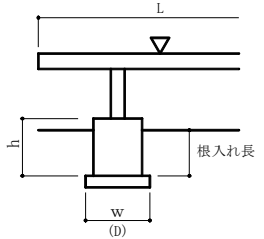
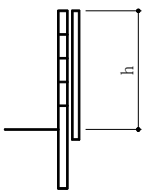
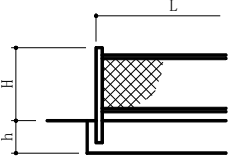
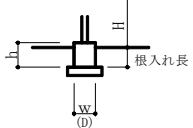
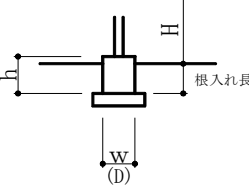
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値			
							個々の測定値 (X)			
							中規模以上	小規模以下		
14 公園緑地	3 施設整備	7 園路広場整備工	8 アスファルト系舗装工	1 2 3 4	公園アスファルト舗装 公園アスファルト薄層カラー舗装 透水性アスファルト舗装 脱色アスファルト舗装	路盤工	基準高▽	±50		
							厚さ	t < 150	—	-30
								t ≥ 150	—	-45
							幅	-100		
						表層工	厚さ	-10		
							幅	-25		

測定基準	測定箇所	摘要
<p>基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を割とし、舗装中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、10,000㎡以上あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続するものをいう。</p> <p>① 施工面積で2,000㎡以上10,000㎡未満 ② 使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満。</p> <p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>
<p>幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を割とし、厚さは各車線200m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
14	公園緑地	3 施設整備	7 園路広場整備工	19 公園橋工	1 4 6	公園橋橋台	基 準 高 ∇	± 20
						石積橋台	厚 さ t	-20
						木橋橋台	天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	-10
							天 端 幅 w_2 (橋軸方向)	-10
							敷 幅 w_3 (橋軸方向)	-50
							高 さ h_1	-50
							胸壁の高さ h_2	-30
							天 端 長 l_1	-50
							敷 長 l_2	-50
							胸壁間距離 l	± 30
							支点長及び 中心線の変化	± 50
							2 3 5 7 8	公園橋設置
		八ッ橋	高 さ h	± 30				
		石橋設置	幅 w	-30				
		木橋設置	延 長 L	-30				
		浮き栈橋	根 入 れ 長	設計値以上				

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は図面の寸法表示箇所にて測定。		
1 箇所 / 1 施工箇所		

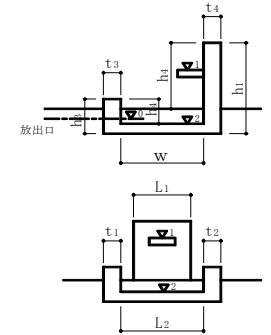
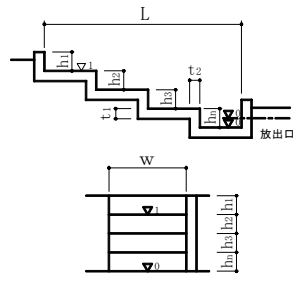
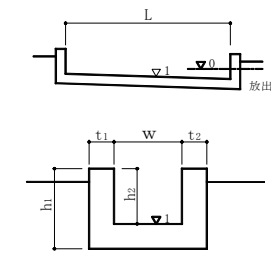
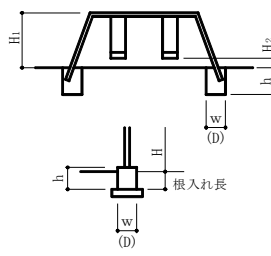
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
14	公園緑地	3 施設整備	7 園路広場整備工	20 デッキ工	1 デッキ基礎 2 デッキ設置	基準高▽	±30	
						基礎	幅w (D)	-30
							高さh	-30
							根入れ長	設計値以上
		延長 L	-30					
		8 修景施設整備工	5 袖垣・垣根工	1 2	袖垣 垣根	高さ h	±30	
						延長 L	-200	
		7 トレリス工	1 2	1 2	トレリス 緑化フェンス	設置高さ H	設計値以上	
						基礎	幅w (D)	-30
							高さh	-30
							根入れ長	設計値以上
		延長 L	-200					
8 モニュメント工	1 2	1 2	モニュメント 記念碑	設置高さ H	設計値以上			
				基礎	幅w (D)	-30		
					高さh	-30		
					根入れ長	設計値以上		
延長 L	-200							

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 基毎		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 箇所 1 基 基礎 1 基毎		
1 箇所 / 1 施工箇所		
1 箇所 / 1 基 基礎 1 基毎		
1 箇所 / 1 施工箇所		

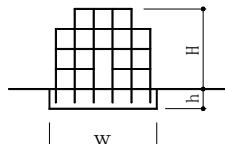
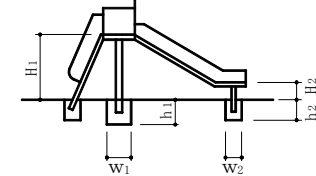
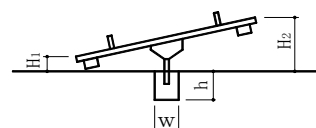
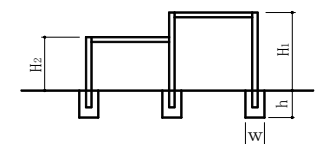
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値				
14	公園緑地	3	施設整備	8	修景施設整備工	9	小規模水景施設工	1	流れ	基準高 ▽0、▽1	±30
										厚 さ t_1, t_2	-20
										幅 w	-30
										高 さ h_1, h_2	-30
										延 長 L	-200
								2	滝	基準高 ∇	±30
										厚 さ t	-20
										幅 w	-30
										高 さ h	-30
								3	池	基準高 ▽0、▽1	±30
										厚 さ $t_1 \sim t_4$	-20
										幅 w_1, w_2	-30
										高 さ h_1, h_2	-30
								4	州浜	厚 さ t	-20
										幅 w	-30
										面 積 A	設計値以上

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所 / 1 施工箇所 *標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。		
1 箇所 / 1 施工箇所 *標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。		
1 箇所 / 1 施工箇所 *標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。		
1 箇所 / 1 施工箇所 *標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。		

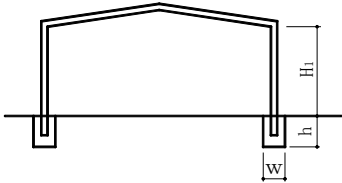
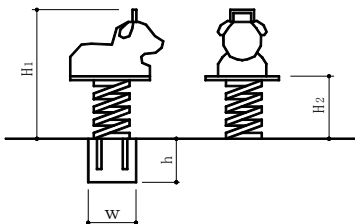
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
14	公園緑地	3 施設整備	8 修景施設整備工	9 小規模水景施設工	5 壁泉	基準高 ▽0～▽2	±30
						厚 さ $t_1 \sim t_4$	-20
						幅 w	-30
						高 さ $h_1 \sim h_4$	-30
						長 さ L_1, L_2	-30
				6 カスケード	基準高 ▽0、▽n	±30	
					厚 さ t_1, t_2	-20	
					幅 w	-30	
					高 さ $h_1 \sim h_n$	-30	
					長 さ L	-20	
				段 数	±0段数		
				7 カナル	基準高 ▽0、▽1	±30	
		厚 さ t_1, t_2	-20				
		幅 w	-30				
		高 さ h_1, h_2	-30				
延 長 L	-200						
9 遊戯施設整備工	3 遊具組立設置工	1	ブランコ	設置高さ H_1, H_2	±30		
				基礎	幅 w	-30	
					高さ h	-30	
					根入れ長	設計値以上	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所／1 施工箇所 *標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。		
1 箇所／1 施工箇所 *標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。		
1 箇所／1 施工箇所 *標準図を持っている、又は単一断面の場合に適用する。		
1 箇所／1 基 基礎 1 基毎 *施工に当たっては安全性に留意しなければならない。		

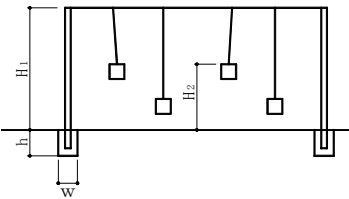
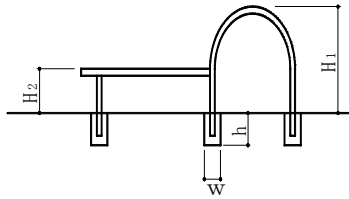
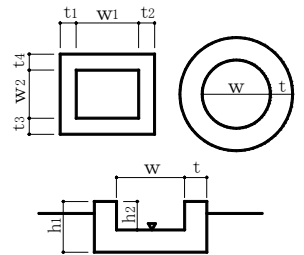
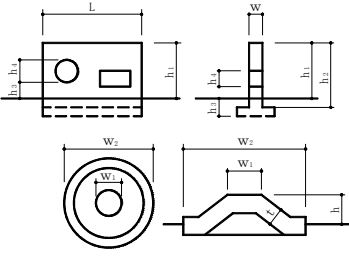
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値					
14	公園緑地	3	施設整備	9	遊戯施設整備工	3	遊具組立設置工	2	ジャングルジム	設置高さ H		±30
										基礎	幅 w	-30
											高さ h	-30
											根入れ長	設計値以上
										設置高さ H ₁ , H ₂		±30
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	-30				
							高さ h ₁ , h ₂	-30				
							根入れ長	設計値以上				
						4	シーソー	設置高さ H ₁ , H ₂		±30		
								基礎	幅 w	-30		
									高さ h	-30		
									根入れ長	設計値以上		
						5	鉄棒	設置高さ H ₁ , H ₂		±30		
								基礎	幅 w	-30		
									高さ h	-30		
根入れ長	設計値以上											

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所 / 1 基		
基礎 1 基毎 ※施工に当たっては安全性に留意しなければならない。		
1 箇所 / 1 基		
基礎 1 基毎 ※施工に当たっては安全性に留意しなければならない。		
1 箇所 / 1 基		
基礎 1 基毎 ※施工に当たっては安全性に留意しなければならない。		
1 箇所 / 1 基		
基礎 1 基毎 ※施工に当たっては安全性に留意しなければならない。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値					
14	公園緑地	3	施設整備	9	遊戯施設整備工	3	遊具組立設置工	6	ラダー	設置高さ H	±30	
										基礎	幅 w	-30
											高さ h	-30
											根入れ長	設計値以上
								7	はん登棒	設置高さ H	±30	
										基礎	幅 w ₁ , w ₂	-30
											高さ h ₁ , h ₂	-30
											根入れ長	設計値以上
								8	スプリング遊具	設置高さ H ₁ , H ₂	±30	
										基礎	幅 w	-30
											高さ h	-30
											根入れ長	設計値以上
9	複合遊具	設置高さ H ₁ , H ₂	±30									
		基礎	幅 w	-30								
			高さ h	-30								
			根入れ長	設計値以上								

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所 / 1 基		基礎 1 基毎 ※施工に当たっては安全性に留意しなければならない。
1 箇所 / 1 基		
1 箇所 / 1 基		基礎 1 基毎 ※施工に当たっては安全性に留意しなければならない。
1 箇所 / 1 基		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値					
14	公園緑地	3	施設整備	9	遊戯施設整備工	3	遊具組立設置工	10	アスチック遊具	設置高さ H_1, H_2	±30	
										基礎	幅w	-30
											高さh	-30
											根入れ長	設計値以上
								11	健康遊具施設	設置高さ H_1, H_2	±30	
										基礎	幅w	-30
	高さh	-30										
	根入れ長	設計値以上										
	4	小規模現場打遊具工	1	砂場	基準高▽	±30						
					厚さ $t_1 \sim t_4$	-20						
					幅 w_1, w_2	-30						
					高さ h_1, h_2	-30						
2			現場打遊具	厚さ t	-20							
				幅 w_1, w_2	-30							
				高さ $h_1 \sim h_4$	-30 ±30							
				長さ L	-30							

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所 / 1 基		<p>基礎 1 基毎 ※施工に当たっては安全性に留意しなければならない。</p>
1 箇所 / 1 基		
1 箇所 / 1 基		<p>1 箇所 / 1 基</p> <p>基礎 1 基毎 *標準図をもっている、又は単一断面の場合に適用する。 ※施工に当たっては安全性に留意しなければならない。</p>
1 箇所 / 1 基		
1 箇所 / 1 基		<p>1 箇所 / 1 基</p> <p>基礎 1 基毎 *標準図をもっている、又は単一断面の場合に適用する。 ※施工に当たっては安全性に留意しなければならない。</p>
1 箇所 / 1 基		
1 箇所 / 1 基		<p>1 箇所 / 1 基</p> <p>基礎 1 基毎 *標準図をもっている、又は単一断面の場合に適用する。 ※施工に当たっては安全性に留意しなければならない。</p>
1 箇所 / 1 基		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値				
14	公園緑地	3	施設整備	10	サービス施設整備工	8	炊事場	1	炊事場	基準高 ▽	±30
								厚 さ t_1, t_2	-20		
								幅 w_1, w_2	-30		
								高 さ $H_1 \sim H_2$	-30		
								長 さ L	-30		
	11	管理施設整備工	3	リサイクル施設工	1	リサイクル施設基礎	基準高 ▽	±30			
							基礎	幅 w (D)	-30		
								高さ h	-30		
								根入れ長	設計値以上		
							5	ごみ施設工	1	くず入れ 吸殻入れ	設置高さ H
			基礎	幅 w (D)	-30						
				高さ h	-30						
				根入れ長	設計値以上						
			6	井戸工	2	手押しポンプ					設置高さ H
							基礎	幅 w (D)	-30		
高さ h	-30										
根入れ長	設計値以上										

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所 / 1 施工箇所		
1 箇所 / 1 基		
基礎 1 基毎		
1 箇所 / 1 基		
基礎 1 基毎		
1 箇所 / 1 基		
基礎 1 基毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
14	公園緑地	3 施設整備	11 管理施設整備工	7 門扉工	1 門壁 2 門柱 3 門扉	設置高さ H	設計値以上	
						基礎	幅 w (D)	-30
							高さ h	-30
							根入れ長	設計値以上
				8 柵工	1 フェンス 2 柵 3 手すり	設置高さ H	設計値以上	
						基礎	幅 w (D)	-30
							高さ h	-30
							根入れ長	設計値以上
						延長 L	-200	
		9 車止め工	1 車止め 2 車椅子ゲート	設置高さ H	設計値以上			
				基礎	幅 w (D)	-30		
		12 建築施設組立設置工	3 四阿工		1 四阿基礎	基準高 ▽	±30	
基礎	幅 w (D)			-30				
	高さ h			-30				
	根入れ長			設計値以上				

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所 / 1 基		
基礎 1 基毎		
施工延長 40m (測点間隔 25m の柵 2 柵場合は 50m) につき 1 箇所。延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 箇所 / 1 施工箇所		
1 箇所 / 1 基		
基礎 1 基毎		
1 箇所 / 1 施工箇所		
基礎 1 基毎		

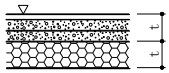
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値							
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)					
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下				
14	公園緑地	4	グラウンド・コート整備	3	グラウンド・コート用舗装工	4	1	下層路盤	基準高▽	±40	±50	—	—	
								厚 さ	-45	-45	-15	-15		
								幅W	-50	-50	—	—		
							2	3	上層路盤 中層	厚 さ	-25	-30	-8	-10
										幅W	-50	-50	—	—

測定基準	測定箇所	摘 要
<p>基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割とし、舗装中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p> <p>幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所の割とし、厚さは延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続するものをいう。 ① 施工面積で2,000㎡以上10,000㎡未満 ② 使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500 t 以上3,000 t 未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。</p>

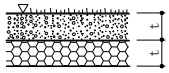
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値					
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下		
14	公園緑地	4	グラウンド・コート整備	3	グラウンド・コート舗装工	4	基層	厚 さ	-9	-12	-3	-4
								幅W	-25	-25	-	-

測定基準	測定箇所	摘 要
幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所割とし、厚さは、施工面積500㎡毎に1箇所割でコア採取して測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。		<p>工事規模の考え方</p> <p>中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。</p> <p>小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続するものをいう。</p> <p>① 施工面積で2,000㎡以上10,000㎡未満</p> <p>② 使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500 t 以上3,000 t 未満。</p> <p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。</p>

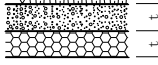
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
							中規模以上	小規模以下	中規模以上		
14	公園緑地	4	グラウンド・コート整備	5 6	クレー舗装 フットカー舗装	路盤工	基準高▽	±50		—	
							厚さ	t < 150	—	-30	-10
								t ≥ 150	—	-45	-15
						幅	-100		—		
						表層工	厚 さ	-10			
幅	-25										
平坦性 テニスコート 陸上競技場 野球場	±5mm以内 ±10mm以内 ±20mm以内		—								

測定基準	測定箇所	摘 要
<p>基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所割で測定。 厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所割で測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続するものをいう。 ① 施工面積で2,000㎡以上10,000㎡未満 ② 使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500 t 以上3,000 t 未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。</p>
<p>幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所割とし、厚さは200m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値					
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
14	公園緑地	4	グラウンド・コート整備	3	グラウンド・コート舗装工	7	天然芝舗装	路盤工	基準高▽	±50	—	
								厚さ	t < 150	—	-30	-10
									t ≥ 150	—	-45	-15
								幅	-100		—	
								表層工	厚 さ	-10		
幅	-25											

測定基準	測定箇所	摘 要
<p>基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所割で測定。 厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続するものをいう。</p> <p>① 施工面積で2,000㎡以上10,000㎡未満 ② 使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500 t 以上3,000 t 未満。</p> <p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。</p>
<p>幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		

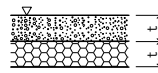
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値						
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上				
14	公園緑地	4	グラウンド・コート整備	3	グラウンド・コート舗装工	4	8	人工芝舗装	路盤工	基準高▽	±50		—
									厚さ	t < 150	—	-30	-10
										t ≥ 150	—	-45	-15
									幅	-100		—	
									表層工	厚さ	-10		
幅	-25												

測定基準	測定箇所	摘要
<p>基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所割に測定。 厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続するものをいう。</p> <p>① 施工面積で2,000㎡以上10,000㎡未満 ② 使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500 t 以上3,000 t 未満。</p> <p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。</p>
<p>幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
							中規模以上	小規模以下	中規模以上		
14	公園緑地	4	グラウンド・コート整備	9	全天候型舗装 (樹脂系)	路盤工	基準高▽	±50		—	
							厚さ	t < 150	—	-30	-10
								t ≥ 150	—	-45	-15
						幅	-100		—		
						表層工	厚 さ	-10			
							幅	-25			
平坦性 テニスコート 陸上競技場	±5mm以内 ±10mm以内		—								

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所割に測定。 厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続するものをいう。 ① 施工面積で2,000㎡以上10,000㎡未満 ② 使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500 t 以上3,000 t 未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。</p>
<p>幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		

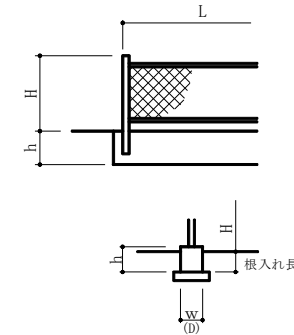
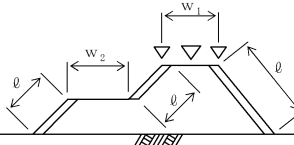
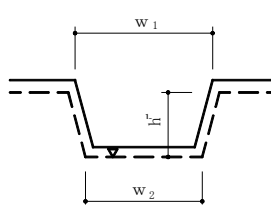
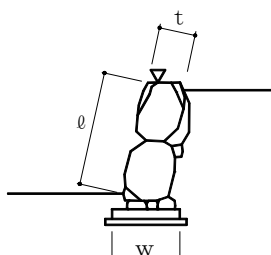
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値								
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X ₁₀)						
							中規模以上	小規模以下	中規模以上						
14 公園緑地	4 グラウンド・コート整備	3 グラウンド・コート舗装工	4 グラウンド・コート用舗装工	11	グラウンド・コート砂舗装	路盤工	基準高▽	±50		—					
							厚さ	t < 150	—	-30	-10				
								t ≥ 150	—	-45	-15				
							幅	-100		—					
							表層工	厚さ	-10						
								幅	-25						

測定基準	測定箇所	摘要
<p>基準高は延長40m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割で測定。 厚さは延長200m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡毎に1箇所の割に測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工日数が数日連続するものをいう。</p> <p>① 施工面積で2,000㎡以上10,000㎡未満 ② 使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500 t 以上3,000 t 未満。</p> <p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X₁₀) について満足しなければならない。</p>
<p>幅は、延長80m毎又は、施工面積500㎡に1箇所の割とし、厚さは200m毎又は、施工面積500㎡に1箇所を掘り起こして測定。なお、延長、施工面積が上述の規模以下の場合は、1施工箇所につき2箇所を測定。</p>		

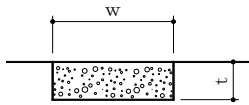
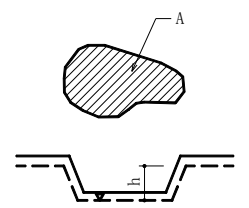
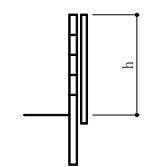
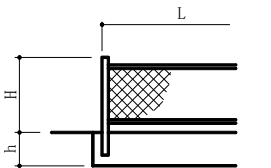
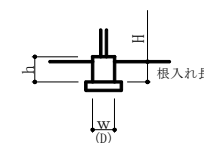
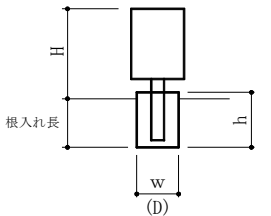
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値										
14	公園緑地	グラウンド・コート整備	3	1	スタンド擁壁	基準高 ∇	± 50										
						厚 さ t	-20										
						幅 w_1, w_2	-30										
						高さ h	$h < 3m$	-50									
							$h \geq 3m$	-100									
			延 長 L	-200													
			4	1	2	ベンチ工	スタンドベンチ 現場打ベンチ	延 長 L	-200								
			5	グラウンド・コート施設整備工	3	1	ダックアウト基礎	基準高 ∇	± 30								
								基礎	幅 w (D)	-30							
		高さ h							-30								
		根入れ長			設計値以上												
		6			競技施設工	1	2	3	4	5	6	7	設置高さ H	± 30			
													基礎	幅 w (D)	-30		
														高さ h	-30		
														根入れ長	設計値以上		
													13	墨べース基礎	基準高 ∇	± 30	
															基礎	幅 w (D)	-30
																高さ h	-30

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。延長40m (又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。延長40m (又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
1箇所/1基		
1箇所/1基		
基礎1基毎		
1箇所/1基		

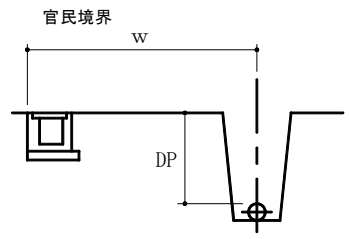
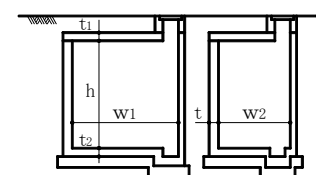
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値						
14	公園緑地	4	5	11	高尺ネットフェンス フェンス 防球ネット	設置高さ H	設計値以上						
						基礎	幅 w (D)	-30					
							高さ h	-30					
							根入れ長	設計値以上					
						延長 L	-200						
						5	自然育成	2	3	1	蒔き出し	基準高 ▽	-50
	法長 ℓ	$\ell < 5\text{m}$	-100										
		$\ell \geq 5\text{m}$	法長の-2%										
	幅 w_1, w_2	-100											
	4	自然水路工	4	1	遮水・止水シート							基準高 ▽	-50
												高さ h	-30
						幅 w_1, w_2	-100						
延長 L						-200							
3 4						自然水路工	3 4	1	ごろた石積 崩れ積	基準高 ▽	±100		
										法長 ℓ	$\ell/2 < 3\text{m}$	-50	
	$\ell/2 \geq 3\text{m}$	-100											
	幅 w	-50											
	厚さ t	-50											
延長 L	-200												

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所。延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>1 箇所毎</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは、1 施工箇所につき 2 箇所。施工面積 1,000 m² につき 1 箇所、面積 1,000 m² 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p> <p>基準高は各法肩で測定。又は、施工面積のほぼ中心と各法肩で測定。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所。延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1 箇所。延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値									
14	公園緑地	5	自然育成	2	自然育成施設工	4	自然水路工	5	砂・礫敷	厚さ t	t < 15 cm	-25				
											t ≥ 15 cm	-50				
										幅	w	-100				
										5	水田工	1	遮水・止水シート	基準高	▽	-50
														高さ	h	-30
						面積	A	設計値以上								
						10	しがらみ柵工	1	しがらみ柵	高さ	h	±30				
										延長	L	-200				
						12	保護柵工	1	保護柵工	設置高さ	H	設計値以上				
										基礎	幅 w (D)	-30				
											高さ h	-30				
											根入れ長	設計値以上				
										延長	L	-200				
						13	解説板工	1	解説板	設置高さ	H	設計値以上				
										基礎	幅 w (D)	-30				
高さ h	-30															
根入れ長	設計値以上															

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所。延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さは、施工延長 200m につき 1 箇所、200m 以下は 2 箇所、中央で測定。又は施工面積 1,000 m² に 1 回。</p>		
1 箇所 / 1 施工箇所		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所。延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所。延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
1 施工箇所毎		
1 施工箇所毎		
基礎 1 基毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値																										
15	水	道	2	管	路	3	管	布	設	工	一	般	2	管	据	え	付	け	工	管の据付	占用位置 W	±30											
																					土被り DP	±30											
								3	弁	類	の	据	え	付	け	弁栓類・鉄蓋の据付	路面との段差	段差が無いこと															
								4	ダ	ク	タ	イ	ル	鑄	鉄	管	布	設	工	2	ダ	ク	タ	イ	ル	鑄	鉄	管	の	接	合	鑄鉄管 継手	接合要領書による
								弁室 （現場打）	弁	室	の	他	の	構	造	物	壁厚 t	-20															
			床版厚 t ₁	-20																													
			底版厚 t ₂	-20																													
			内空幅 W ₁ , W ₂	-30																													
			内空高 h	±30																													
					異	形	管	防	護	工	幅	-30																					
			高さ	-30																													
			辺長	-30																													
			体積	+であること																													

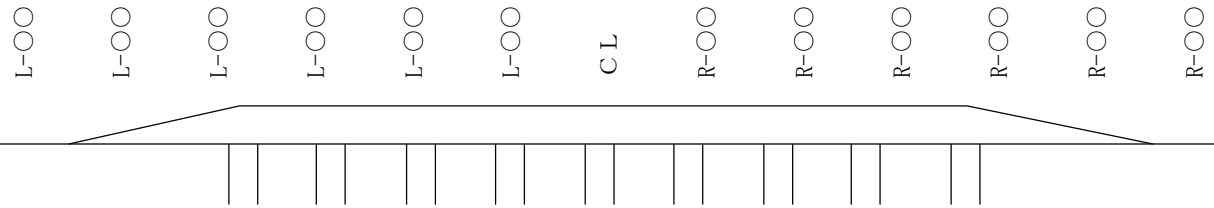
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線、口径、管種ごとに、施工延長40mにつき1箇所 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 施工箇所ごとに測定 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 口径、管種毎に全接合箇所測定 ・ 各種継手点検表に記入 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 施工箇所ごとに測定 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 施工箇所ごとに測定 		

敷砂出来形管理表

工事名： _____

主任技術者(管理技術者) _____

測点	種別	天端高										天端幅				延長				
		L-50m	L-40m	L-30m	L-20m	L-10m	CL	R-10m	R-20m	R-30m	R-40m	R-50m	港外法面	天端港外	天端港内	港内法面	港外側	法線上	港内側	
No.〇〇	設計値																			
	測定値																	No.〇〇	No.〇〇	No.〇〇
	差																	∫	∫	∫
No.〇〇+〇.〇〇	設計値																			
	測定値																			
	差																			
No.〇〇	設計値																			
	測定値																	m	m	m
	差																	〇	〇	〇
No.〇〇	設計値																			
	測定値																	〇	〇	〇
	差																			
No.〇〇+〇.〇〇	設計値																			
	測定値																			
	差																			
No.〇〇	設計値																			
	測定値																	∫	∫	∫
	差																	No.〇〇	No.〇〇	No.〇〇
No.〇〇	設計値																			
	測定値																			
	差																			
No.〇〇	設計値																			
	測定値																	m	m	m
	差																	〇	〇	〇
No.〇〇	設計値																			
	測定値																	〇	〇	〇
	差																			
No.〇〇	設計値																			
	測定値																			
	差																			
No.〇〇	設計値																			
	測定値																			
	差																			
No.〇〇	設計値																			
	測定値																			
	差																			
No.〇〇	設計値																			
	測定値																			
	差																			

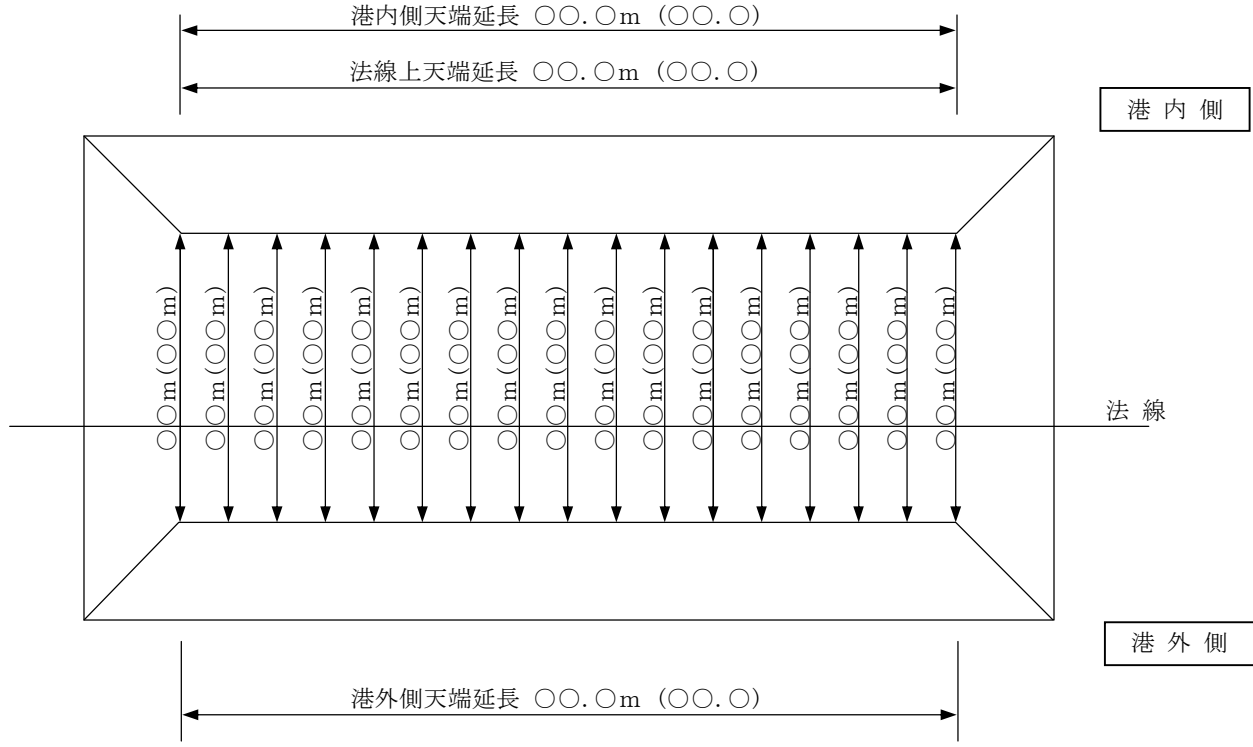


工事名： _____

敷砂出来形管図

敷砂 平面図

- No. 0
- No. 1
- No. 2
- No. 3
- No. 4
- No. 5
- No. 6
- No. 7
- No. 8
- No. 9
- No. 10
- No. 11
- No. 12
- No. 13
- No. 14
- No. 15
- No. 16
- No. 17
- No. 18
- No. 19
- No. 20

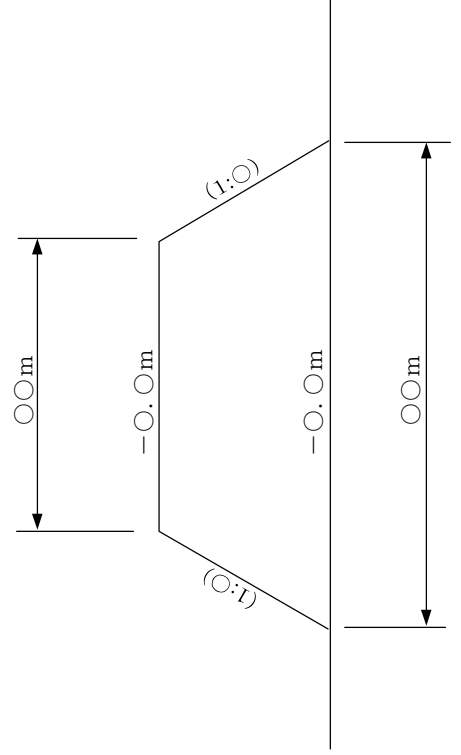


港内側

法線

港外側

標準断面図



凡 例
 () : 設計値
 実数 : 実測値

サンドコンパクションパイル出来形管理表

工事名： _____

主任技術者(管理技術者) _____

杭番号 杭 列		1			2			3			4			5		
		天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長
A列杭	設計値															
	測定値															
	差															
		変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量
	設計値															
	測定値															
差																

杭番号 杭 列		1			2			3			4			5		
		天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長
B列杭	設計値															
	測定値															
	差															
		変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量
	設計値															
	測定値															
差																

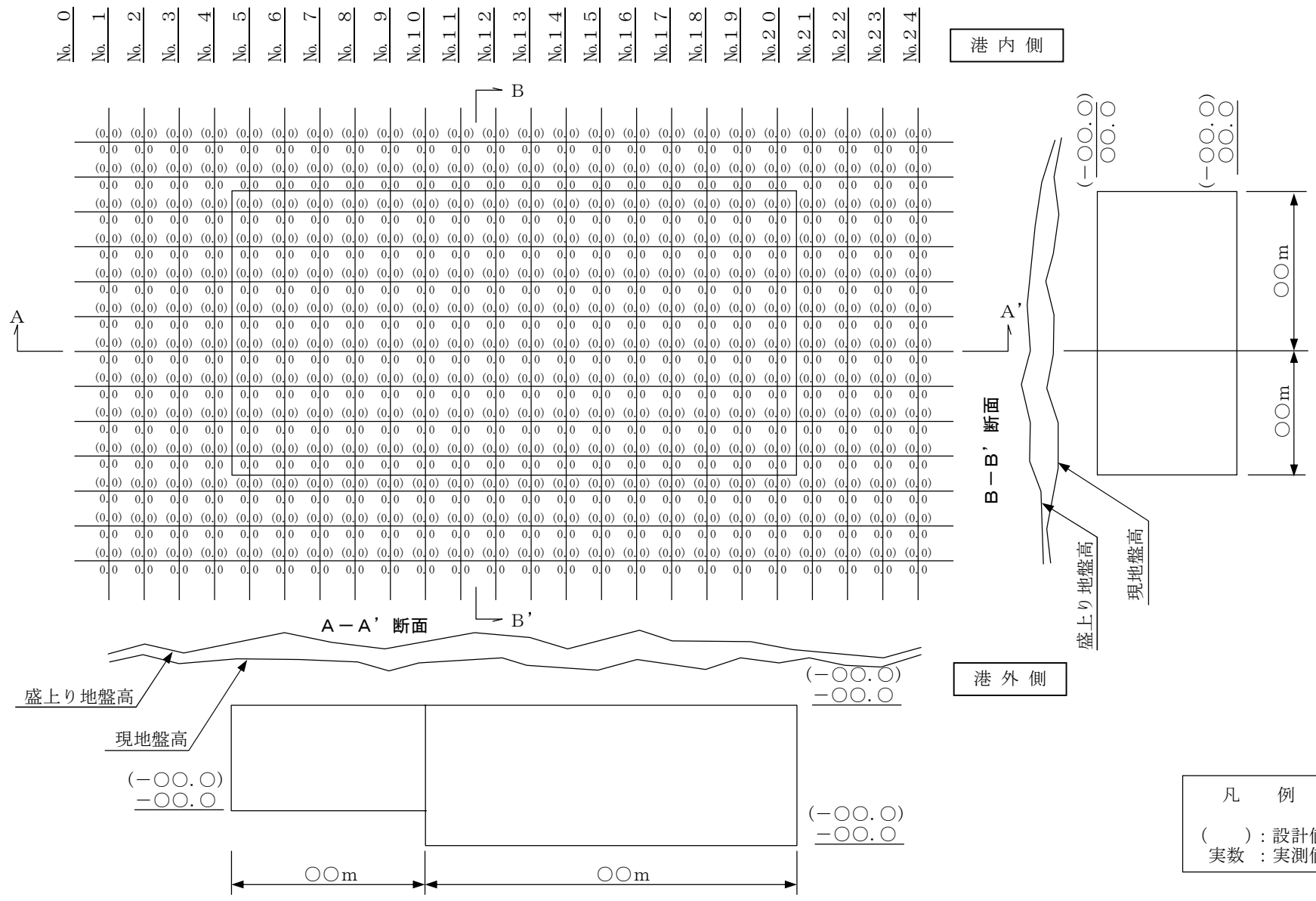
杭番号 杭 列		1			2			3			4			5		
		天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長
○列杭	設計値															
	測定値															
	差															
		変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量
	設計値															
	測定値															
差																

杭番号 杭 列		1			2			3			4			5		
		天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長	天端高	先端深度	杭 長
○列杭	設計値															
	測定値															
	差															
		変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量	変位量X	変位量Y	偏芯量
	設計値															
	測定値															
差																

工事名 : _____

締固工 深浅図

平 面



洗掘防止マット出来形管理表

様式・出来形 4-4(1)
平成 年 月 日

工事名： _____

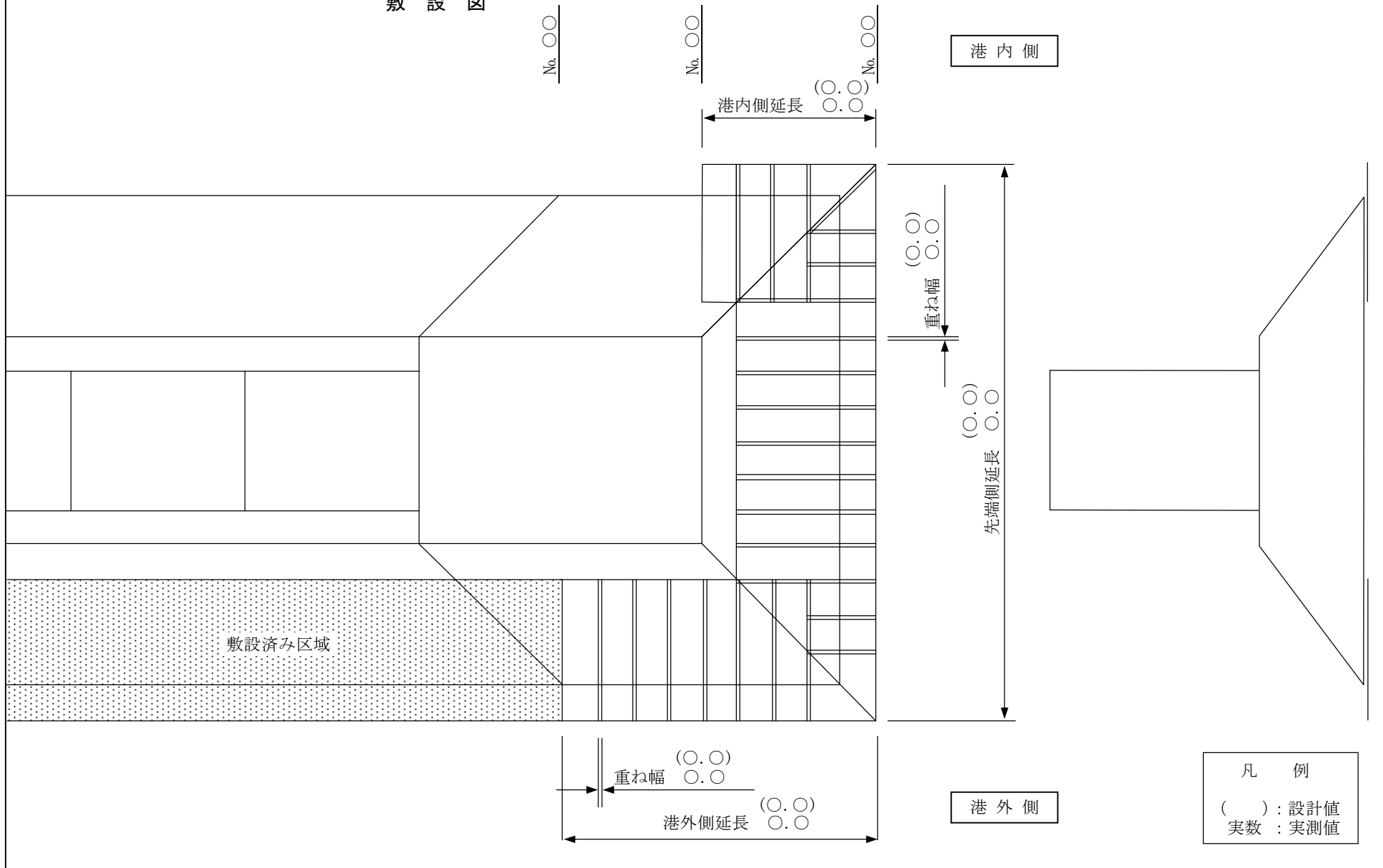
主任技術者(管理技術者) _____

マットNo.	敷 設 年 月 日	測 定 値				備 考
		敷設位置	重ね幅	敷設幅	延 長	
		設計値				
		測定値				
		差				
		設計値				
		測定値				
		差				
		設計値				
		測定値				
		差				
		設計値				
		測定値				
		差				
		設計値				
		測定値				
		差				
		設計値				
		測定値				
		差				
		設計値				
		測定値				
		差				
		設計値				
		測定値				
		差				
		設計値				
		測定値				
		差				

工事名： _____

洗掘防止マット出来形管理図

敷設図



凡 例
 () : 設計値
 実数 : 実測値

腹起出来形管理表

工事名： _____

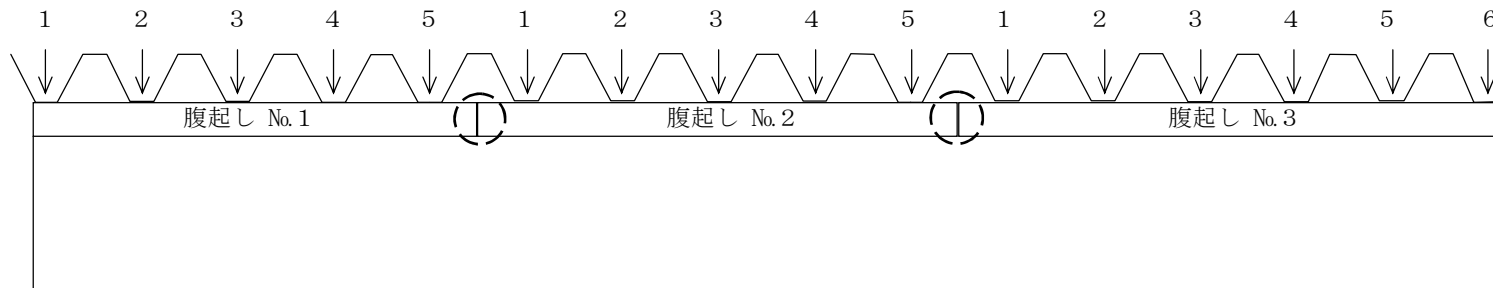
主任技術者(管理技術者) _____

測 点	種 別	取付高さ		取付長さ	継手の状況
		上側	下側		
No. 1	始点側	設計値			X
		測定値			
		差			
	終点側	設計値			
		測定値			
		差			
No. 2	始点側	設計値			
		測定値			
		差			
	終点側	設計値			
		測定値			
		差			
No. 3	始点側	設計値			X
		測定値			
		差			
	終点側	設計値			
		測定値			
		差			

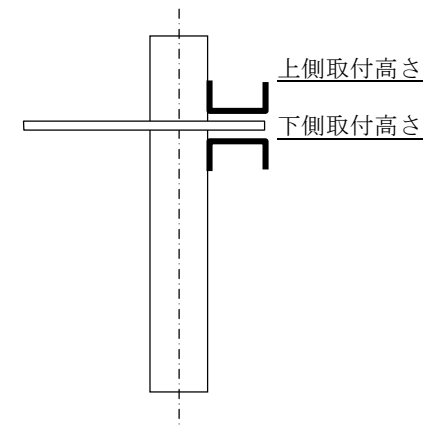
腹起しNo.	位置 ボルトNo.	ボルト取付状況	矢板との密着状況	備 考
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
No. 2	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
No. 3	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			

2-342

平 面 図



断 面 図



鋼杭打込記録

様式・出来形 4-10(1)
平成 年 月 日

工事名： _____

主任技術者(管理技術者) _____

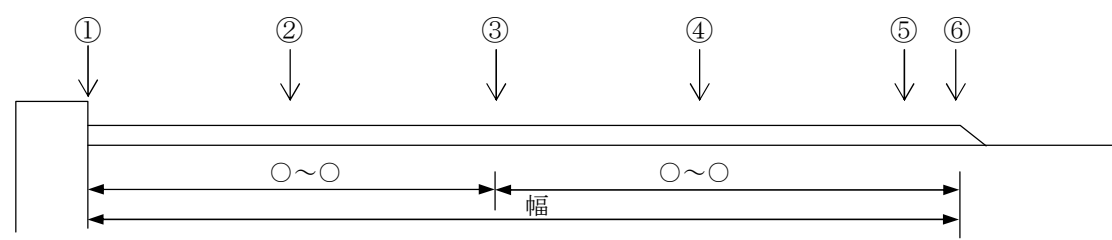
打設年月日			標 高	50 cmごとの 打撃回数	累計打撃回数	50 cmごとの 平均貫入量	リバウンド量	ラム落下高	摘 要
杭 番号			(m)	(回)	(回)	(cm)	(cm)	(m)	
外 径									
杭 長									
板 厚									
メーカー									
打込み時間									
杭打機 名称									
形 式									
全 質 量									
ラム質量									
打止管理		設計値	実測値						
	天 端 高 (m)								
	先端深度 (m)								
	地 盤 高 (m)								
	根 入 長 (m)								
	総打撃回数								
	最終貫入量 (S)								
リバウンド量 (K)									
許 容 支持力	設計値	実測値							
許 容 支持力 算定式	$R_u = \frac{ef \times 2WH}{S + 1/2K}$								
	ef : ハンマーの効率 = 0.5								
	H : ハンマーの落下高 (m)								
	W : ハンマーの重量 (kN)								

路盤出来形管理表

工事名： _____

主任技術者(管理技術者) _____

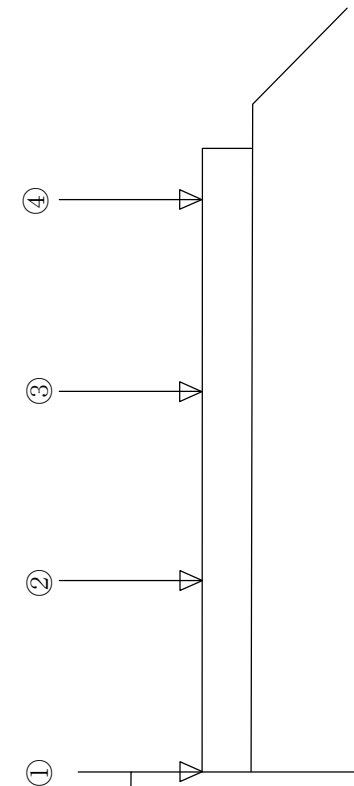
種 別 測 点	高 さ							幅			延 長		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	○～○	○～○	○～○	①線上	法線上	○線上
路盤設計厚	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○.○○m	○.○○m	○.○○m	○.○○m	○.○○m	○.○○m
No.○○	路床高												
	路盤高												
	厚さ												
No.○○													
No.○○ +○.○○													
No.○○													



工事名： _____

路盤出来形管理図

(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00



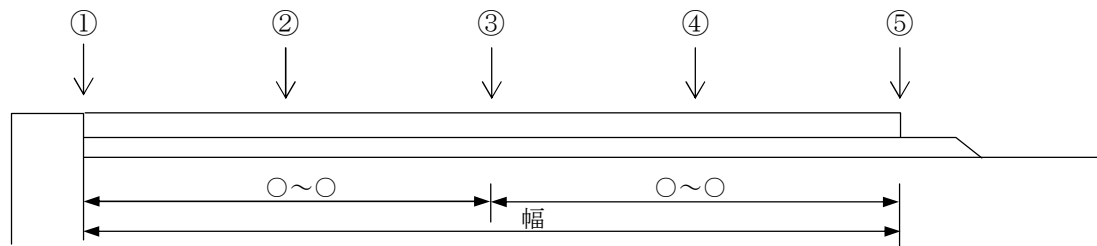
凡 例
 () : 設計値
 実数 : 実測値

舗装出来形管理表

工事名： _____

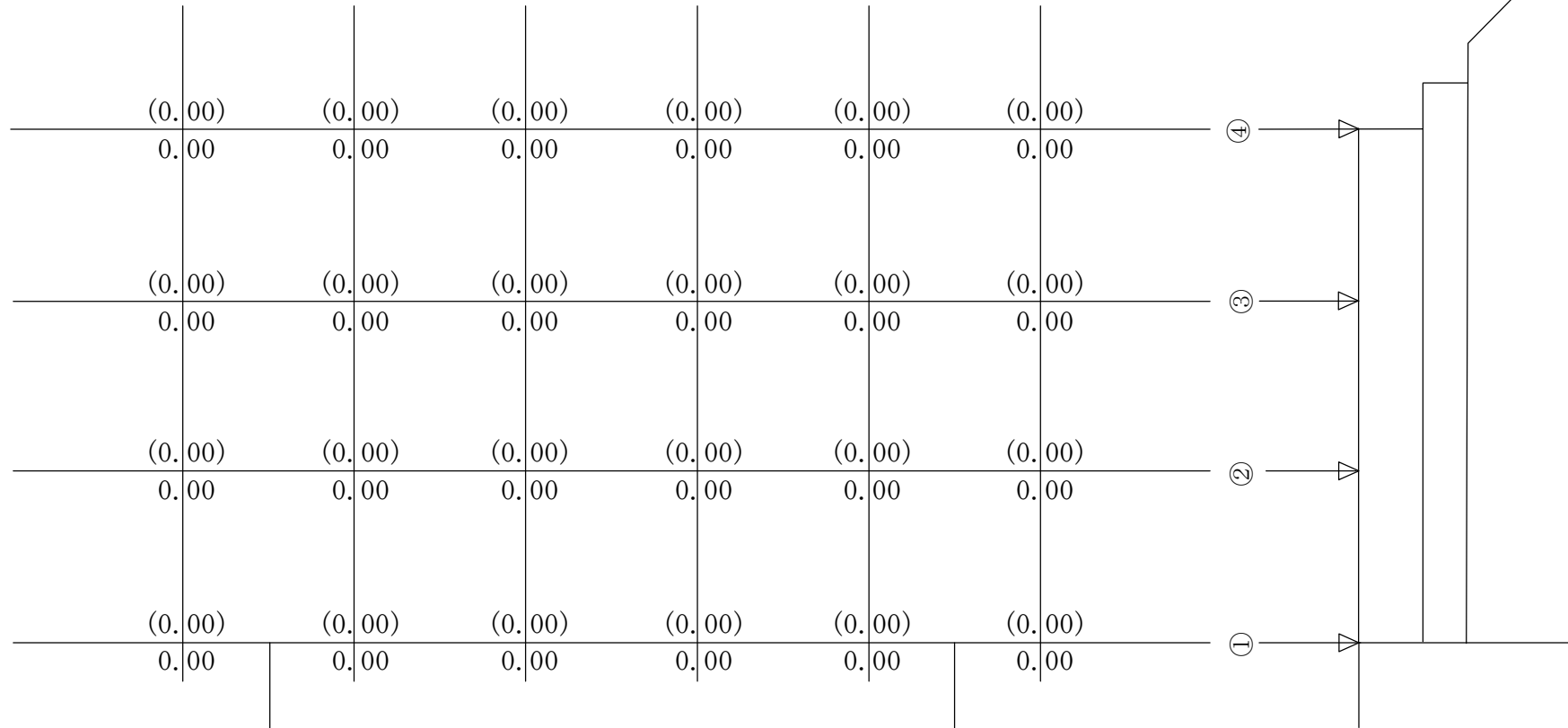
主任技術者(管理技術者) _____

測点	種別	高さ							幅			延長		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	○～○	○～○	○～○	①線上	法線上	○線上
	舗装設計厚	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○.○ ○m	○.○ ○m	○.○ ○m	○.○ ○m	○.○ ○m	○.○ ○m
No.○○	路床高													
	天端高													
	厚さ													
No.○○														
No.○○ +○.○○														
No.○○														



工事名： _____

舗装出来形管理図



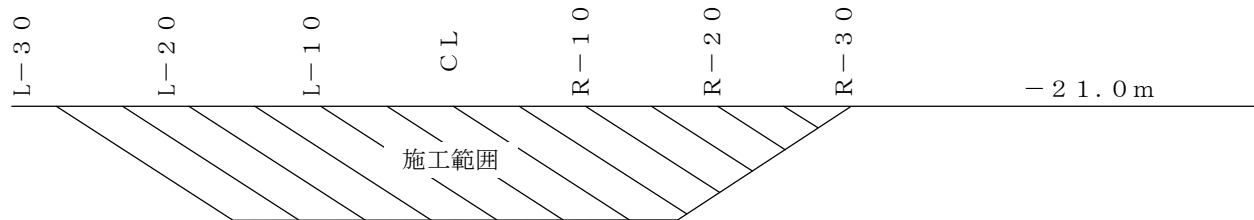
凡 例
 () : 設計値
 実数 : 実測値

置換材出来形管理表

工事名： _____

主任技術者(管理技術者) _____

測点	種別	天端高						天端幅		延長			
		L-30m	L-20m	L-10m	CL	R-10m	R-20m	R-30m	港外側	港内側	港外側	法線上	港内側
No.〇〇	設計値										No.〇〇	No.〇〇	No.〇〇
	測定値												
	差												
No.〇〇+〇.〇〇	設計値									}	}	}	
	測定値												
	差												
No.〇〇	設計値									}	}	}	
	測定値												
	差												
No.〇〇	設計値									}	}	}	
	測定値												
	差												
No.〇〇+〇.〇〇	設計値									〇〇.〇〇m	〇〇.〇〇m	〇〇.〇〇m	
	測定値												
	差												
No.〇〇	設計値									}	}	}	
	測定値												
	差												
No.〇〇	設計値									}	}	}	
	測定値												
	差												
No.〇〇	設計値									}	}	}	
	測定値												
	差												
No.〇〇	設計値									}	}	}	
	測定値												
	差												
No.〇〇	設計値									}	}	}	
	測定値												
	差												
No.〇〇	設計値									}	}	}	
	測定値												
	差												

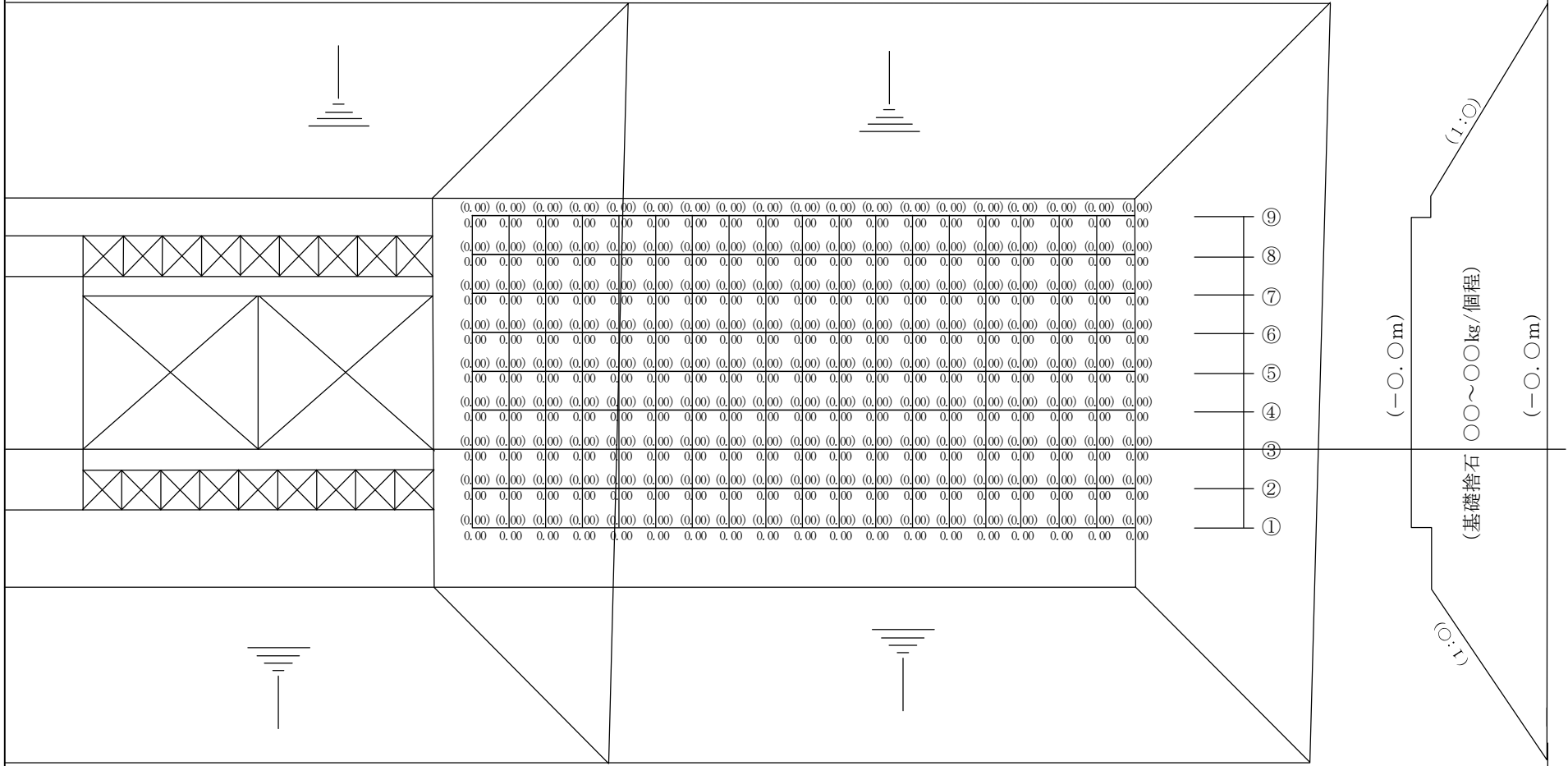


工事名： _____

基礎石均し出来形管理図（1）

平面図

港内側



(-0.0m)
 (基礎捨石 〇〇~〇〇kg/個程)
 (-0.0m)

港外側

No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇

凡 例
 () : 設計値
 実数 : 実測値

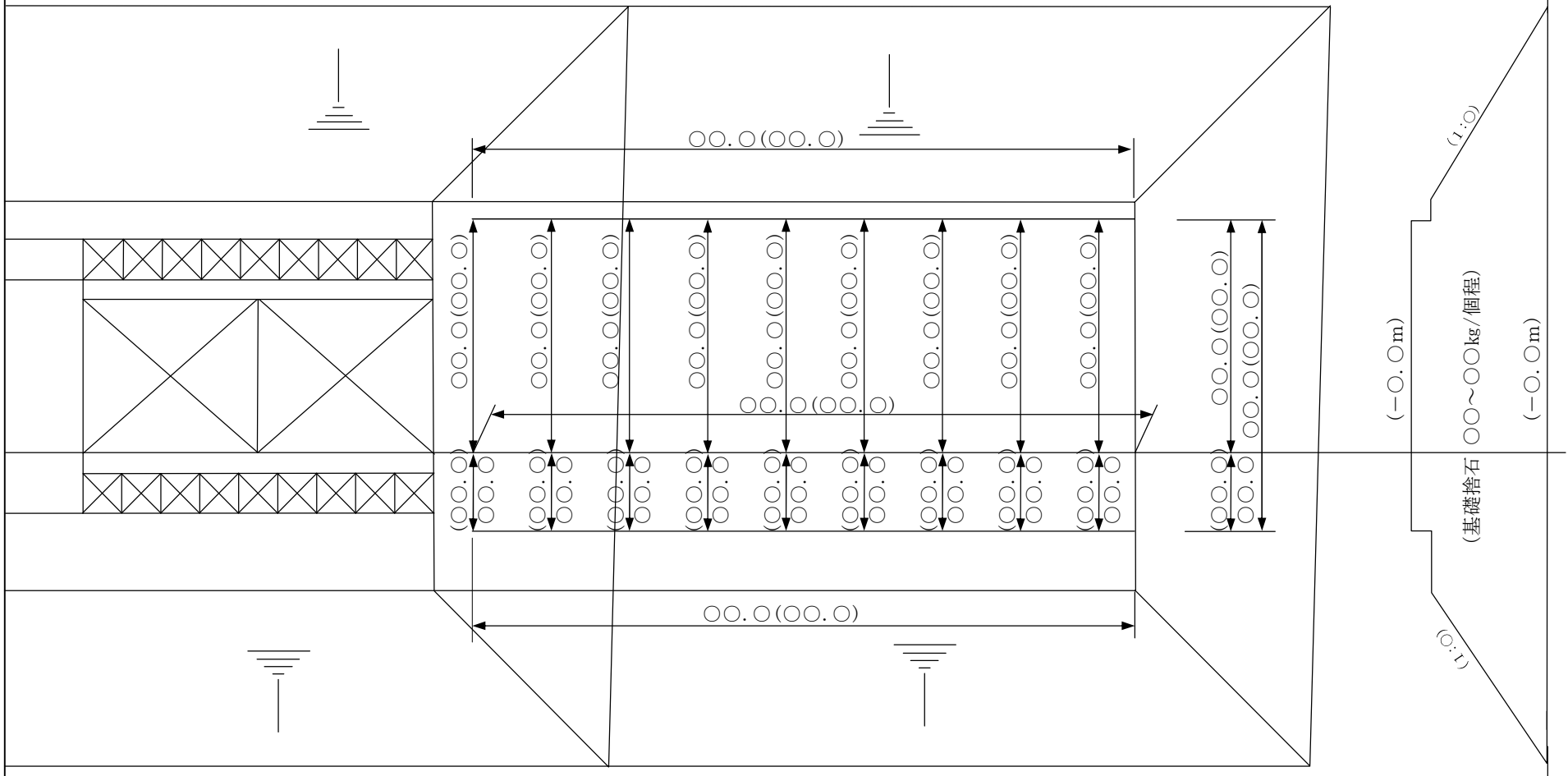
2-353

工事名: _____

基礎石均し出来形管理図 (2)

平面図

港内側



港外側

凡 例

() : 設計値
 実数 : 実測値

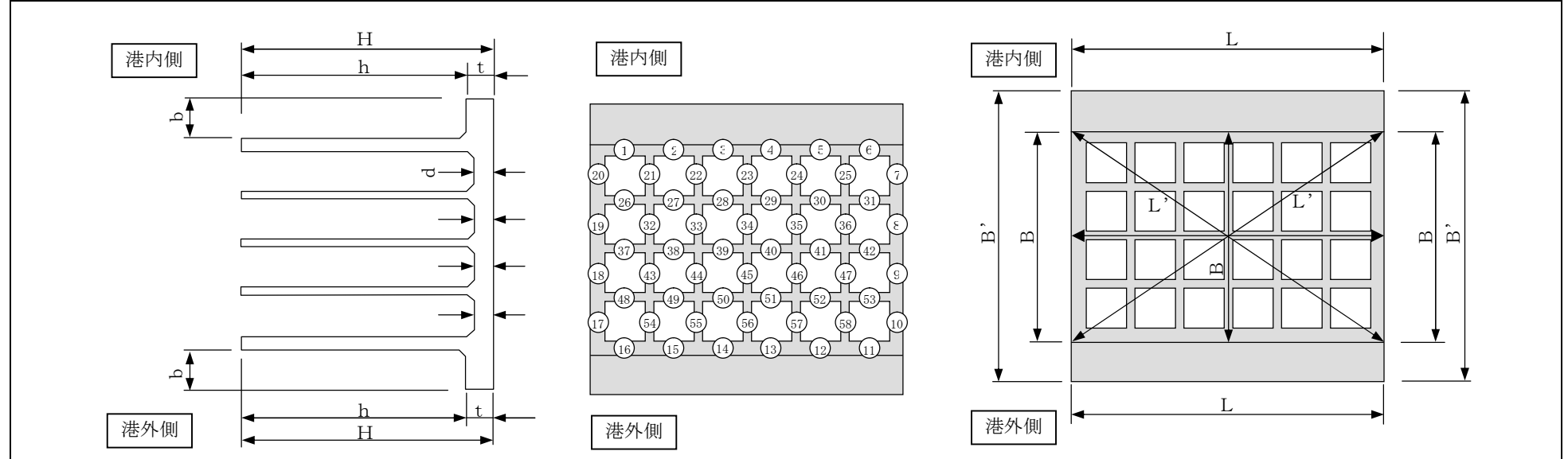
ケーソン製作出来形管理表

様式・出来形 4-16
平成 年 月 日

工事名： _____

主任技術者(管理技術者) _____

○○区用 ○○号函 ○○段目														
測定項目	規格	箇所	測定値	検査値	差	箇所	測定値	検査値	差	箇所	測定値	検査値	差	
<壁厚> 側壁=○○ 隔壁=○○	±○○													
<フチソク> B'=○○ L=○○ b=○○ t=○○	+○○ -○○													
<底版厚> d=○○	+○○ -○○													
<延長> L=○○	+○○ -○○													
<幅> B=○○	+○○ -○○													
<対角> L'=○○	±○○													
<高さ> H=○○	+○○ -○○													



平成 年 月 日

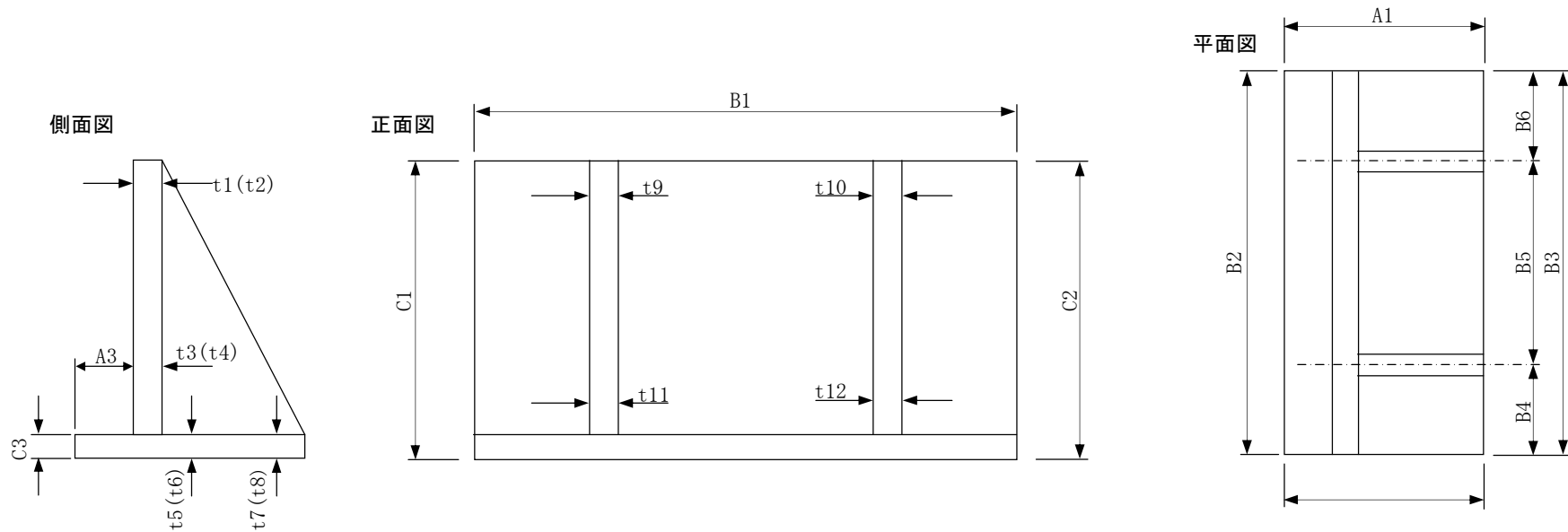
L型ブロック製作出来形管理表

工事名： _____

主任技術者(管理技術者) _____

製作番号		幅			長さ						高さ			各 部 材 厚 さ											
		A1	A2	A3	B1	B2	B3	B4	B5	B6	C1	C2	C3	t1	t2	t3	t4	t5	t6	t7	t8	t9	t10	t11	t12
	設計値																								
	実測値																								
	差																								

2-358



ブロック製作等 外見チェックリスト

工事名： _____

主任技術者(管理技術者) _____

チェック項目	
製作番号 (ブロックNo.)	
製作日	
検査日	
大きな気泡はないか	
ひびわれはないか	
ジャンカはないか	
ワイヤー傷はないか	
ブロックのカケはないか	
泥などの付着はないか	
ナンバリングに誤記はないか	
その他	
総 評	
略 図	

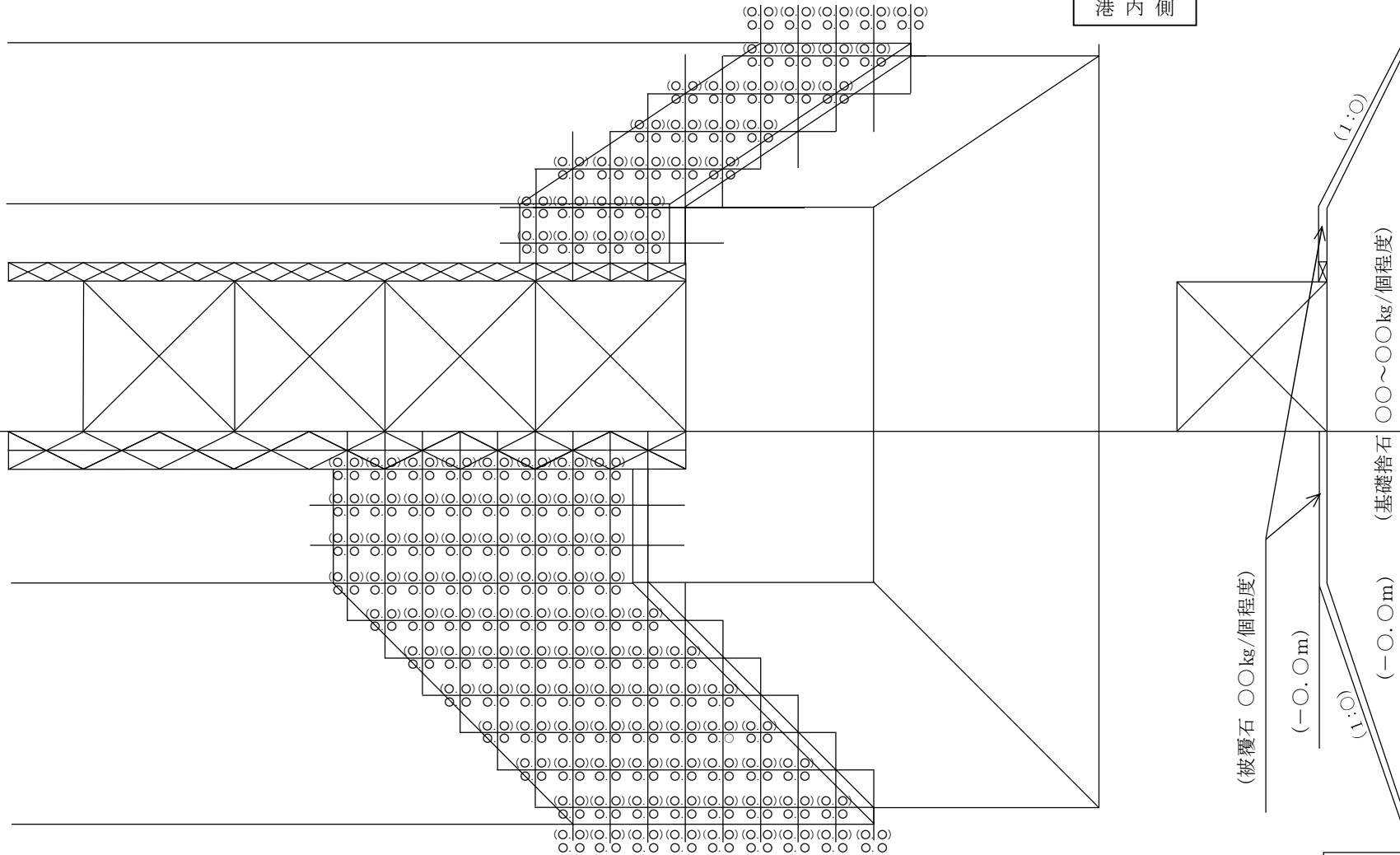
工事名： _____

被覆石均し出来形管理図(1)

平面図

港内側

港外側



No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇
 No. 〇〇

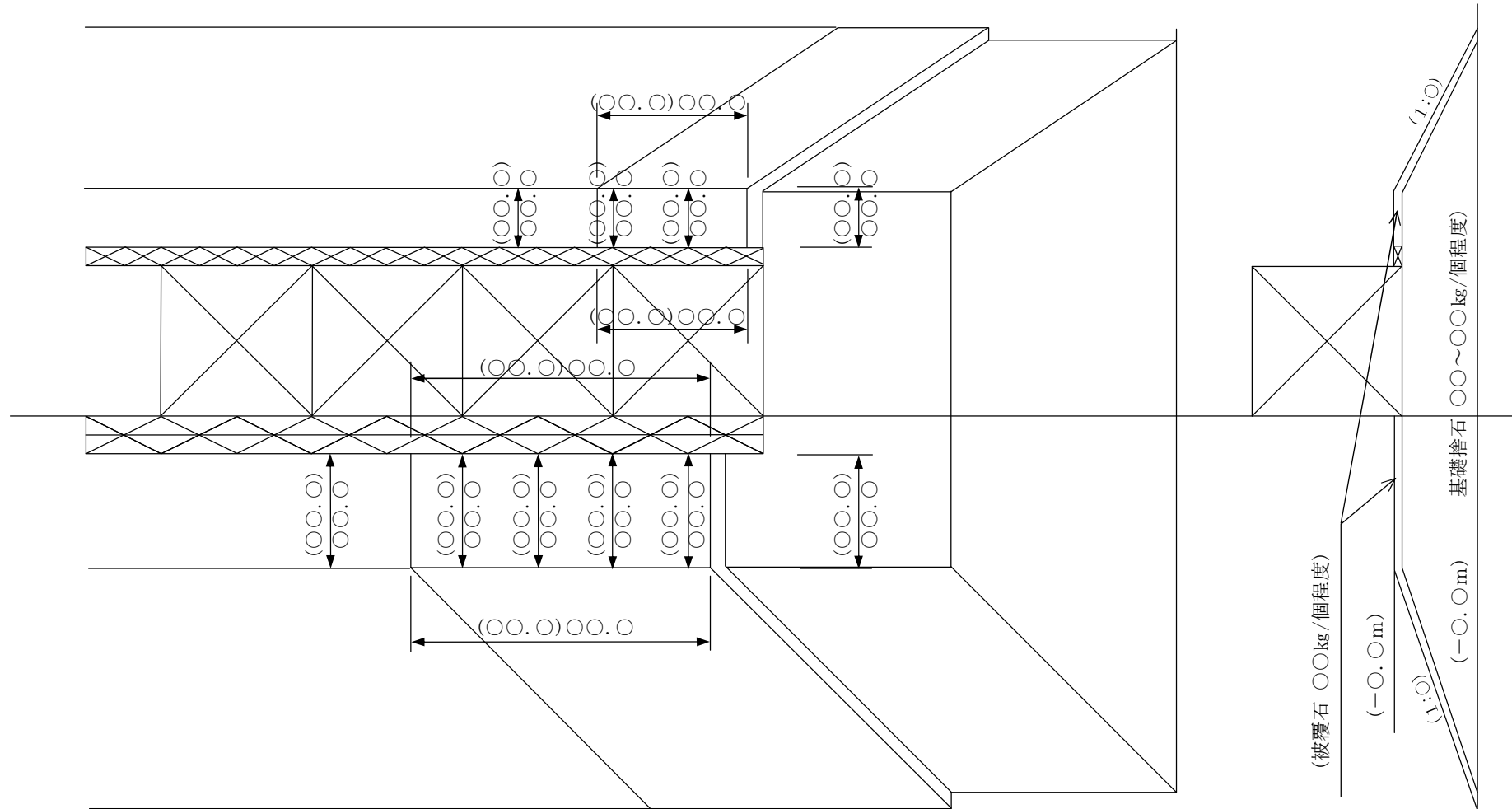
凡 例
 () : 設計値
 実数 : 実測値

工事名： _____

被覆石均し出来形管理図(2)

平面図

港内側



2-362

No. ○○
No. ○○
No. ○○
No. ○○
No. ○○
No. ○○
No. ○○
No. ○○
No. ○○

港外側

凡 例
() : 設計値
実数 : 実測値

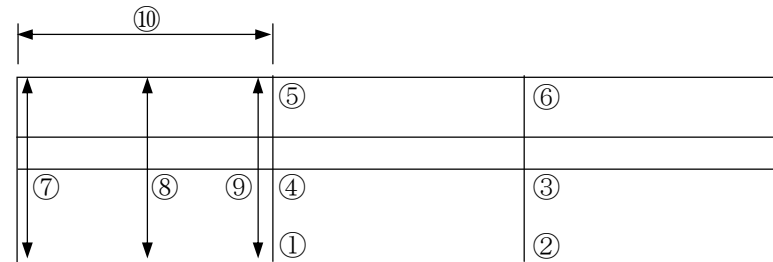
上部コンクリート(防波堤)出来形管理表

工事名: _____

主任技術者(管理技術者) _____

ケーソン等 No.	測定月日	天 端 高 (厚さ)				天 端 幅				延 長				法線に対する出入り			
		測点	設計値	実測値	差	測点	設計値	実測値	差	測点	設計値	実測値	差	測点	設計値	実測値	差
		①				⑦				⑩							
		②				⑧											
		③				⑨											
		④															
		⑤															
		⑥															

2-364



土砂掘削出来形管理表

様式・出来形 4-25
平成 年 月 日

工事名： _____

主任技術者(管理技術者) _____

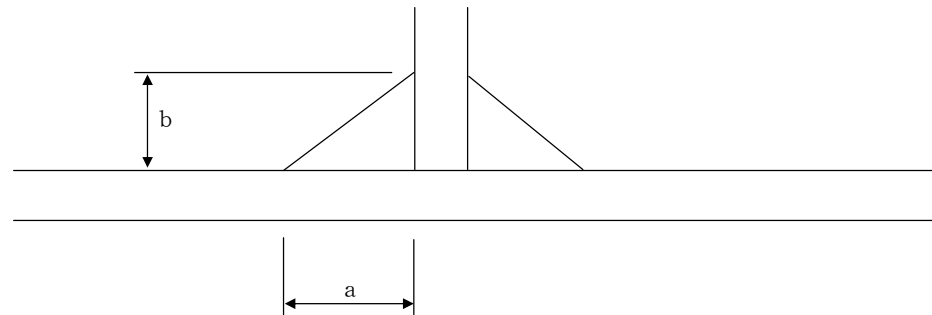
測点	種別	高さ							幅			延長		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	○～○	○～○	○～○	○線上	法線上	○線上
No. ○○	設計値													
	測定値											No. ○○	No. ○○	No. ○○
	差											∩	∩	∩
No. ○○														
No. ○○														

すみ肉溶接出来形管理表

工事名： _____

主任技術者(管理技術者) _____

測定箇所		溶接脚長		溶 接 長	測定箇所		溶接脚長		溶 接 長
		a	b				a	b	
	設計値					設計値			
	実測値					実測値			
	差					差			



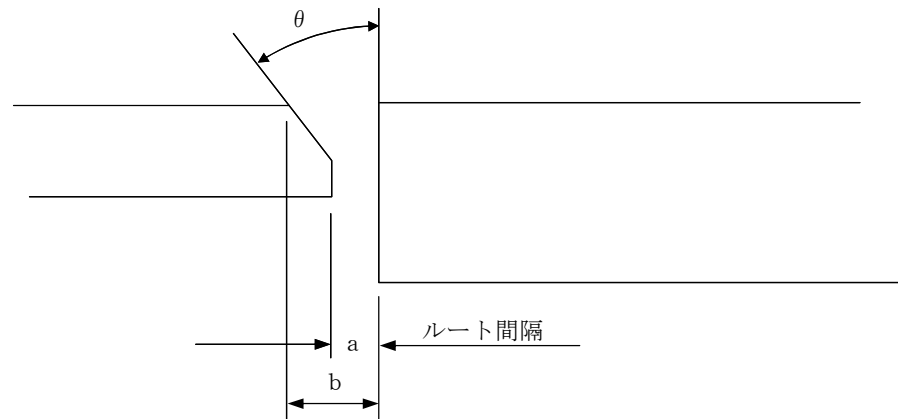
突合わせ溶接出来形管理表

工事名： _____

主任技術者(管理技術者) _____

測定箇所		溶接脚長			溶接長	測定箇所		溶接脚長			溶接長
		A	B	θ				A	B	θ	
	設計値					設計値					
	実測値					実測値					
	差					差					

2-371



鉄筋フレア溶接出来形管理表

工事名： _____

主任技術者(管理技術者) _____

測定箇所		鉄筋径 D	のど厚 a	溶 接 長	測定箇所		鉄筋径 D	のど厚 a	溶 接 長
	設計値					設計値			
	実測値					実測値			
	差					差			

浚渫出来形管理表

工事名： _____

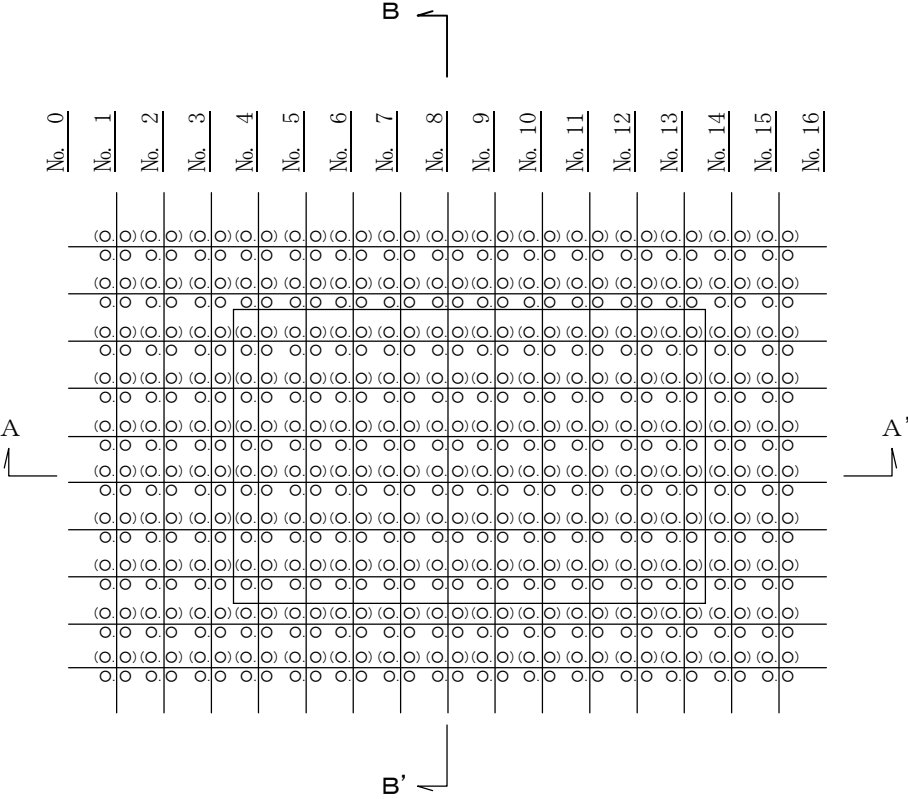
主任技術者(管理技術者) _____

距離No.	測定No.	No.〇〇	No.〇〇 +〇.〇m	No.〇〇	No.〇〇 +〇.〇m	No.〇〇	No.〇〇 +〇.〇m	No.〇〇	No.〇〇	No.〇〇	No.〇〇	No.〇〇	No.〇〇
+〇〇.〇m	設計値												
	実測値												
	差												
+〇〇.〇m	設計値												
	実測値												
	差												
+〇〇.〇m	設計値												
	実測値												
	差												
+〇〇.〇m	設計値												
	実測値												
	差												
+〇〇.〇m	設計値												
	実測値												
	差												
+〇〇.〇m	設計値												
	実測値												
	差												
+〇〇.〇m	設計値												
	実測値												
	差												
+〇〇.〇m	設計値												
	実測値												
	差												
+〇〇.〇m	設計値												
	実測値												
	差												

工事名： _____

浚渫出来形管理図

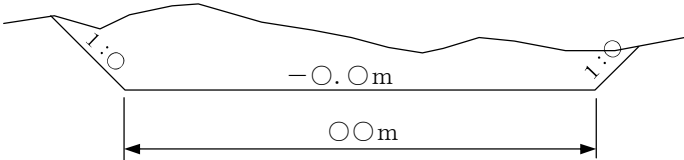
深 浅 図



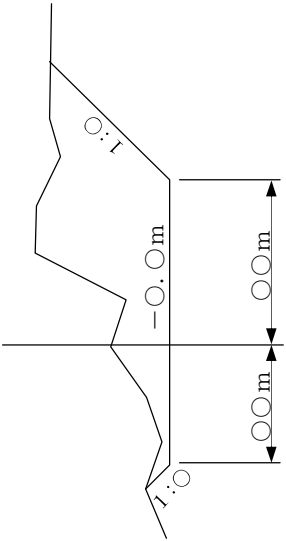
港内側

港外側

A-A' 断面



B-B' 断面



凡 例
 () : 設計値
 実数 : 実測値